

平成29年度
福井県保育士等実態調査結果報告書

福井県健康福祉部子ども家庭課

—目次—

I	調査の概要	1
II	調査結果のまとめ	
	【1】施設向け調査結果	2
	【2】保育士指定養成施設卒業生向け調査結果	3～4
III	調査結果【単純集計】	
	【1】施設向け調査	5～18

問 1	園・施設の類型について	5
問 2	職員の過不足感について	5
問 3	職員が不足している理由について	5
問 4	園・施設において過去5年間の内、職場環境に関わる事柄での離職理由について	6
問 5	園・施設において過去5年間の内、職員自身の事情での離職理由について	7
問 6	求める雇用形態および勤務形態の職員について	8
問 7	求人活動として実施しているものについて 求人手段の効果について	9
問 8	昨年度、求人募集した人数について	10
問 9	昨年度、求人募集を行った結果、採用となった人数について	10
問 10	新卒採用以外の潜在保育士等の求人活動について	10
問 11	雇用する潜在保育士等に求める技術・知識について	11
問 12	潜在保育士等の求人活動の採用結果（採用したか）について	11
問 13	雇用した潜在保育士等の雇用形態について	12
問 14	今年度、雇用した潜在保育士等の年代について	12
問 15	潜在保育士等を雇用しない（またはできない）理由について	13
問 16	潜在保育士等を採用するメリットについて	14
問 17	潜在保育士等を採用するデメリットについて	15
問 18	潜在保育士等が保育士等として就業しない理由として園・施設が思う理由について	16
問 19	今後、保育士等を確保するにあたって行うと良いと思う（または実際に行っている）工夫について	17
問 20	今後、求人雇用に関する支援で求めるものについて	18

【2】保育士指定養成施設卒業生向け調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・19～38

問 1	ご自身について	性別	19
		年齢	19
		配偶者の有無	19
		子どもの有無	19
		配偶者・子ども以外の同居親族の有無	19
		卒業校	19
問 2	保育士資格・幼稚園教諭免許を取得した主な理由について		20
問 3	有している資格・免許（H29年4月1日現在）について		21
問 4	現在の就業状況（自営・パートを含む）について		22
問 5	現在、保育士等として働いている施設の条件雇用形態について	施設類型	23
		運営主体	23
		雇用形態	23
問 6	保育士等になるにあたって行った求職活動手段について		24
問 7	保育士等として勤務通算何年数について		24
問 8	保育士等として働いた施設数について		25
問 9	現在の年収（税引き前）について		25
問 10	現在の職場に対する以下のそれぞれの項目の満足度について	勤務日数	26
		勤務時間	26
		給与・賞与等	26
		職員数	26
		職場の人間関係	26
		休暇の取得しやすさ（福利厚生）	27
		業務における相談体制	27
		園（など）の理念や運営方針	27
		施設環境	27
保育士等としての仕事全体の「やりがい」	27		
問 11	現在の職場に対して、日ごろから改善してほしいと思っっている事柄について		29
問 12	保育士等として働き続けるにあたり、習得したい知識や技術について		30
問 13	保育士等として勤務継続意思について		31
問 14	過去、保育士等として働いていた施設の条件および雇用形態について	施設類型	31
		運営主体	32
		雇用形態	32
問 15	園に勤務した時期について		32
問 16	保育士等を離職後の経過年数について		32
問 17	保育士等として就業された保育所等を退職した理由について		33

問 18	今後、保育士等として働く場合に求める条件について	34
問 19	今後保育士等として働くまでに、習得した知識や技術について	35
問 20	保育士等として働かなかった理由について	36
問 21	今後、保育士等として働く場合に求める条件について	37
問 22	今後、求人雇用に関する支援で求めるものについて	38

IV 調査結果【クロス集計】

【1】施設向け調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39～41

(1)	施設別の職員不足感	39
(2)	施設別の職員不足の理由	39
(3)	施設別の職員離職の理由（職場環境による事由）	40
(4)	施設別の職員離職の理由（職員側の事由）	40
(5)	施設別の職員採用に当たって求める雇用形態	41
(6)	施設別の潜在保育士の雇用状況（雇用した園の割合）	41
(7)	施設別・雇用形態別の潜在保育士の雇用状況（雇用した園数の中での割合）	41

【2】保育士指定養成施設卒業生向け調査結果・・・・・・・・・・ 42～60

(1)	年齢別の保育者就業割合	42
(2)	施設類型・運営主体別の保育所等就業者数と雇用形態の割合	43
(3)	保育者の年収（施設類型別の分析）	44
(4)	保育者の年収（運営主体別の分析）	44
(5)	保育者の年収（雇用形態別の分析）	44
(6)	保育者の勤続年数（施設類型別の分析）	45
(7)	保育者の勤続年数（運営主体別の分析）	45
(8)	保育者の勤続年数（雇用形態別の分析）	45
(9)	勤務日数に関する満足度（施設類型別の分析）	46
(10)	勤務日数に関する満足度（運営主体別の分析）	46
(11)	勤務日数に関する満足度（雇用形態別の分析）	46
(12)	勤務時間に関する満足度（施設類型別の分析）	47
(13)	勤務時間に関する満足度（運営主体別の分析）	47
(14)	勤務時間に関する満足度（雇用形態別の分析）	47
(15)	給与・賞与等に関する満足度（施設類型別の分析）	48
(16)	給与・賞与等に関する満足度（運営主体別の分析）	48
(17)	給与・賞与等に関する満足度（雇用形態別の分析）	48
(18)	職員数に関する満足度（施設類型別の分析）	49
(19)	職員数に関する満足度（運営主体別の分析）	49
(20)	職員数に関する満足度（雇用形態別の分析）	49

(21)	職場の人間関係に関する満足度（施設類型別の分析）	50
(22)	職場の人間関係に関する満足度（運営主体別の分析）	50
(23)	職場の人間関係に関する満足度（雇用形態別の分析）	50
(24)	休暇の取得しやすさに関する満足度（施設類型別の分析）	51
(25)	休暇の取得しやすさに関する満足度（運営主体別の分析）	51
(26)	休暇の取得しやすさに関する満足度（雇用形態別の分析）	51
(27)	業務における相談体制に関する満足度（施設類型別の分析）	52
(28)	業務における相談体制に関する満足度（運営主体別の分析）	52
(29)	業務における相談体制に関する満足度（雇用形態別の分析）	52
(30)	園の理念や運営方針への満足度（施設類型別の分析）	53
(31)	園の理念や運営方針への満足度（運営主体別の分析）	53
(32)	園の理念や運営方針への満足度（雇用形態別の分析）	53
(33)	施設環境に対する満足度（施設類型別の分析）	54
(34)	施設環境に対する満足度（運営主体別の分析）	54
(35)	施設環境に対する満足度（雇用形態別の分析）	54
(36)	仕事全体のやりがいに関する満足度（施設類型別の分析）	55
(37)	仕事全体のやりがいに関する満足度（運営主体別の分析）	55
(38)	仕事全体のやりがいに関する満足度（雇用形態別の分析）	55
(39)	職場に対する改善要望事項	56
(40)	今後の就労希望（施設類型別の分析）	57
(41)	今後の就労希望（運営主体別の分析）	57
(42)	今後の就労希望（雇用形態別の分析）	57
(43)	保育士等を辞めたいという者の辞めたい理由	58
(44)	過去に保育士として働いたことのある者の辞めた理由	59
(45)	過去に保育士として働いたことのある者の復職にあたっての要望事項	60

V 各設問における「その他」および自由記述欄回答抜粋

【1】施設向け調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61～66

問 3	職員が不足している理由について	61
問 4	園・施設において過去5年間の内、職場環境に関わる事柄での離職理由について	61
問 5	園・施設において過去5年間の内、職員自身の事情での離職理由について	62
問 11	雇用する潜在保育士等に求める技術・知識について	62
問 15	潜在保育士等を雇用しない（またはできない）理由について	62
問 16	潜在保育士等を採用するメリットについて	62
問 17	潜在保育士等を採用するデメリットについて	62

問 18	潜在保育士等が保育士等として就業しない理由として園・施設が思う理由について	63
問 19	今後、保育士等を確保するにあたって行うと良いと思う（または実際に行っている）工夫について	63
問 20	今後、求人雇用に関する支援で求めるものについて	63
問 21	園・施設の「働くために支援が必要だと感じていること」、「理想とする保育・教育」などについて（自由記述）	64 ～ 66

【2】 保育士指定養成施設卒業生向け調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・67～74

問 2	保育士資格・幼稚園教諭免許を取得した主な理由について	67
問 3	有している資格・免許（H29年4月1日現在）について	67
問 5	現在、保育士等として働いている施設の条件雇用形態について	施設類型 67
問 6	保育士等になるにあたって行った求職活動手段について	67
問 11	現在の職場に対して、日ごろから改善してほしいと思っている事柄について	68
問 12	保育士等として働き続けるにあたり、習得したい知識や技術について	68
問 14	過去、保育士等として働いていた施設の条件および雇用形態について	施設類型 69
問 17	保育士等として就業された保育所等を退職した理由について	69
問 18	今後、保育士等として働く場合に求める条件について	69
問 19	今後保育士等として働くまでに、習得した知識や技術について	70
問 20	保育士等として働かなかった理由について	70
問 21	今後、保育士等として働く場合に求める条件について	70
問 22	今後、求人雇用に関する支援で求めるものについて	70
問 23	「保育士等として働くことへの不安」や「働くために支援が必要だと感じていること」、「理想とする保育・教育」について（自由記述）	71 ～ 74

Ⅶ 調査票

【1】 施設向け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75～78

【2】 卒業生向け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・79～82

I 調査の概要

1. 調査の目的

保育人材の確保や潜在保育士等の再就職支援に繋げるため、現在保育士等として業務に従事している方や、保育士資格・幼稚園教諭免許を有しているにも関わらず、現在保育士等として業務に従事していない潜在保育士等について就労実態、離職理由等を把握するとともに、施設において求める職員や潜在保育士等の雇用状況等を把握することを目的とし実施した。

2. 調査の対象

- ①県内私立の保育所、認定こども園、幼稚園〔177園〕
- ②保育士指定養成施設卒業生〔2,748名〕（福井県在住者に限る）

3. 調査期間 平成29年7月18日（火）～平成29年8月31日（木）

4. 調査方法 郵送により調査依頼（返信用封筒により回収）

5. 回収状況

- (1) 施設向け調査
76.2%（135施設／177施設）
- (2) 保育士指定養成施設卒業生向け調査
14.1%（388名／2,748名）

II 調査結果のまとめ

【1】施設向け調査結果

- (1) 園・施設における職員過不足感および職員が不足する理由について
「やや不足」45.4%が最も多く、次いで「適当」38.5%、「不足」13.1%と結果となった。
職員が不足する理由として最も多かったのは「募集しても応募がない」62.5%となっている。
- (2) 過去5年間の離職理由について
- ①職場環境に関する事柄
「人間関係への不満」40.9%が最も多く、次いで「業務量が多い」33.6%、「責任の重さ、事故への不安」30.9%の順となった。
「給料が安い」については27.3%であった。
- ②職員自身に関する事柄
「結婚、出産・育児」64.3%が最も多く、次いで「健康面・体力面」29.4%、「他業種への興味」28.6%の順となった。
- (3) 求める職員について
「正規職員の常勤職員」72.7%が最も多く、次いで、「有期契約職員（パート）の早番・遅番可能」30.9%、「有期契約職員（フルタイム）の早番遅番可能」24.5%の順となった。
- (4) 潜在保育士等の雇用について
- ①潜在保育士等の求人活動について
回答があった施設の内、68.8%の施設が潜在保育士の求人活動を行っている。
- ②潜在保育士等に求める技術・知識
「保育士等としての基本の実務経験」77.8%が最も多く、次いで「社会人としてのモラル」71.1%、「コミュニケーション能力（保護者、同僚に対する）」70.0%の順となった。
- (5) 園・施設が思う潜在保育士等が保育士等として就業しない理由
「家庭との両立が困難」74.2%が最も多く、次いで「責任の重さ・事故への不安」65.6%、「雇用条件への不満」43.0%の順となった。
- (6) 保育士確保に関する工夫について
「給与水準の引き上げ」84.1%が最も多く、次いで「勤務時間に対する柔軟な対応」69.8%、「雇用形態に対する柔軟な対応」46.0%の順となった。

【2】保育士指定養成施設卒業生向け調査結果

(1) 回答者の性別、年齢について

回答者の性別は「女性」が97.6%と高い比率となった。年齢は「55～59歳」16.3%、次いで「20～24歳」16.1%、「45～49歳」15.8%の順となった。

(2) 回答者の就業状況について

「現在、保育士等として、働いている」62.0%が最も多く、次いで「現在、保育士等以外の職種で働いており、過去にも保育士等として働いた経験がない」14.5%、「現在、保育士等以外の職種で働いているが、過去には保育士等として働いた経験がある」11.6%の順となった。

(3) 現在保育士等として就業している者について

①現在働いている者の施設類型について

「保育所」49.2%、次いで「認定こども園」32.1%、「幼稚園」9.6%の順となった。

②求職活動手段について

「卒業校からの紹介」43.9%が最も多く、次いで「その他」26.6%、「自治体窓口」21.1%の順となった。「その他」には「知人からの紹介」が半数を超えていた。ハローワークなどの職業安定所での求職活動は13.9%となった。

③職場の満足度について

「勤務日数」については「満足」39.3%、「勤務時間」については「どちらともいえない」26.6%、「給与・賞与等」については「やや満足」21.4%、「職員数」については「やや不満」22.0%、「職場の人間関係」については「満足」26.3%、「休暇の取得しやすさ（福利厚生）」については「やや満足」21.9%、「業務における相談体制」については「どちらともいえない」27.8%、「園（など）の理念や運営方針」については「どちらともいえない」29.2%、「施設環境については「やや満足」25.2%、「保育士等としての仕事全体の「やりがい」については「満足」31.8%が最も多かった。

④職場の改善事項について

「給与・賞与等の改善」60.9%が最も多く、次いで「職員の増員」53.6%、「事務・雑務の軽減」50.6%の順となった。

⑤保育士等としての就業継続意思について

「今後も保育士等として働きたい」と思う者が74.4%となった。

(4) 過去に保育士等として勤務したことがある者の離職理由について

「給料が安い」46.1%が最も多く、次いで「業務量が多い」45.3%、「家庭との両立が困難」39.1%の順となった。施設向けの調査結果において、保育士等が潜在化する理由で最も多かったのは「家庭との両立が困難」であった。

(5) 過去に保育士等として勤務したことがある者の保育士等としての再就職の条件について

「休暇の取得しやすさ」56.0%が最も多く、次いで「勤務時間」53.3%、「勤務日数」50.7%の順となった。

(6) 求人雇用に関する支援で求めるものについて

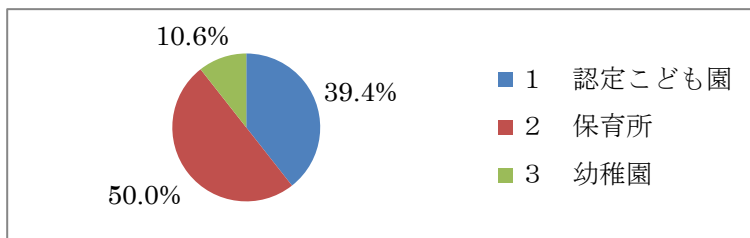
「再就職および転職意向のある方を対象にした就職説明会の開催」46.2%、次いで「潜在保育士等を対象にした再就職に向けた研修会等の実施」44.3%、「保育士等の就労情報を専門に扱うホームページの開設」35.8%の順となった。

Ⅲ 調査結果【単純集計】

【1】施設向け調査（単純集計）

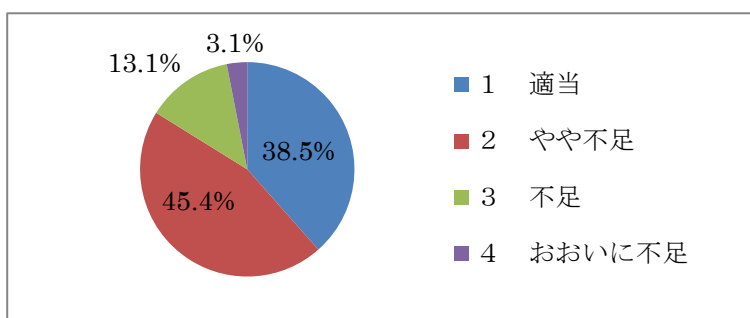
問1 貴園・施設の類型をお答えください。（○は1つだけ）【有効回答数=132】

1 認定こども園	39.4%
2 保育所	50.0%
3 幼稚園	10.6%



問2 職員の過不足感についてお答えください。（○は1つだけ）【有効回答数=130】

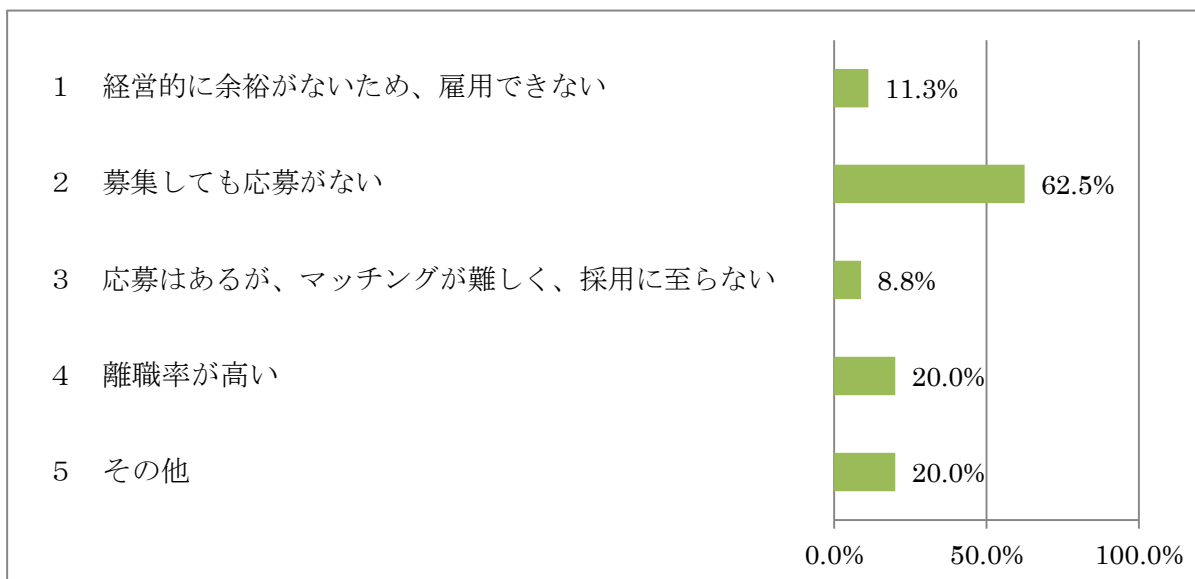
1 適当	38.5%
2 やや不足	45.4%
3 不足	13.1%
4 おおいに不足	3.1%



問3 職員が不足している理由として考えられることをお答えください。（複数回答可）

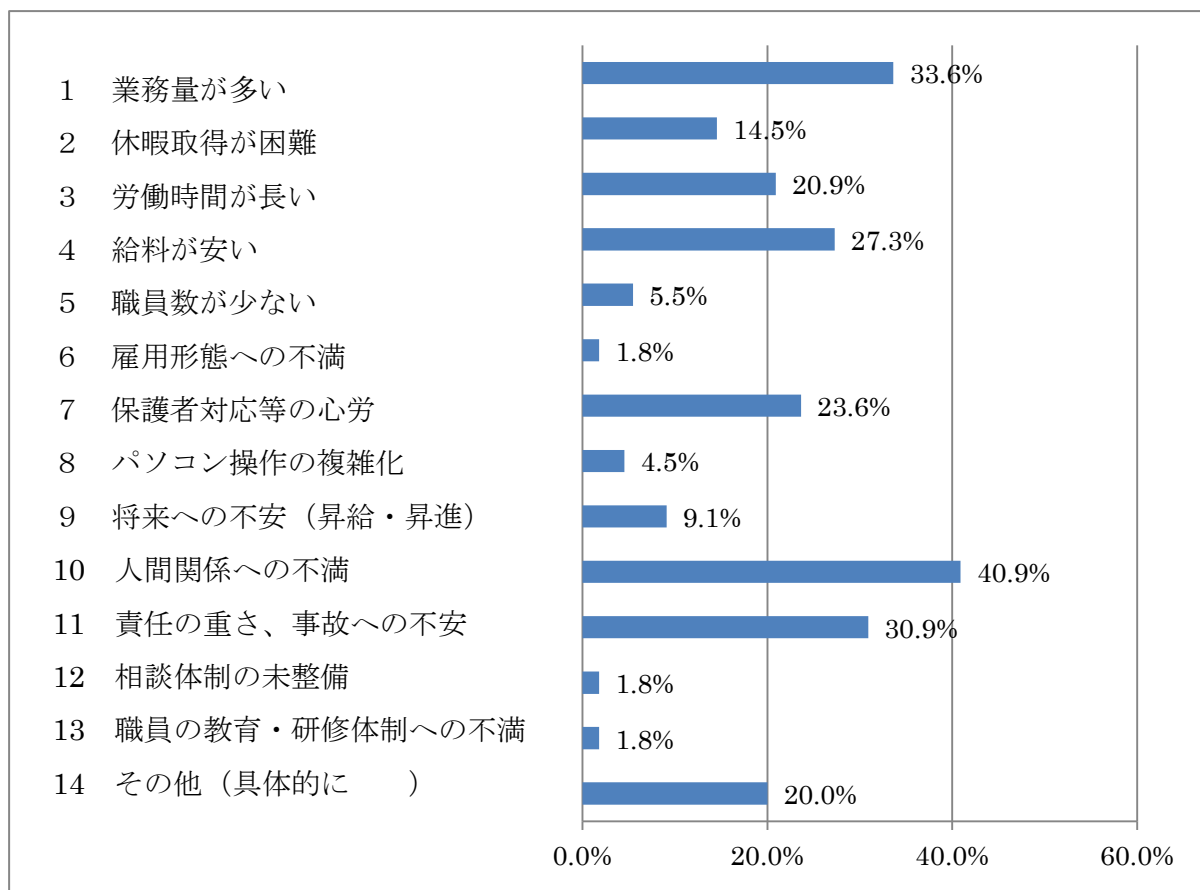
【有効回答数=80】

1 経営的に余裕がないため、雇用できない	11.3%
2 募集しても応募がない	62.5%
3 応募はあるが、マッチングが難しく、採用に至らない	8.8%
4 離職率が高い	20.0%
5 その他	20.0%



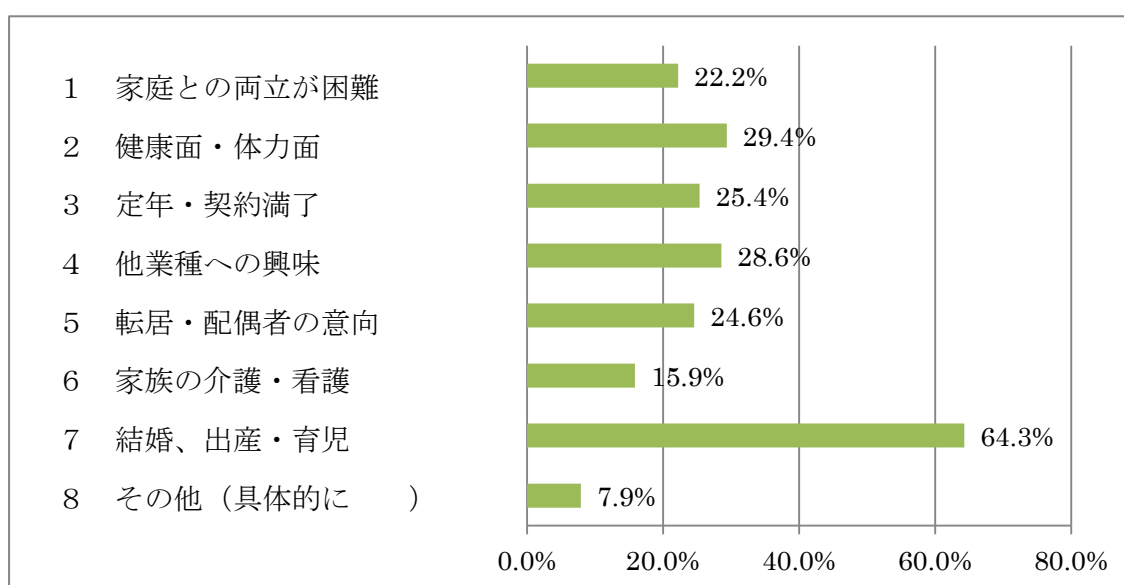
問4 貴園・施設において過去5年間の内、職場環境に関わる事柄での離職理由として当てはまるものをお答えください。(複数回答可)【有効回答数=110】

1 業務量が多い	33.6%	8 パソコン操作の複雑化	4.5%
2 休暇取得が困難	14.5%	9 将来への不安(昇給・昇進)	9.1%
3 労働時間が長い	20.9%	10 人間関係への不満	40.9%
4 給料が安い	27.3%	11 責任の重さ、事故への不安	30.9%
5 職員数が少ない	5.5%	12 相談体制の未整備	1.8%
6 雇用形態への不満	1.8%	13 職員の教育・研修体制への不満	1.8%
7 保護者対応等の心労	23.6%	14 その他(具体的に)	20.0%



問5 貴園・施設において過去5年間の内、職員自身の事情での離職理由として当てはまるものをお答えください。(複数回答可)【有効回答数=126】

1 家庭との両立が困難	22.2%
2 健康面・体力面	29.4%
3 定年・契約満了	25.4%
4 他業種への興味	28.6%
5 転居・配偶者の意向	24.6%
6 家族の介護・看護	15.9%
7 結婚、出産・育児	64.3%
8 その他(具体的に)	7.9%



問6 現在どのような雇用形態および勤務形態の職員を求めているかお答えください。
雇用形態および勤務形態の該当する数字を表にご記入ください。(上位3つ)

【有効回答数=110】

1 正規職員	1 常勤職員	72.7%
1 正規職員	2 早番・遅番可能	14.5%
1 正規職員	3 休業代用職員	0.9%
1 正規職員	4 担任補助・加配職員	8.2%
1 正規職員	5 正規職員の休日代行職員	1.8%
1 正規職員	6 その他	0.9%
2 有期契約職員(フルタイム)	1 常勤職員	11.8%
2 有期契約職員(フルタイム)	2 早番・遅番可能	24.5%
2 有期契約職員(フルタイム)	3 休業代用職員	18.2%
2 有期契約職員(フルタイム)	4 担任補助・加配職員	16.4%
2 有期契約職員(フルタイム)	5 正規職員の休日代行職員	1.8%
2 有期契約職員(フルタイム)	6 その他	0.9%
3 有期契約職員(パート)	2 早番・遅番可能	30.9%
3 有期契約職員(パート)	3 休業代用職員	7.3%
3 有期契約職員(パート)	4 担任補助・加配職員	20.9%
3 有期契約職員(パート)	5 正規職員の休日代行職員	4.5%
3 有期契約職員(パート)	6 その他	0.9%

問7 求人活動として実施しているものをお答えください。また、選択した求人手段の効果について5段階で評価してください。(○は各1つ)

1 養成施設からの紹介	1 高い	33.0%	【有効回答数 =91】
	2 やや高い	35.2%	
	3 どちらともいえない	14.3%	
	4 やや低い	7.7%	
	5 低い	9.9%	
2 ハローワーク	1 高い	22.3%	【有効回答数 =103】
	2 やや高い	29.1%	
	3 どちらともいえない	15.5%	
	4 やや低い	11.7%	
	5 低い	21.4%	
3 求人広告 (新聞、求人誌)	1 高い	0.0%	【有効回答数 =21】
	2 やや高い	4.8%	
	3 どちらともいえない	23.8%	
	4 やや低い	19.0%	
	5 低い	52.4%	
4 自施設のHP、チラシ	1 高い	6.3%	【有効回答数 =48】
	2 やや高い	14.6%	
	3 どちらともいえない	31.3%	
	4 やや低い	14.6%	
	5 低い	33.3%	
5 人材派遣、紹介会社	1 高い	7.8%	【有効回答数 =51】
	2 やや高い	29.4%	
	3 どちらともいえない	27.5%	
	4 やや低い	23.5%	
	5 低い	11.8%	
6 就職説明会	1 高い	9.2%	【有効回答数 =65】
	2 やや高い	24.6%	
	3 どちらともいえない	32.3%	
	4 やや低い	15.4%	
	5 低い	18.5%	
7 自治体との連携	1 高い	0.0%	【有効回答数 =27】
	2 やや高い	18.5%	
	3 どちらともいえない	29.6%	
	4 やや低い	14.8%	
	5 低い	37.0%	

問8 昨年度、求人募集した人数についてお答えください。(〇は1つだけ)

【有効回答数=129 内募集あり 109】

1 0人	15.5%
2 1人	18.6%
3 2人	27.9%
4 3人	20.9%
5 4人	6.2%
6 5人	6.2%
7 6人	0.8%
8 7人	0.8%
9 8人以上	3.1%

問9 昨年度、求人募集を行った結果、採用となった人数をお答えください。(〇は1つだけ) 【有効回答数=109】

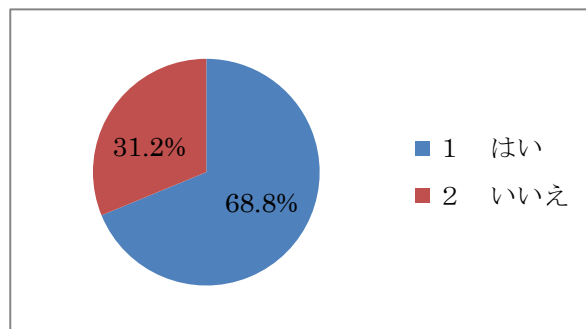
1 0人	10.1%
2 1人	26.6%
3 2人	28.4%
4 3人	15.6%
5 4人	10.1%
6 5人	5.5%
7 6人	0.9%
8 7人	0.0%
9 8人以上	2.8%

※問8 (募集) - 問9 (採用)

=0人(募集=採用)	57.8%
<0人(募集<採用:募集以上に採用)	9.2%
>0人(募集>採用:採用不足)	33.0%

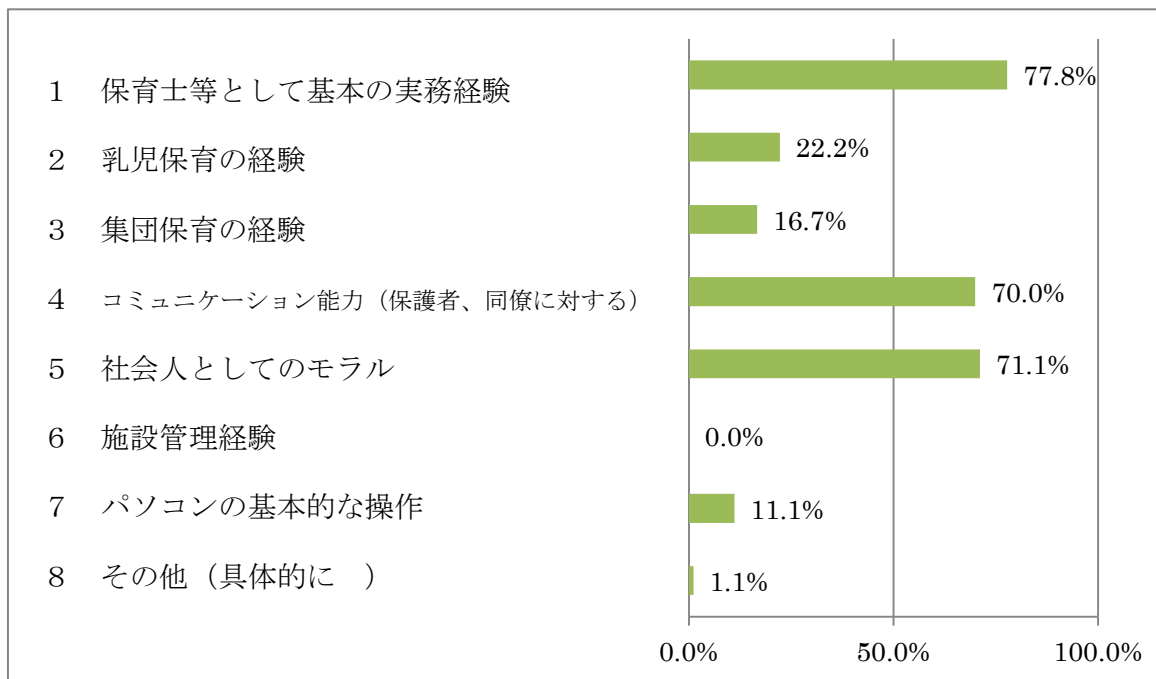
問10 新卒採用以外の潜在保育士等の求人活動を行っているかお答えください。(〇は1つだけ) 【有効回答数=128】

1 はい	68.8%
2 いいえ	31.3%



問 11 雇用する潜在保育士等に求める技術・知識についてお答えください。(○は3つまで)【有効回答数=90】

1 保育士等として基本の実務経験	77.8%
2 乳児保育の経験	22.2%
3 集団保育の経験	16.7%
4 コミュニケーション能力(保護者、同僚に対する)	70.0%
5 社会人としてのモラル	71.1%
6 施設管理経験	0.0%
7 パソコンの基本的な操作	11.1%
8 その他(具体的に)	1.1%



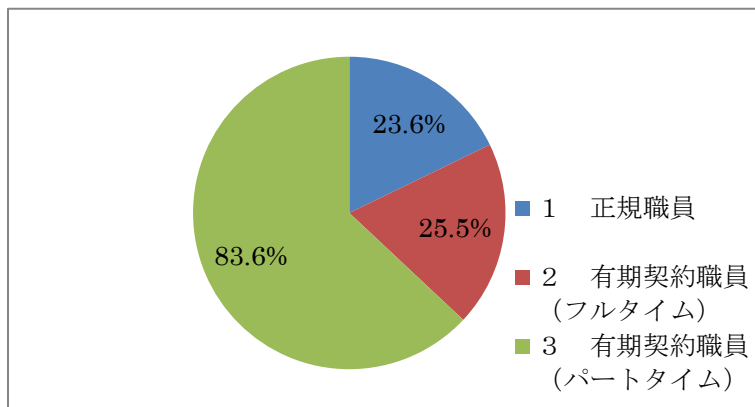
問 12 潜在保育士等の求人活動の採用結果(採用したか)をお答えください。(○は1つだけ)【有効回答数=92】

1 採用をした	59.8%
2 採用しなかった(できなかった)	40.2%

問 13 雇用した潜在保育士等の雇用形態についてお答えください。(複数回答可)

【有効回答数=55】

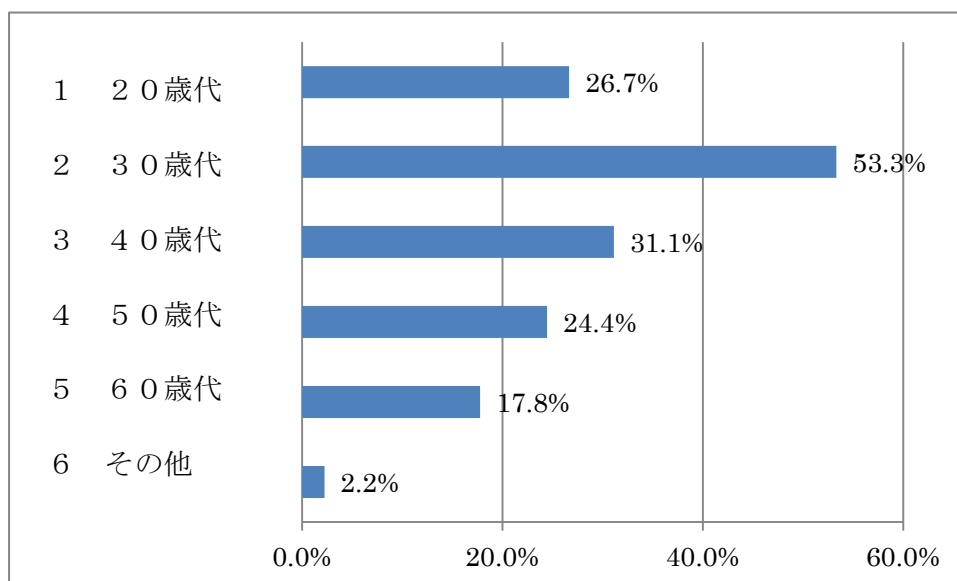
1 正規職員	23.6%
2 有期契約職員(フルタイム)	25.5%
3 有期契約職員(パートタイム)	83.6%



問 14 今年度、雇用した潜在保育士等の年代についてお答えください。(複数回答可)

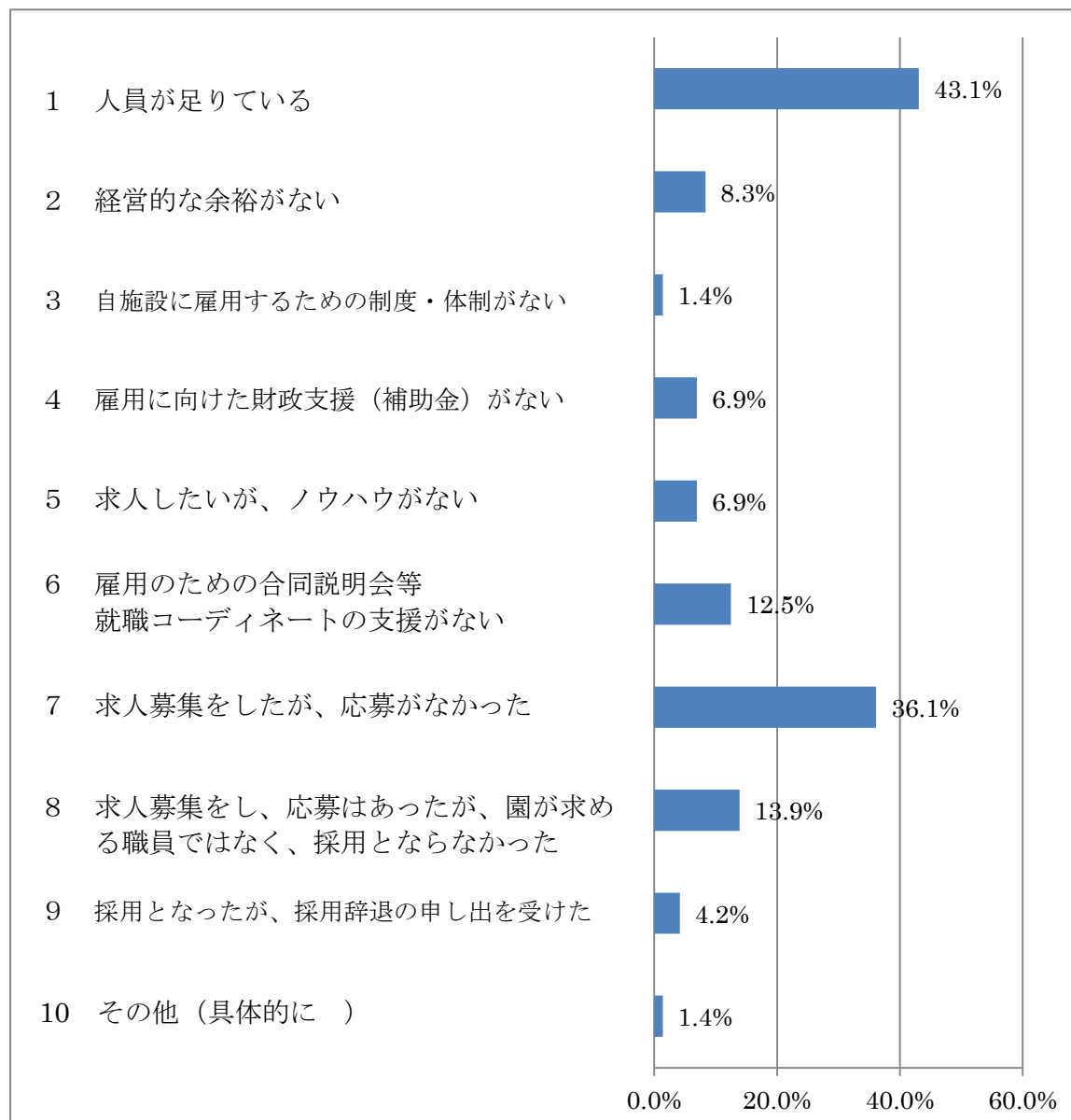
【有効回答数=45】

1 20歳代	26.7%
2 30歳代	53.3%
3 40歳代	31.1%
4 50歳代	24.4%
5 60歳代	17.8%
6 その他	2.2%



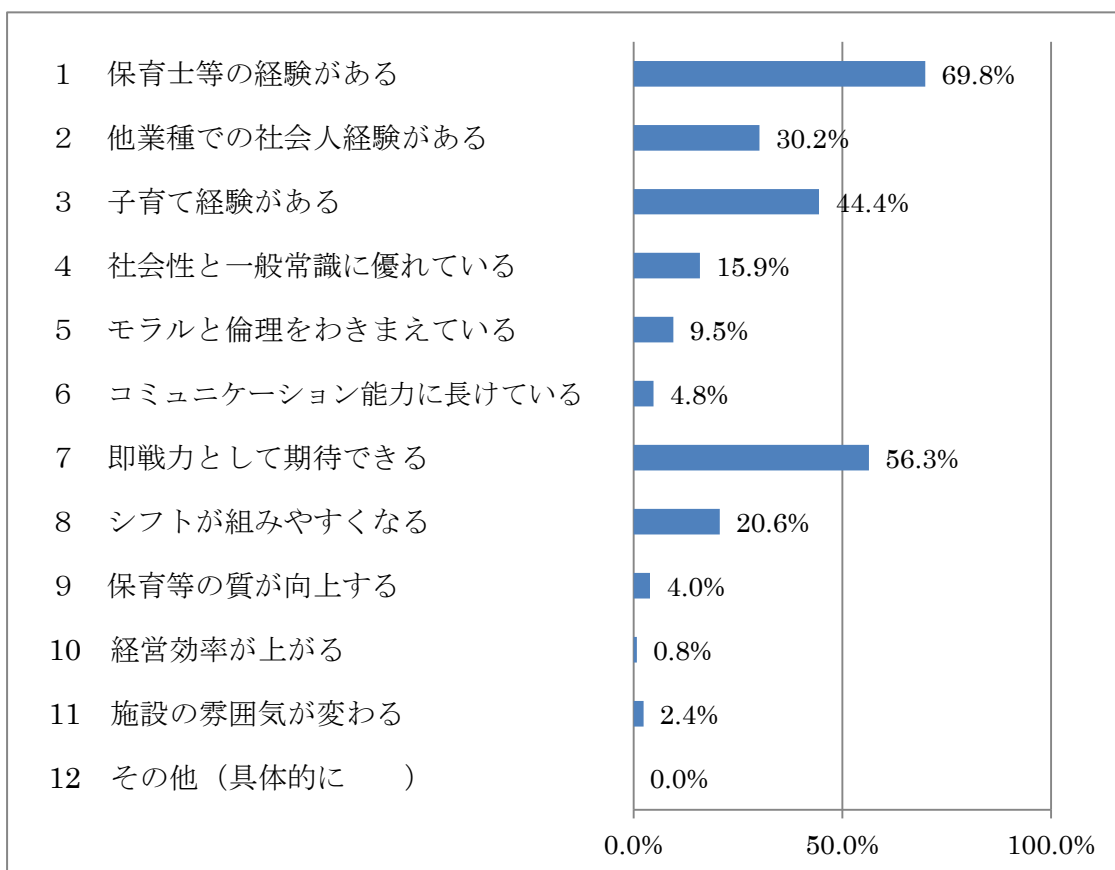
問 15 潜在保育士等を雇用しない（またはできない）理由についてお答えください。
 （複数回答可）【有効回答数=72】

1 人員が足りている	43.1%
2 経営的な余裕がない	8.3%
3 自施設に雇用するための制度・体制がない	1.4%
4 雇用に向けた財政支援（補助金）がない	6.9%
5 求人したいが、ノウハウがない	6.9%
6 雇用のための合同説明会等就職コーディネートの支援がない	12.5%
7 求人募集をしたが、応募がなかった	36.1%
8 求人募集をし、応募はあったが、園が求める職員ではなく、採用とならなかった	13.9%
9 採用となったが、採用辞退の申し出を受けた	4.2%
10 その他（具体的に）	1.4%



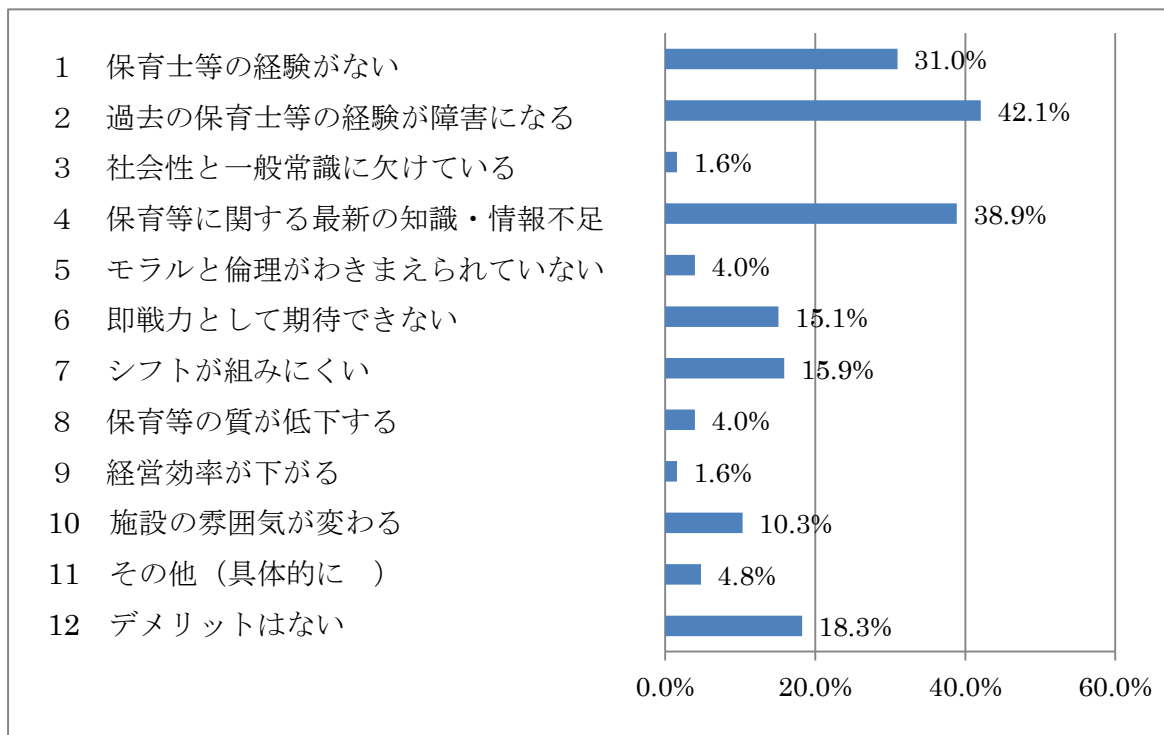
問 16 潜在保育士等を採用するメリットと考えられるものをお選びください。(〇は3つまで)【有効回答数=126】

1 保育士等の経験がある	69.8%
2 他業種での社会人経験がある	30.2%
3 子育て経験がある	44.4%
4 社会性と一般常識に優れている	15.9%
5 モラルと倫理をわかまえている	9.5%
6 コミュニケーション能力に長けている	4.8%
7 即戦力として期待できる	56.3%
8 シフトが組みやすくなる	20.6%
9 保育等の質が向上する	4.0%
10 経営効率が上がる	0.8%
11 施設の雰囲気が変わる	2.4%
12 その他(具体的に)	0.0%



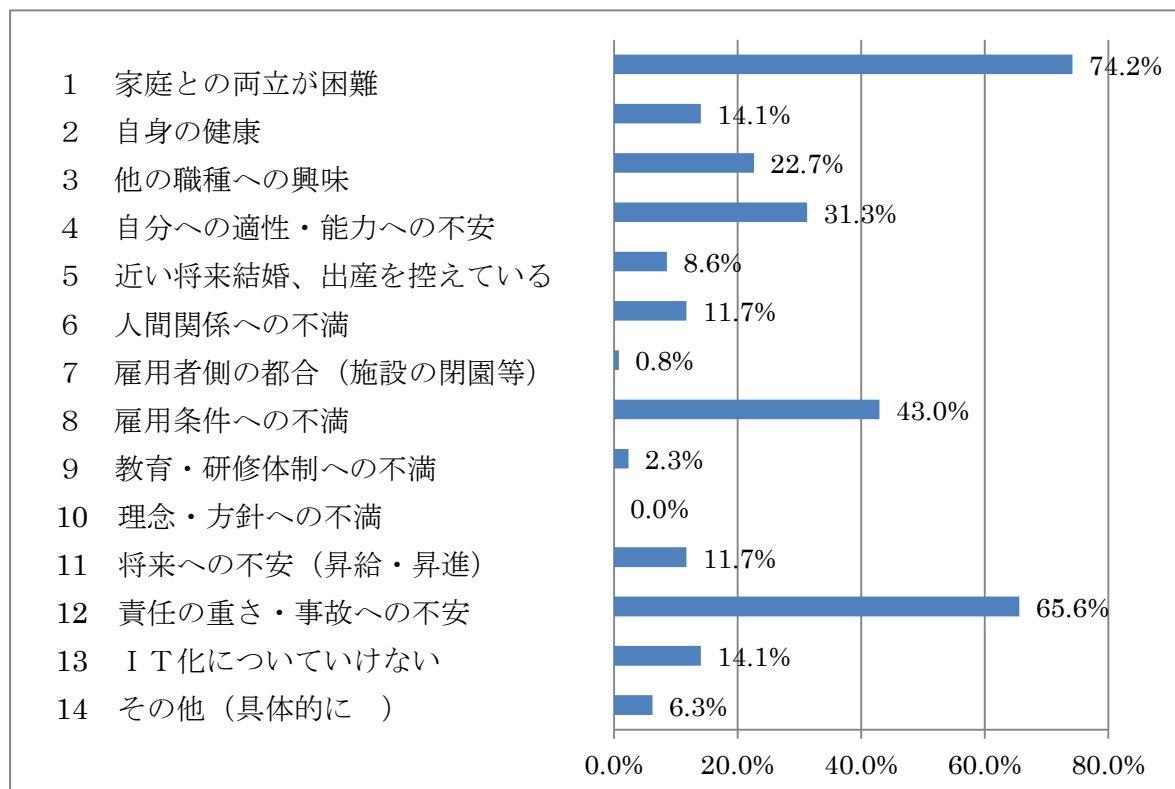
問 17 潜在保育士等を採用するデメリットと考えられるものをお選びください。(〇は3つまで)【有効回答数=126】

1 保育士等の経験がない	31.0%
2 過去の保育士等の経験が障害になる	42.1%
3 社会性と一般常識に欠けている	1.6%
4 保育等に関する最新の知識・情報不足	38.9%
5 モラルと倫理がわきまえられていない	4.0%
6 即戦力として期待できない	15.1%
7 シフトが組みにくい	15.9%
8 保育等の質が低下する	4.0%
9 経営効率が下がる	1.6%
10 施設の雰囲気が変わる	10.3%
11 その他(具体的に)	4.8%
12 デメリットはない	18.3%



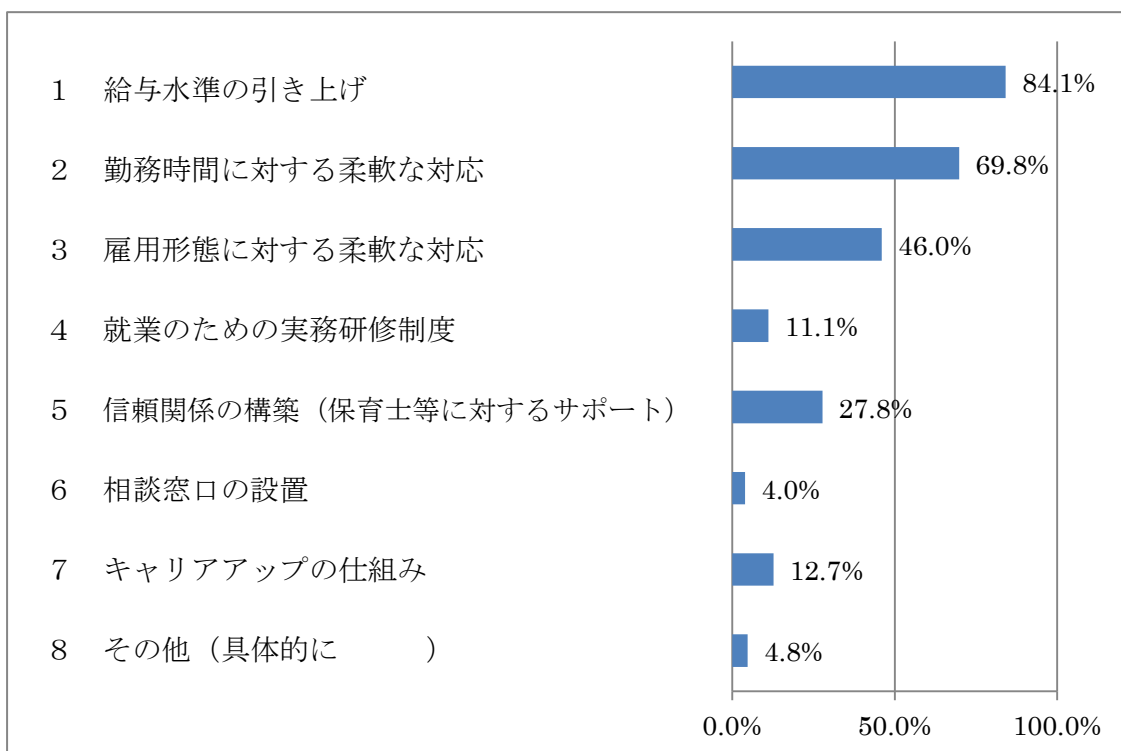
問 18 潜在保育士等が保育士等として就業しない理由として貴園・施設が思う理由をお選びください。(複数回答可)【有効回答数=128】

1 家庭との両立が困難	74.2%
2 自身の健康	14.1%
3 他の職種への興味	22.7%
4 自分への適性・能力への不安	31.3%
5 近い将来結婚、出産を控えている	8.6%
6 人間関係への不満	11.7%
7 雇用者側の都合(施設の閉園等)	0.8%
8 雇用条件への不満	43.0%
9 教育・研修体制への不満	2.3%
10 理念・方針への不満	0.0%
11 将来への不安(昇給・昇進)	11.7%
12 責任の重さ・事故への不安	65.6%
13 IT化についていけない	14.1%
14 その他(具体的に)	6.3%



問 19 今後、保育士等を確保するにあたって行うと良いと思う（または実際に行っている）工夫についてお選びください。（〇は3つまで）【有効回答数=126】

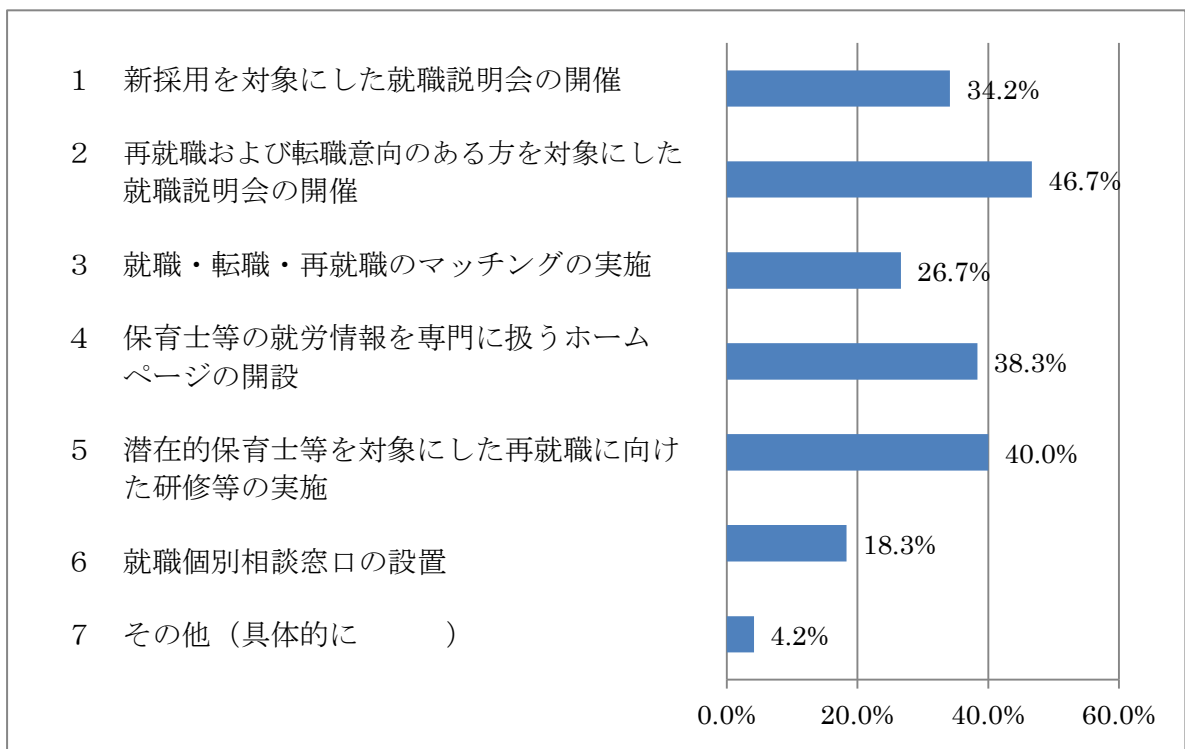
1 給与水準の引き上げ	84.1%
2 勤務時間に対する柔軟な対応	69.8%
3 雇用形態に対する柔軟な対応	46.0%
4 就業のための実務研修制度	11.1%
5 信頼関係の構築(保育士等に対するサポート)	27.8%
6 相談窓口の設置	4.0%
7 キャリアアップの仕組み	12.7%
8 その他(具体的に)	4.8%



問 20 今後、求人雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。(複数回答可)

【有効回答数=120】

1 新採用を対象にした就職説明会の開催	34.2%
2 再就職および転職意向のある方を対象にした就職説明会の開催	46.7%
3 就職・転職・再就職のマッチングの実施	26.7%
4 保育士等の就労情報を専門に扱うホームページの開設	38.3%
5 潜在的保育士等を対象にした再就職に向けた研修等の実施	40.0%
6 就職個別相談窓口の設置	18.3%
7 その他(具体的に)	4.2%

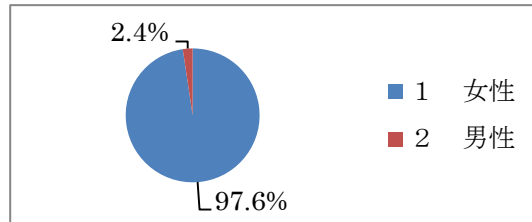


【2】保育士指定養成施設卒業生向け調査（単純集計）

問1 ご自身についてお答えください。

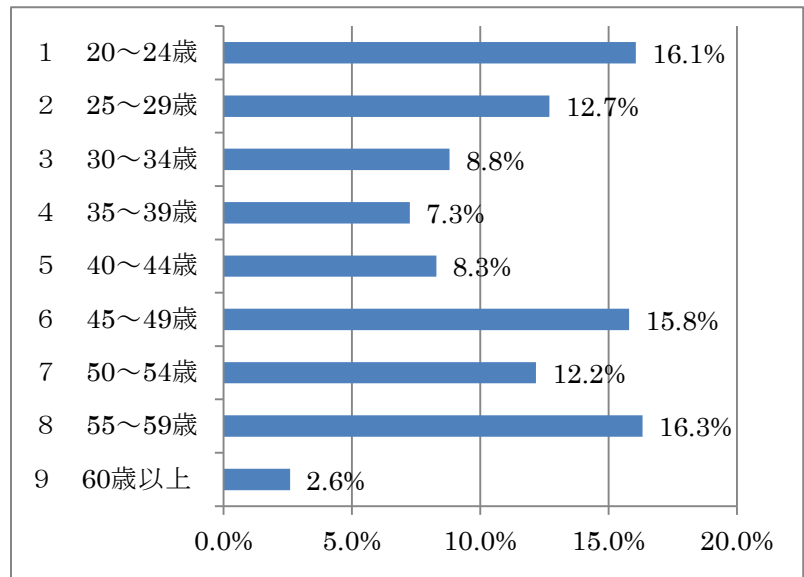
(1) 性別【有効回答数=381】

1 女性	97.6%
2 男性	2.4%



(2) 年齢【有効回答数=386】

1 20～24歳	16.1%
2 25～29歳	12.7%
3 30～34歳	8.8%
4 35～39歳	7.3%
5 40～44歳	8.3%
6 45～49歳	15.8%
7 50～54歳	12.2%
8 55～59歳	16.3%
9 60歳以上	2.6%



(3) 配偶者の有無【有効回答数=381】

1 有	65.9%
2 無	34.1%

(4) 子どもの有無【有効回答数=377】

1 有	65.8%
2 無	34.2%

(5) 配偶者・子ども以外の同居親族の有無【有効回答数=378】

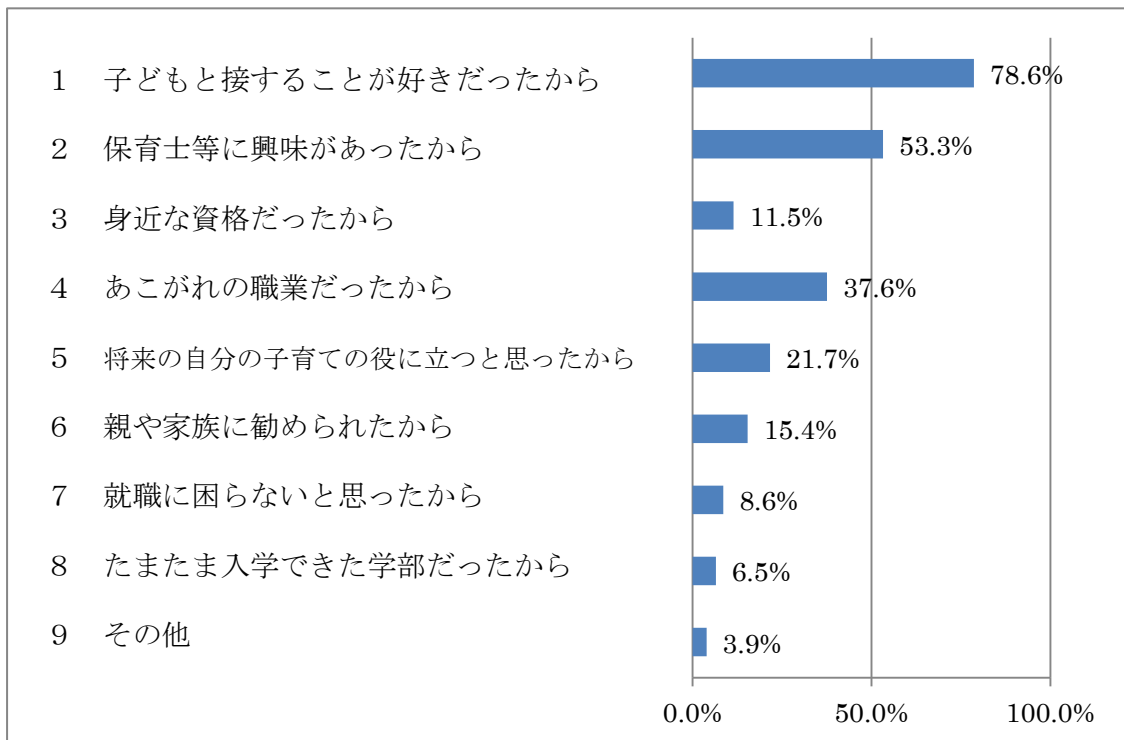
1 有(父母、兄弟姉妹、祖父母)	65.1%
2 無	34.9%

(6) 卒業校【有効回答数=381】

1 短期大学	77.7%
2 大学	22.3%

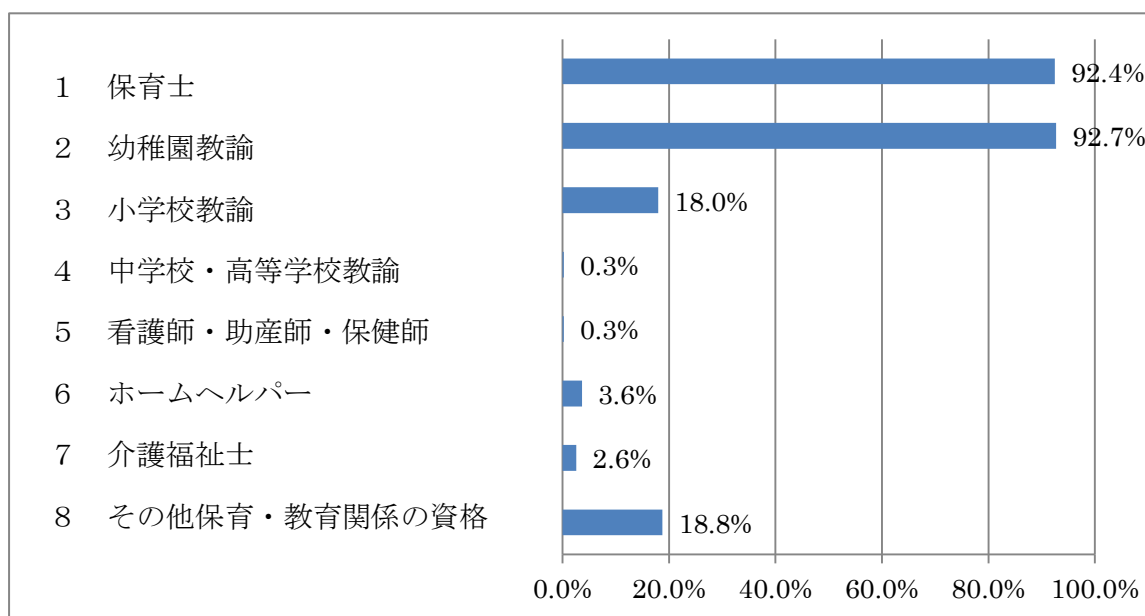
問2 あなたが保育士資格・幼稚園教諭免許を取得した主な理由をお答えください。(○は3つまで)【有効回答数=383】

1 子どもと接することが好きだったから	78.6%
2 保育士等に興味があったから	53.3%
3 身近な資格だったから	11.5%
4 あこがれの職業だったから	37.6%
5 将来の自分の子育ての役に立つと思ったから	21.7%
6 親や家族に勧められたから	15.4%
7 就職に困らないと思ったから	8.6%
8 たまたま入学できた学部だったから	6.5%
9 その他	3.9%



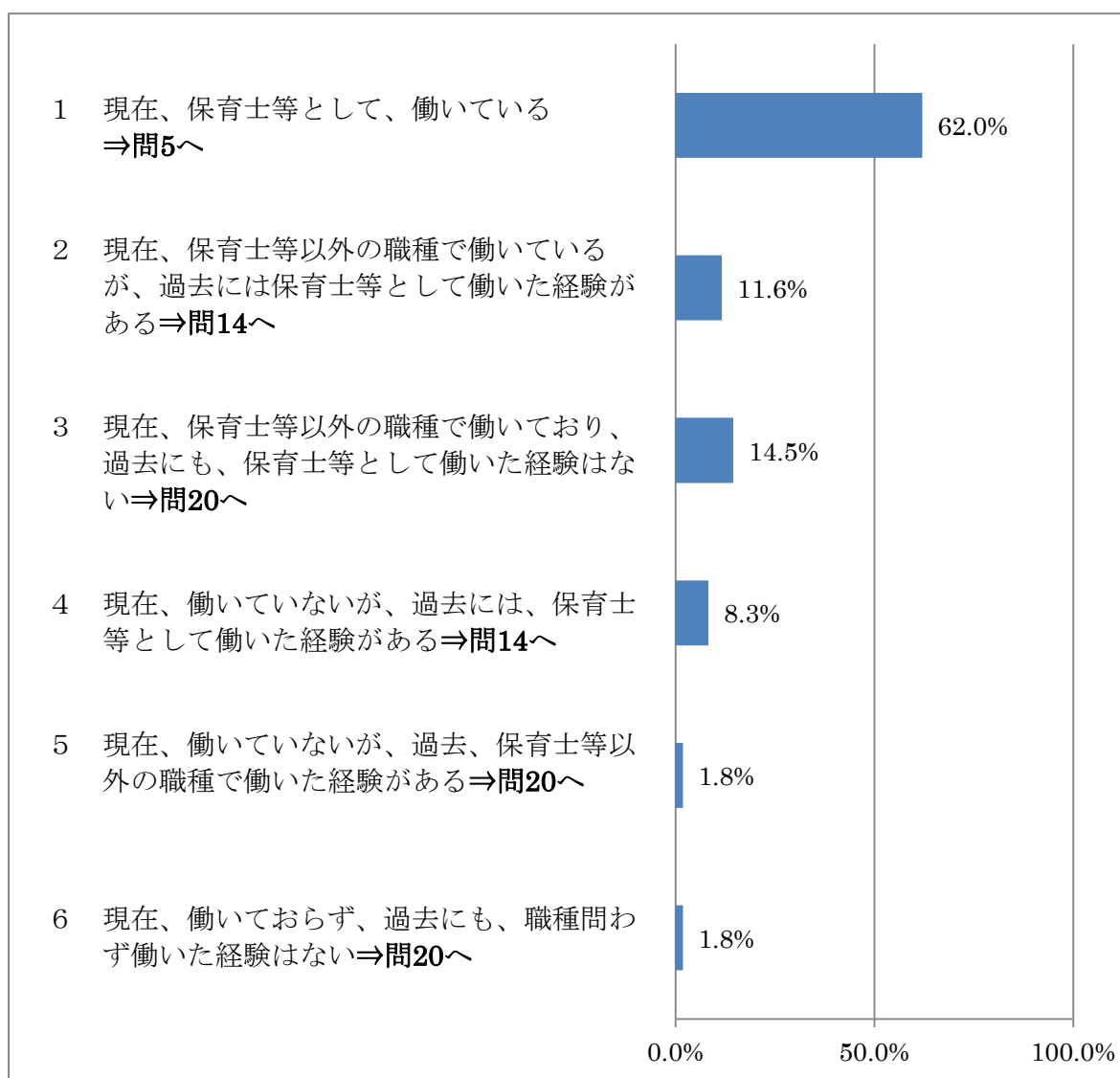
問3 あなたが有している資格・免許（H29年4月1日現在）をお答えください。（○はいくつでも）【有効回答数=384】

1 保育士	92.4%
2 幼稚園教諭	92.7%
3 小学校教諭	18.0%
4 中学校・高等学校教諭	0.3%
5 看護師・助産師・保健師	0.3%
6 ホームヘルパー	3.6%
7 介護福祉士	2.6%
8 その他保育・教育関係の資格	18.8%



問4 あなたの現在の就業状況（自営・パートを含む）をお答えください。（○は1つだけ）※現在、休職中の方（産休・育休含む）は、「働いている」としてお答えください。【有効回答数=387】

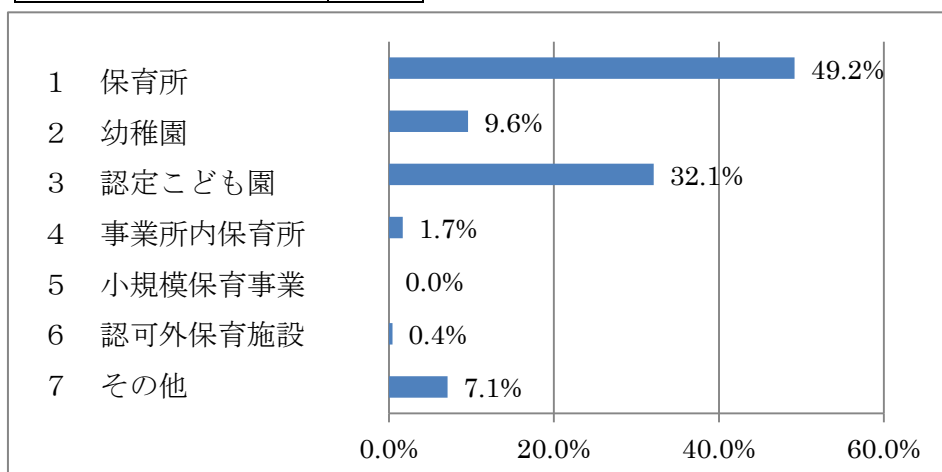
1 現在、保育士等として、働いている⇒問5へ	62.0%
2 現在、保育士等以外の職種で働いているが、過去には保育士等として働いた経験がある⇒問14へ	11.6%
3 現在、保育士等以外の職種で働いており、過去にも、保育士等として働いた経験はない⇒問20へ	14.5%
4 現在、働いていないが、過去には、保育士等として働いた経験がある⇒問14へ	8.3%
5 現在、働いていないが、過去、保育士等以外の職種で働いた経験がある⇒問20へ	1.8%
6 現在、働いておらず、過去にも、職種問わず働いた経験はない⇒問20へ	1.8%



問5 現在、保育士等として働いている施設は下記のそれぞれの条件のいずれにあたり
ますか。また、あなたの雇用形態としてあてはまるものをお選びください。複数
の施設で働いている方は、もっとも長時間働いているところを主たる勤め先とし
てお答えください。(以下同様に)(○は各1つ)

(1) 施設類型【有効回答数=240】

1 保育所	49.2%
2 幼稚園	9.6%
3 認定こども園	32.1%
4 事業所内保育所	1.7%
5 小規模保育事業	0.0%
6 認可外保育施設	0.4%
7 その他	7.1%



(2) 運営主体【有効回答数=233】

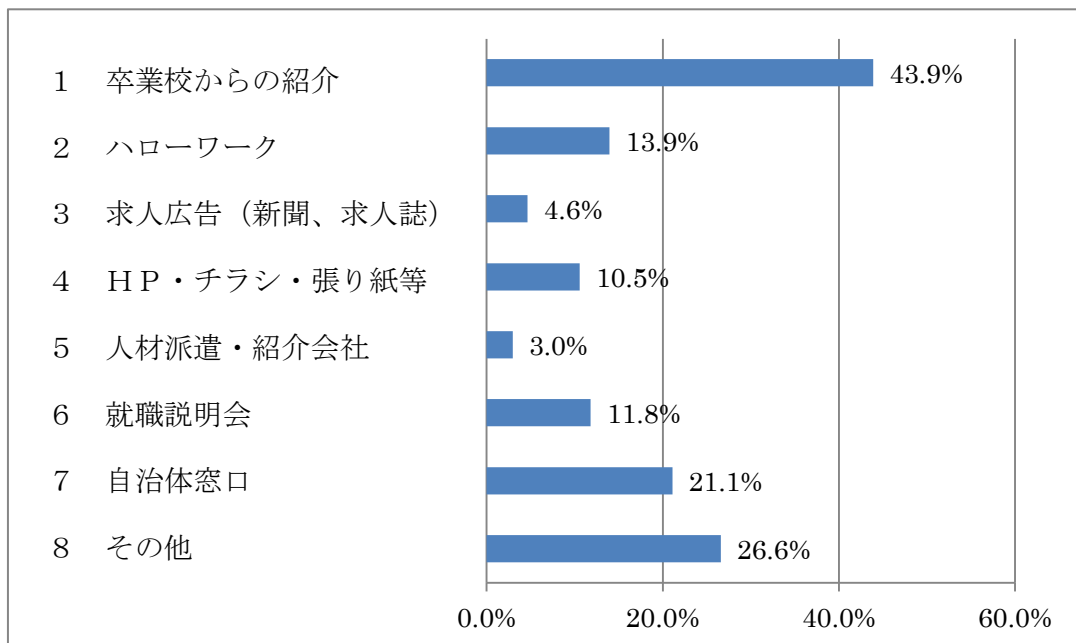
1 公立	47.2%
2 私立	52.8%

(3) 雇用形態【有効回答数=236】

1 正規職員 ※1	71.6%
2 有期契約職員(フルタイム)※2	11.9%
3 有期契約職員(パートタイム)※3	16.5%

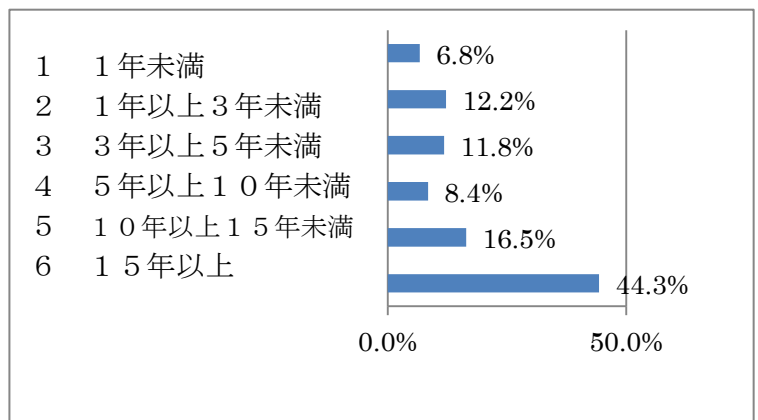
問6 あなたが保育士等になるにあたって行った求職活動手段についてお答えください。
 (〇はいくつでも)【有効回答数=237】

1 卒業校からの紹介	43.9%
2 ハローワーク	13.9%
3 求人広告(新聞、求人誌)	4.6%
4 HP・チラシ・張り紙等	10.5%
5 人材派遣・紹介会社	3.0%
6 就職説明会	11.8%
7 自治体窓口	21.1%
8 その他	26.6%



問7 あなたは保育士等として通算何年働いているかお答えください。なお、休職中の方(産休・育休含む)は休職期間も含めてお答えください。(〇は1つだけ)
 【有効回答数=237】

1 1年未満	6.8%
2 1年以上3年未満	12.2%
3 3年以上5年未満	11.8%
4 5年以上10年未満	8.4%
5 10年以上15年未満	16.5%
6 15年以上	44.3%



問8 あなたが保育士等として働いた施設数をお答えください。(○は1つだけ)

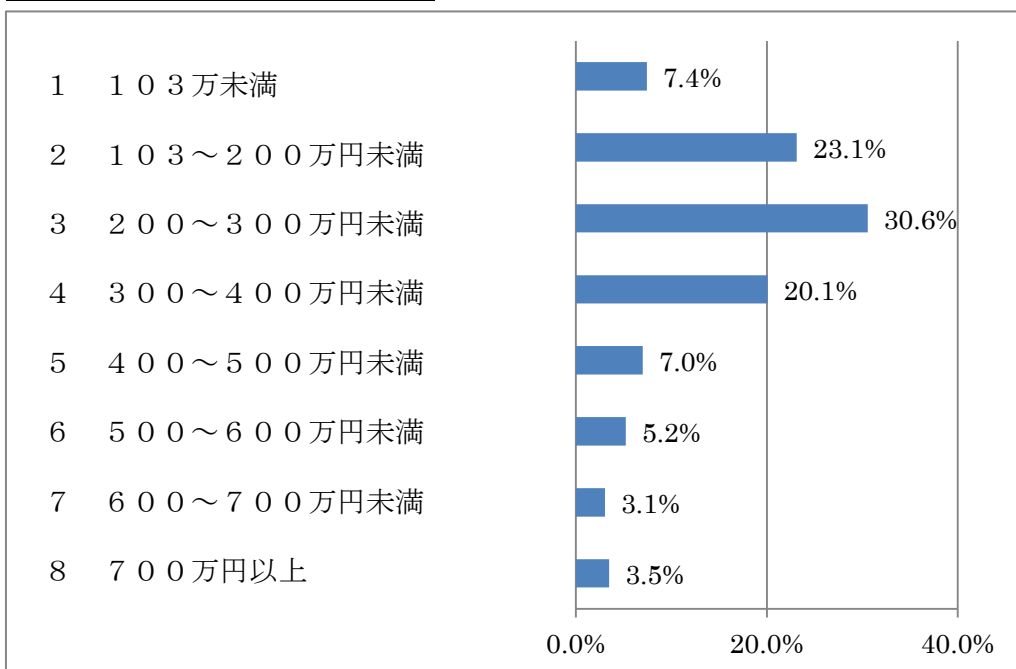
【有効回答数=234】

1 1施設	41.9%
2 2~3施設	39.7%
3 4施設以上	18.4%

問9 あなたの現在の年収(税引き前)についてお答えください。(○は1つだけ)

【有効回答数=229】

1 103万未満	7.4%
2 103~200万円未満	23.1%
3 200~300万円未満	30.6%
4 300~400万円未満	20.1%
5 400~500万円未満	7.0%
6 500~600万円未満	5.2%
7 600~700万円未満	3.1%
8 700万円以上	3.5%



問 10 現在の職場に対する以下のそれぞれの項目について、あなたの満足度をお答えください。(○は各1つ)

(1) 勤務日数【有効回答数=219】

大変満足	8.7%
満足	39.3%
やや満足	19.6%
どちらともいえない	19.2%
やや不満	7.8%
不満	4.1%
非常に不満	1.4%

(2) 勤務時間【有効回答数=227】

大変満足	6.6%
満足	26.0%
やや満足	15.9%
どちらともいえない	26.9%
やや不満	11.5%
不満	8.8%
非常に不満	4.4%

(3) 給与・賞与等【有効回答数=238】

大変満足	2.9%
満足	17.6%
やや満足	21.4%
どちらともいえない	13.9%
やや不満	18.5%
不満	15.5%
非常に不満	10.1%

(4) 職員数【有効回答数=236】

大変満足	6.8%
満足	13.6%
やや満足	13.1%
どちらともいえない	20.8%
やや不満	22.0%
不満	14.0%
非常に不満	9.7%

(5) 職場の人間関係【有効回答数=236】

大変満足	7.6%
満足	26.3%
やや満足	25.0%
どちらともいえない	19.1%
やや不満	12.3%
不満	5.5%
非常に不満	4.2%

(6) 休暇の取得しやすさ (福利厚生)

【有効回答数=236】

大変満足	5.9%
満足	14.8%
やや満足	21.9%
どちらともいえない	16.9%
やや不満	14.8%
不満	13.9%
非常に不満	11.8%

(7) 業務における相談体制

【有効回答数=237】

大変満足	4.6%
満足	16.0%
やや満足	24.9%
どちらともいえない	27.8%
やや不満	10.1%
不満	11.4%
非常に不満	5.1%

(8) 園 (など) の理念や運営方針

【有効回答数=236】

大変満足	5.5%
満足	23.3%
やや満足	24.6%
どちらともいえない	29.2%
やや不満	8.1%
不満	7.2%
非常に不満	2.1%

(9) 施設環境 【有効回答数=238】

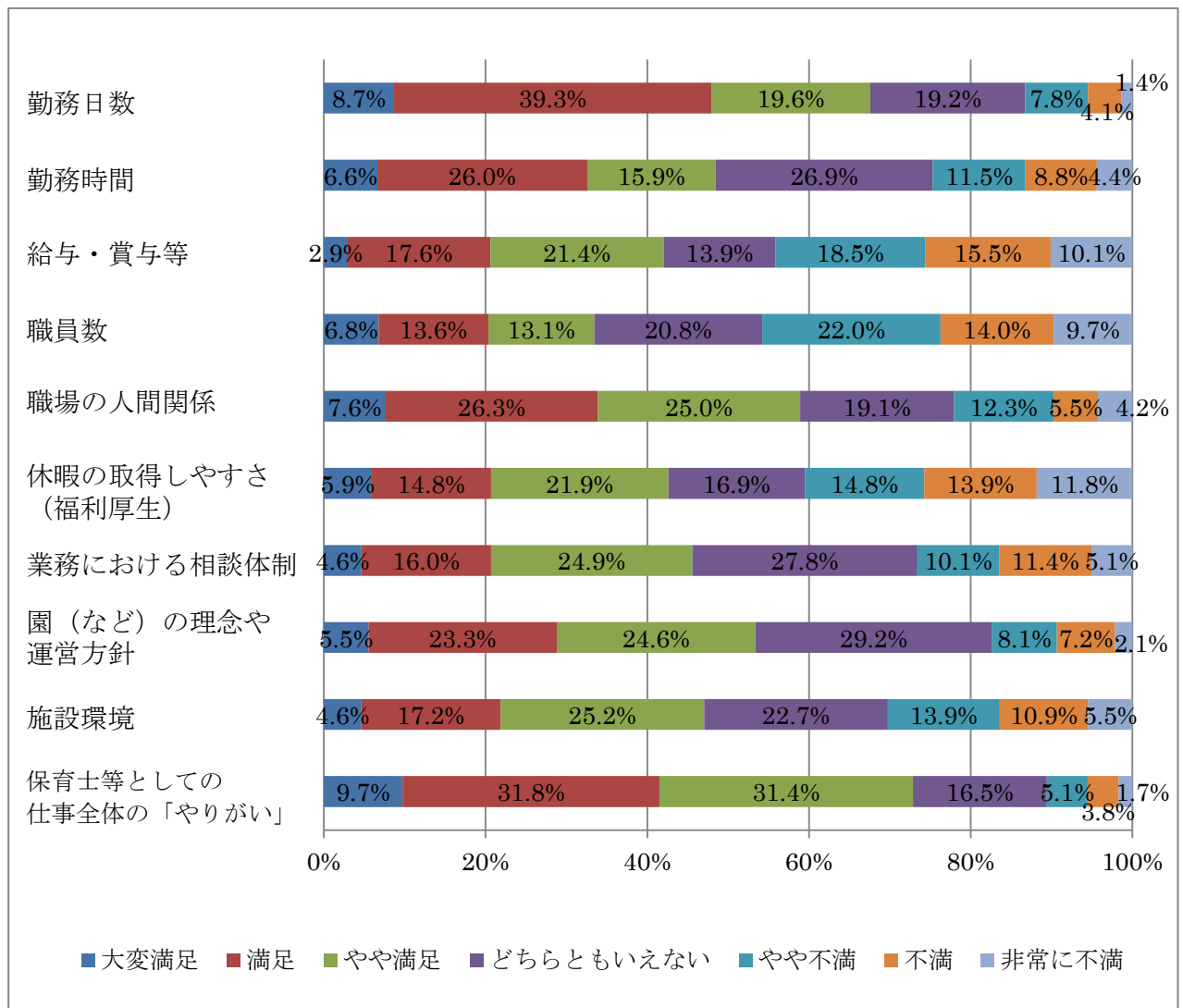
大変満足	4.6%
満足	17.2%
やや満足	25.2%
どちらともいえない	22.7%
やや不満	13.9%
不満	10.9%
非常に不満	5.5%

(10) 保育士等としての仕事全体の

「やりがい」

【有効回答数=236】

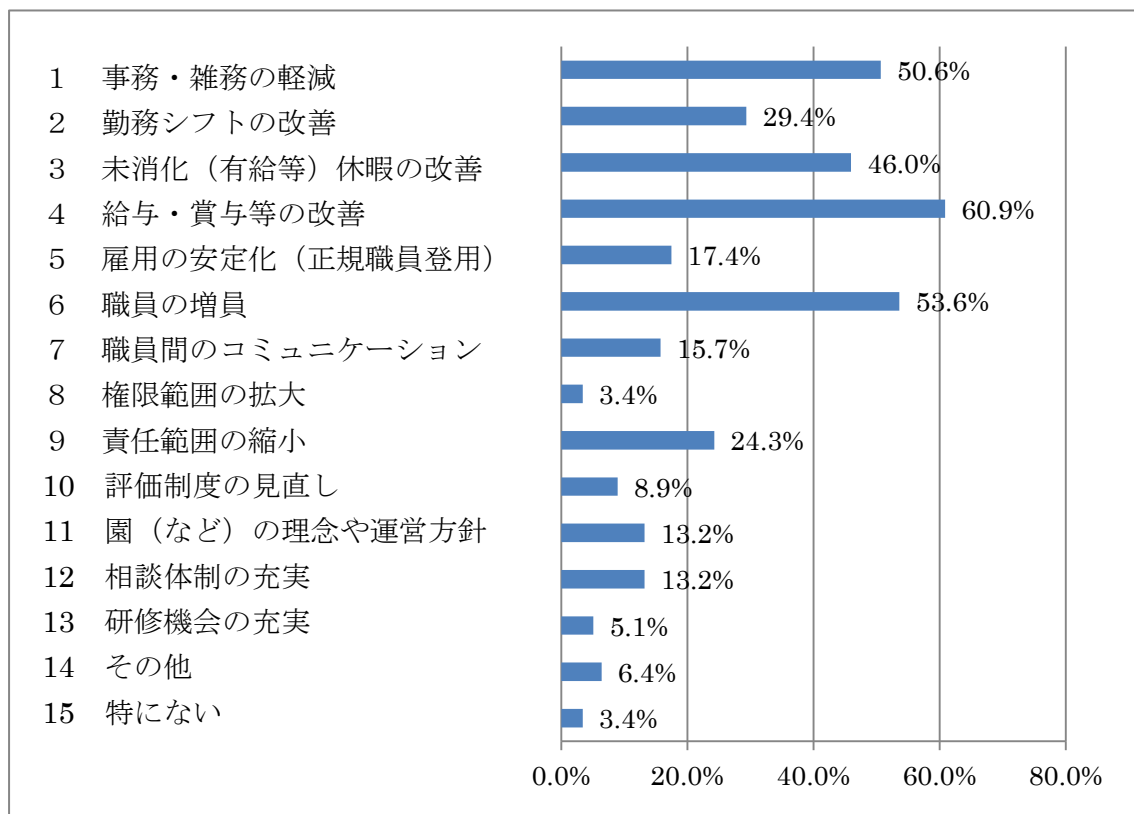
大変満足	9.7%
満足	31.8%
やや満足	31.4%
どちらともいえない	16.5%
やや不満	5.1%
不満	3.8%
非常に不満	1.7%



問 11 現在の職場に対して、日ごろあなたが改善してほしいと思っている事柄はありますか。下記の中から近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

【有効回答数=235】

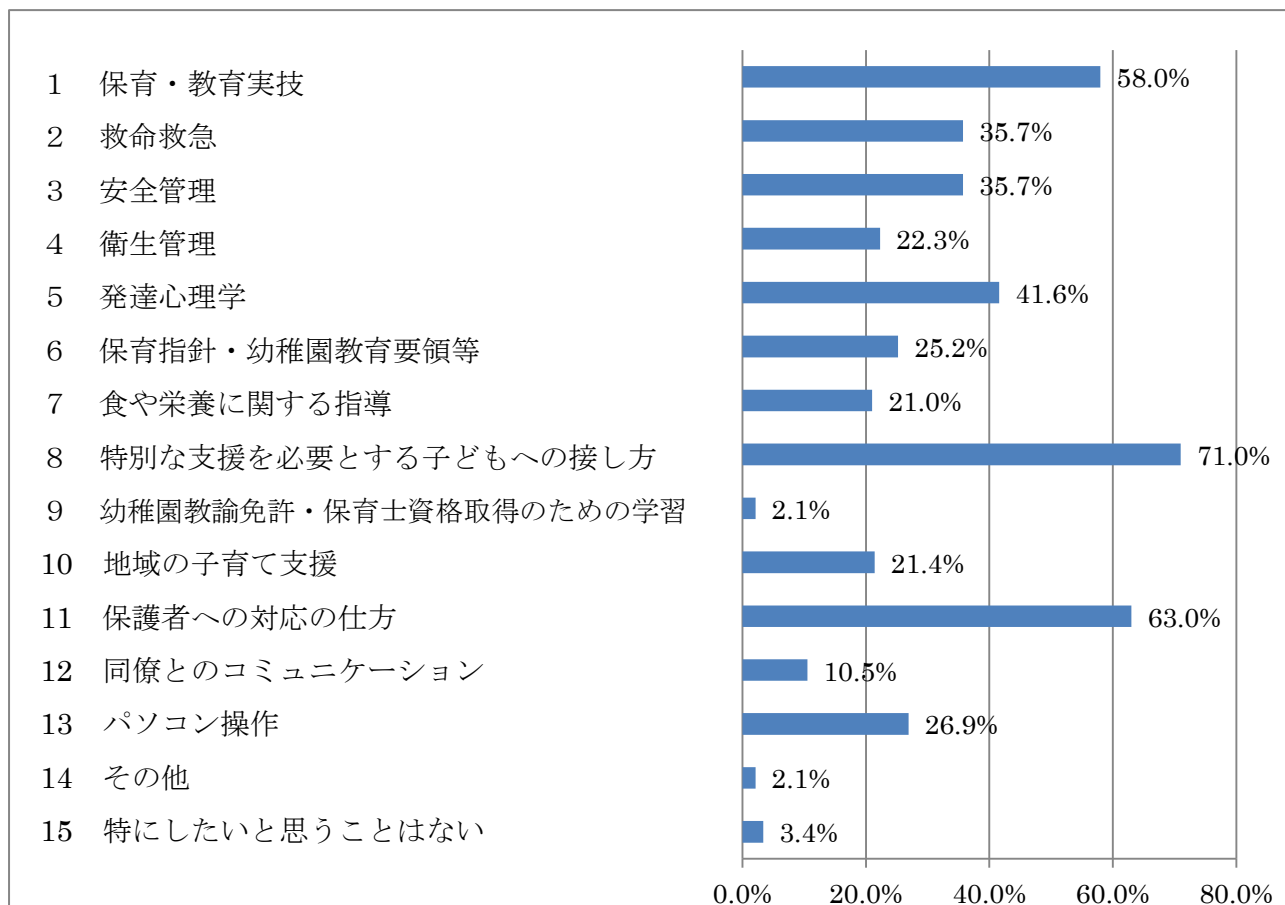
1 事務・雑務の軽減	50.6%
2 勤務シフトの改善	29.4%
3 未消化(有給等)休暇の改善	46.0%
4 給与・賞与等の改善	60.9%
5 雇用の安定化(正規職員登用)	17.4%
6 職員の増員	53.6%
7 職員間のコミュニケーション	15.7%
8 権限範囲の拡大	3.4%
9 責任範囲の縮小	24.3%
10 評価制度の見直し	8.9%
11 園(など)の理念や運営方針	13.2%
12 相談体制の充実	13.2%
13 研修機会の充実	5.1%
14 その他	6.4%
15 特にない	3.4%



問 12 あなたは保育士等として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。 下記の中からお選びください。(〇はいくつでも)

【有効回答数=238】

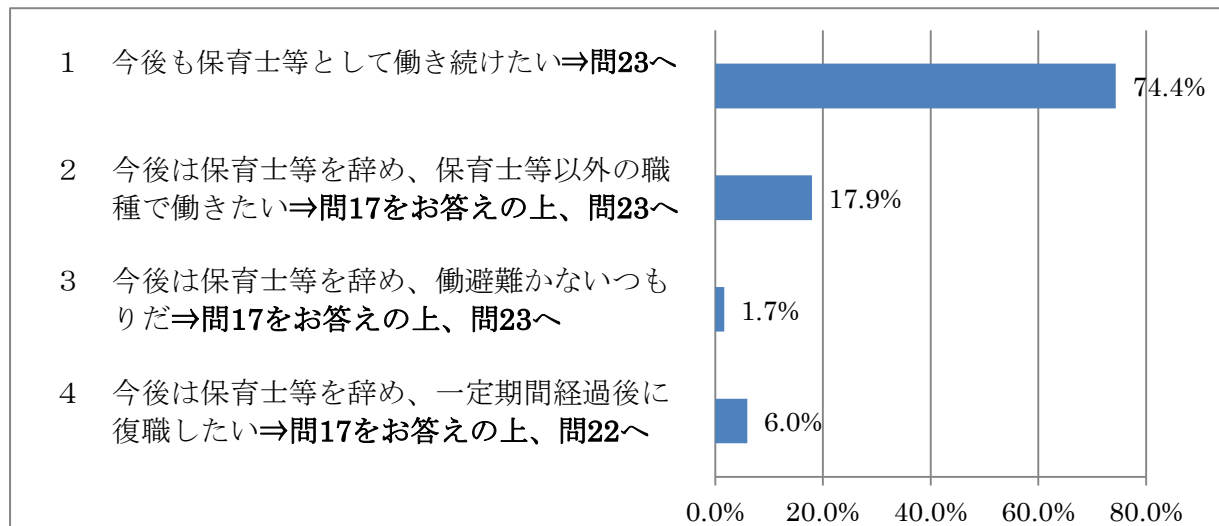
1 保育・教育実技	58.0%
2 救命救急	35.7%
3 安全管理	35.7%
4 衛生管理	22.3%
5 発達心理学	41.6%
6 保育指針・幼稚園教育要領等	25.2%
7 食や栄養に関する指導	21.0%
8 特別な支援を必要とする子どもへの接し方	71.0%
9 幼稚園教諭免許・保育士資格取得のための学習	2.1%
10 地域の子育て支援	21.4%
11 保護者への対応の仕方	63.0%
12 同僚とのコミュニケーション	10.5%
13 パソコン操作	26.9%
14 その他	2.1%
15 特にしたいと思うことはない	3.4%



問 13 あなたは今後も保育士等として働きたいと思っていますか。(○は1つだけ)

【有効回答数=234】

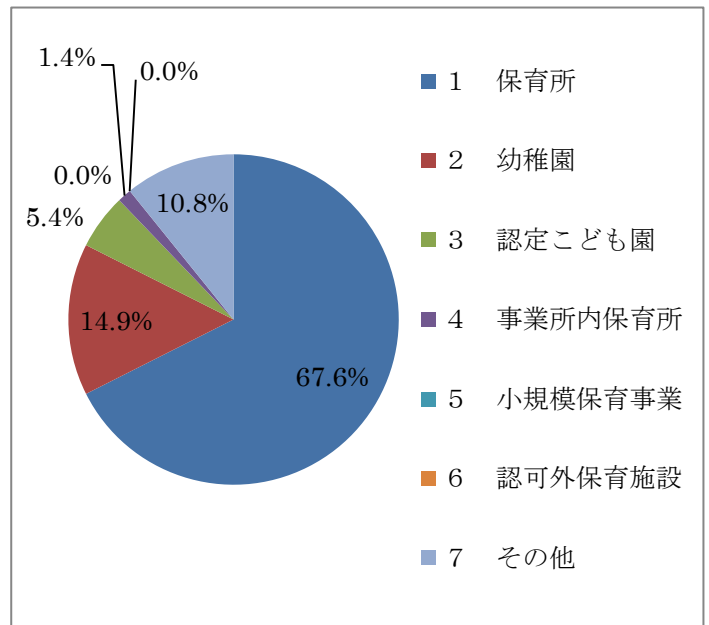
1 今後も保育士等として働きたい⇒問 23 へ	74.4%
2 今後は保育士等を辞め、保育士等以外の職種で働きたい⇒問 17 をお答えの上、問 23 へ	17.9%
3 今後は保育士等を辞め、働避難かないつもりだ⇒問 17 をお答えの上、問 23 へ	1.7%
4 今後は保育士等を辞め、一定期間経過後に復職したい⇒問 17 をお答えの上、問 22 へ	6.0%



問 14 過去、保育士等として働いていた施設は下記のそれぞれの条件のいずれにあたりますか。また、あなたの雇用形態としてあてはまるものをお選びください。複数で働いていた方は、もっとも最近働いていたところをお答えください（以下同様に）。(○は各1つ)

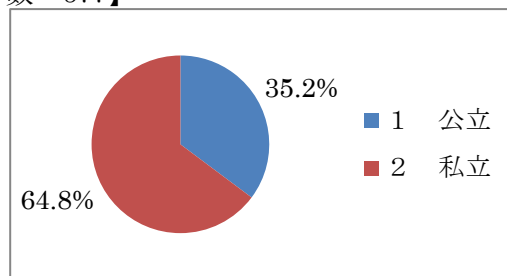
(1) 施設類型【有効回答数=74】

1 保育所	67.6%
2 幼稚園	14.9%
3 認定こども園	5.4%
4 事業所内保育所	1.4%
5 小規模保育事業	0.0%
6 認可外保育施設	0.0%
7 その他	10.8%



(2) 運営主体【有効回答数=377】

1 公立	35.2%
2 私立	64.8%



(3) 雇用形態【有効回答数=72】

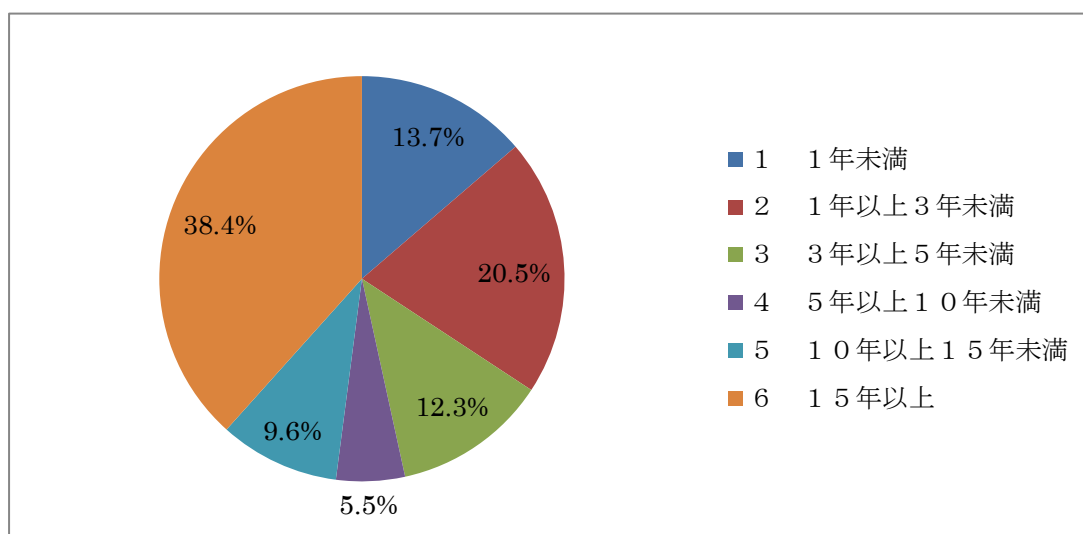
1 正規職員 ※1	69.4%
2 有期契約職員(フルタイム)※2	20.8%
3 有期契約職員(パートタイム)※3	9.7%

問 15 あなたが園に勤務したのはいつですか。(○は1つだけ)【有効回答数=377】

1 新卒で	75.0%
2 転職で(保育士等から保育士等)	6.9%
3 一度園を退職し、無職の期間を経て復職	9.7%
4 一度園を退職し、保育士等以外の仕事を経て復職	8.3%

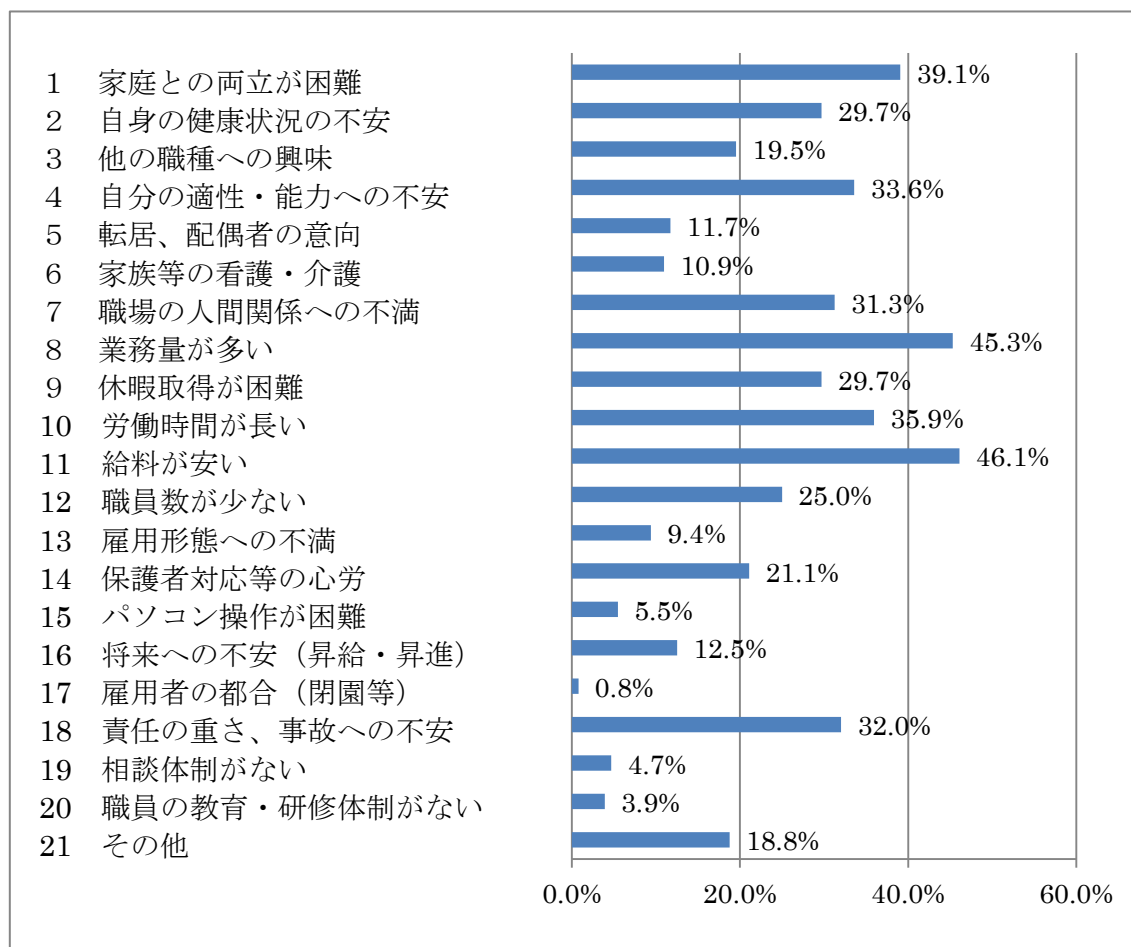
問 16 あなたは保育士等を辞めて何年になりますか。(○は1つだけ)【有効回答数=377】

1 1年未満	13.7%
2 1年以上3年未満	20.5%
3 3年以上5年未満	12.3%
4 5年以上10年未満	5.5%
5 10年以上15年未満	9.6%
6 15年以上	38.4%



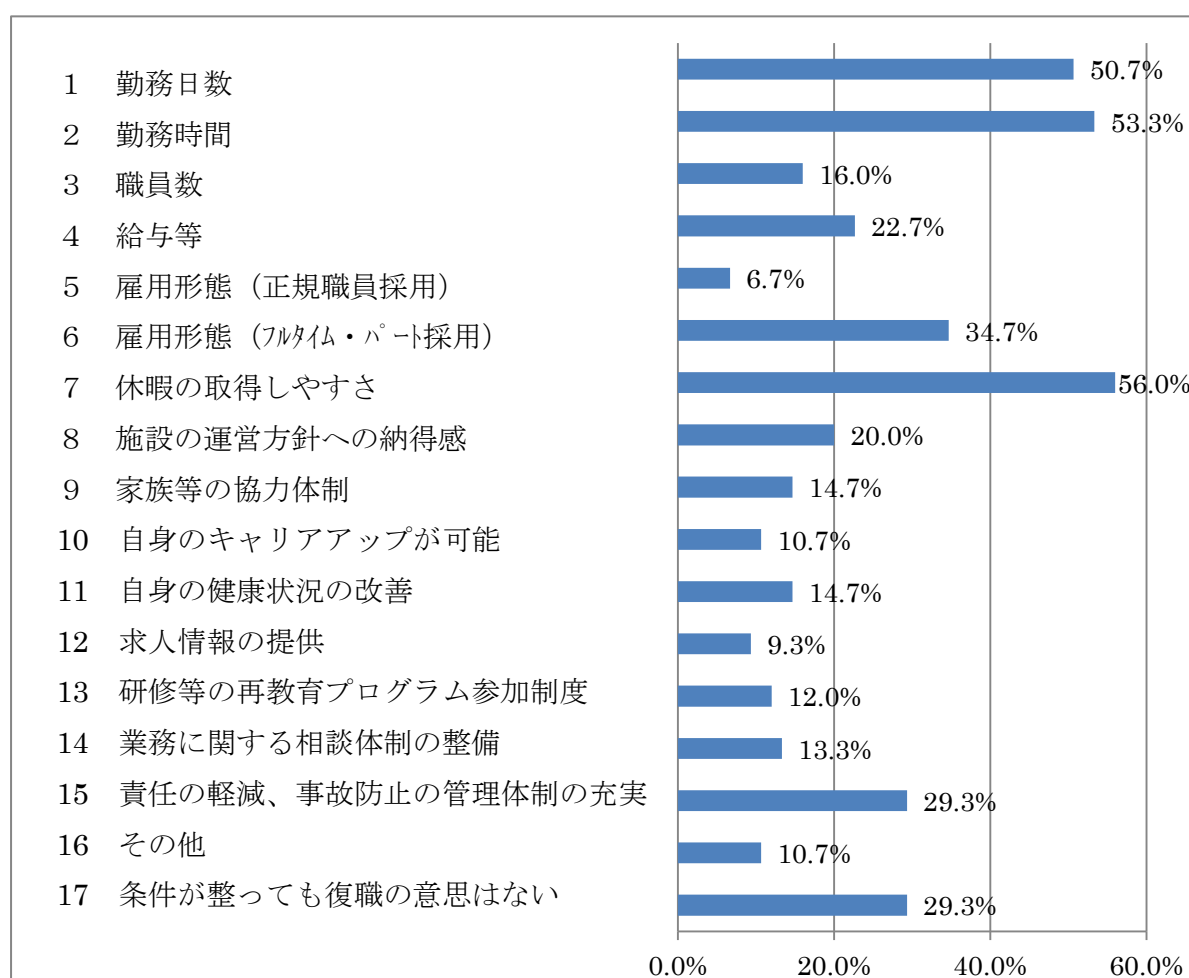
問17 あなたが保育士等として就業された保育所等を退職した理由としてあてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも) ※現在、保育士等の方は、辞めたい理由としてお答えのうえ、問23へ。【有効回答数=377】

1 家庭との両立が困難	39.1%	12 職員数が少ない	25.0%
2 自身の健康状況の不安	29.7%	13 雇用形態への不満	9.4%
3 他の職種への興味	19.5%	14 保護者対応等の心労	21.1%
4 自分の適性・能力への不安	33.6%	15 パソコン操作が困難	5.5%
5 転居、配偶者の意向	11.7%	16 将来への不安(昇給・昇進)	12.5%
6 家族等の看護・介護	10.9%	17 雇用者の都合(閉園等)	0.8%
7 職場の人間関係への不満	31.3%	18 責任の重さ、事故への不安	32.0%
8 業務量が多い	45.3%	19 相談体制がない	4.7%
9 休暇取得が困難	29.7%	20 職員の教育・研修体制がない	3.9%
10 労働時間が長い	35.9%	21 その他	18.8%
11 給料が安い	46.1%		



問 18 あなたが今後、保育士等として働く場合に求める条件をお聞かせください。(〇は
いくつでも)【有効回答数=75】

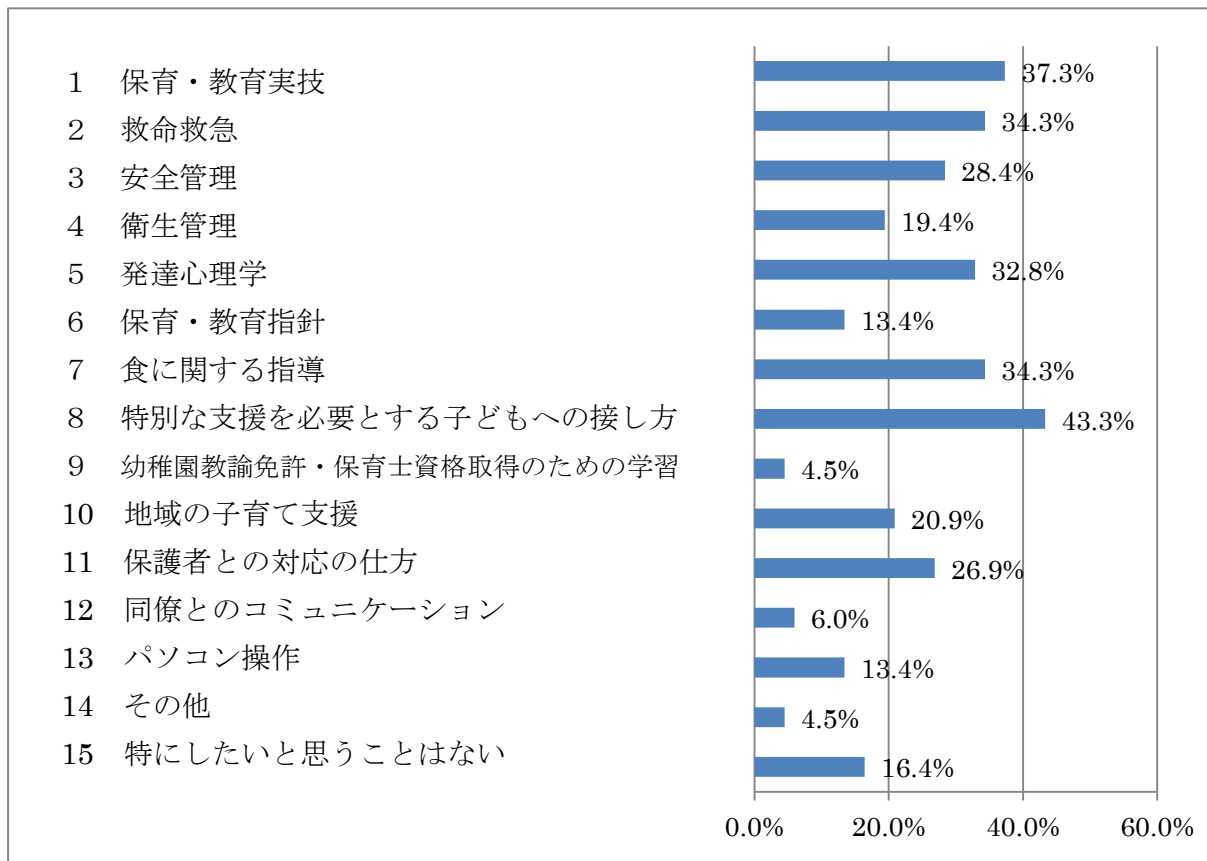
1 勤務日数	50.7%	11 自身の健康状況の改善	14.7%
2 勤務時間	53.3%	12 求人情報の提供	9.3%
3 職員数	16.0%	13 研修等の再教育プログラム参加制度	12.0%
4 給与等	22.7%	14 業務に関する相談体制の整備	13.3%
5 雇用形態(正規職員採用)	6.7%	15 責任の軽減、事故防止の管理体制の充実	29.3%
6 雇用形態(フルタイム・パート採用)	34.7%	16 その他	10.7%
7 休暇の取得しやすさ	56.0%	17 条件が整っても復職の意思はない	29.3%
8 施設の運営方針への納得感	20.0%		
9 家族等の協力体制	14.7%		
10 自身のキャリアアップが可能	10.7%		



問 19 今後保育士等として働くまでに、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。下記の中からお選びください。(〇はいくつでも) ⇒問 22 へお進みください。

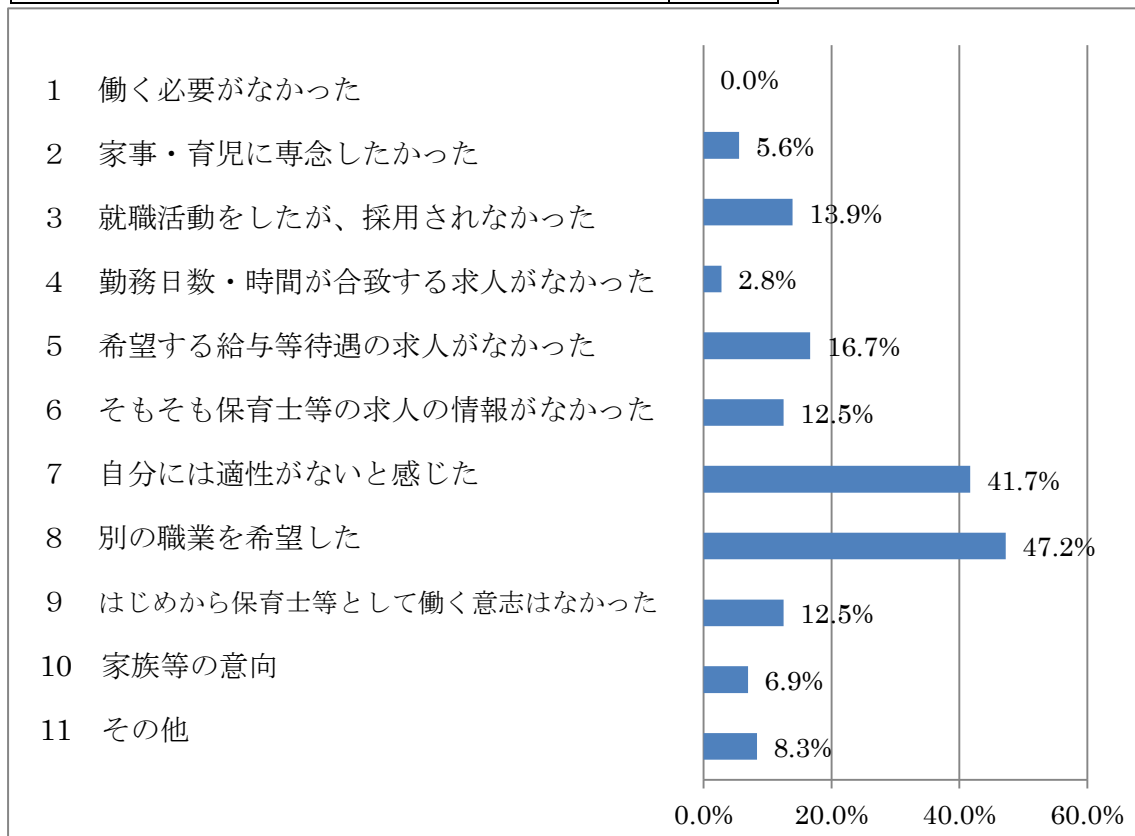
【有効回答数=67】

1 保育・教育実技	37.3%	10 地域の子育て支援	20.9%
2 救命救急	34.3%	11 保護者との対応の仕方	26.9%
3 安全管理	28.4%	12 同僚とのコミュニケーション	6.0%
4 衛生管理	19.4%	13 パソコン操作	13.4%
5 発達心理学	32.8%	14 その他	4.5%
6 保育・教育指針	13.4%	15 特にしたいと思うことはない	16.4%
7 食に関する指導	34.3%		
8 特別な支援を必要とする子どもへの接し方	43.3%		
9 幼稚園教諭免許・保育士資格取得のための学習	4.5%		



問 20 あなたが保育士等として働かなかった理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(〇は3つまで)【有効回答数=72】

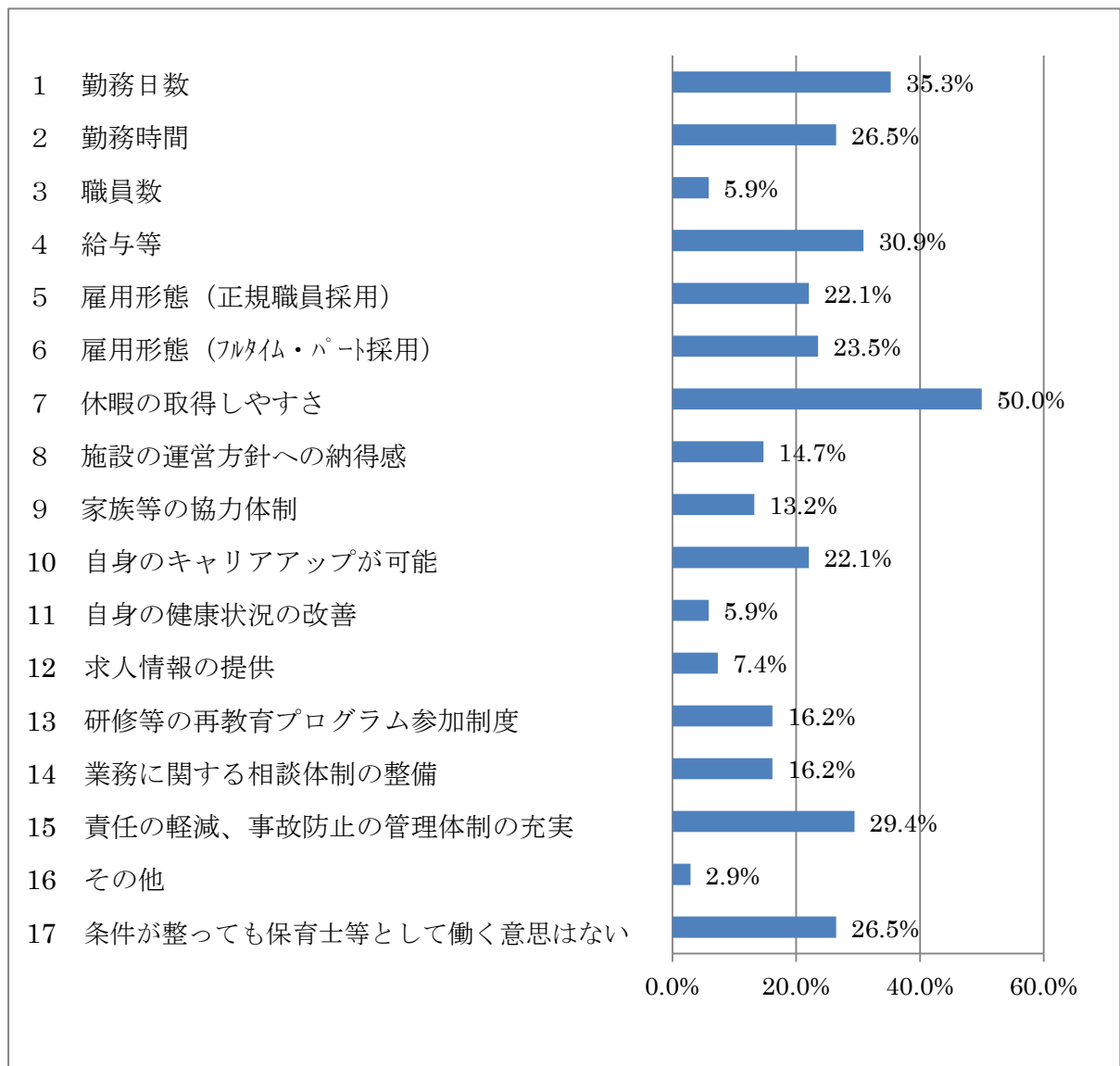
1 働く必要がなかった	0.0%
2 家事・育児に専念したかった	5.6%
3 就職活動をしたが、採用されなかった	13.9%
4 勤務日数・時間が合致する求人がなかった	2.8%
5 希望する給与等待遇の求人がなかった	16.7%
6 そもそも保育士等の求人の情報がなかった	12.5%
7 自分には適性がないと感じた	41.7%
8 別の職業を希望した	47.2%
9 はじめから保育士等として働く意志はなかった	12.5%
10 家族等の意向	6.9%
11 その他	8.3%



問 21 あなたが今後、保育士等として働く場合に求める条件をお聞かせください。

(○はいくつでも) 【有効回答数=68】

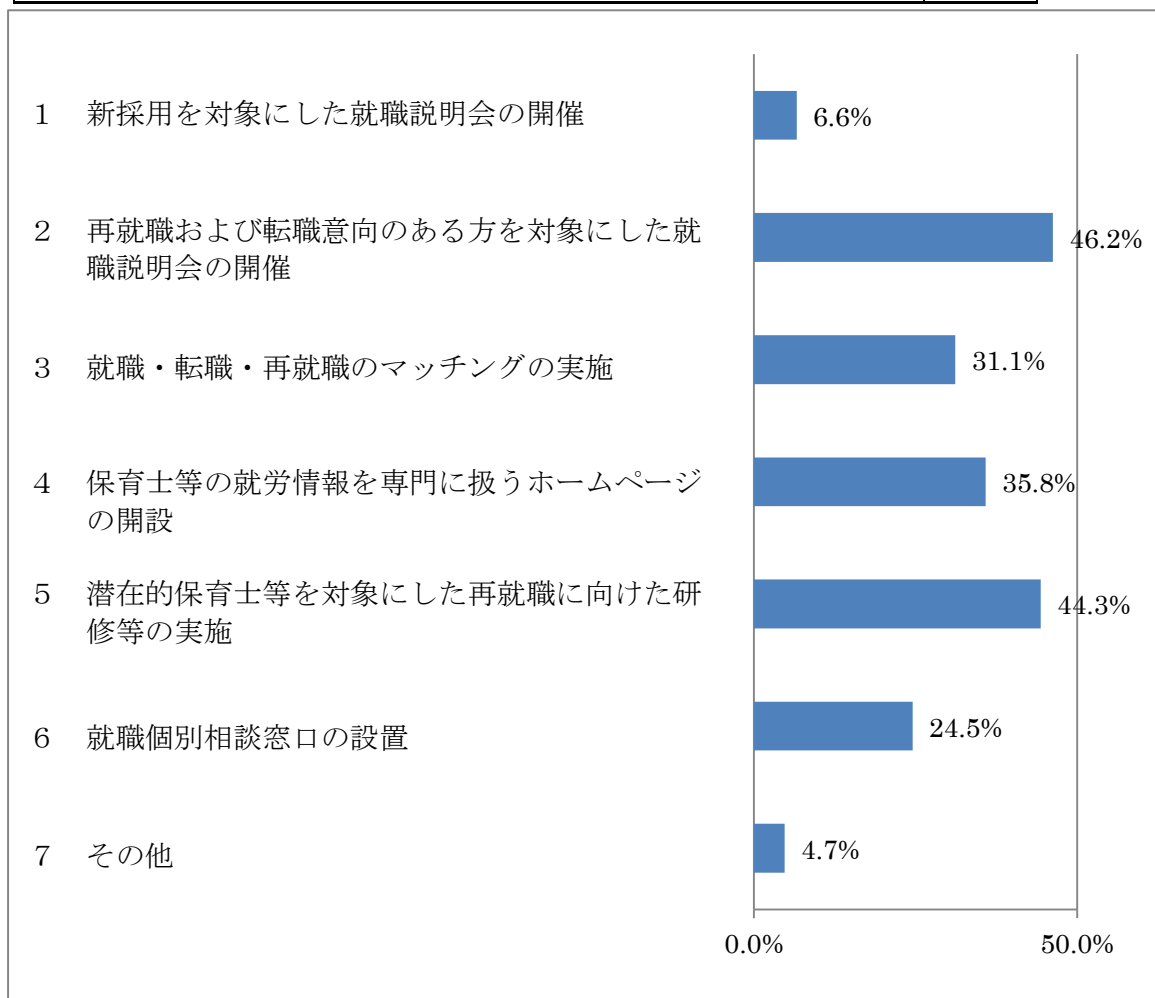
1 勤務日数	35.3%	11 自身の健康状況の改善	5.9%
2 勤務時間	26.5%	12 求人情報の提供	7.4%
3 職員数	5.9%	13 研修等の再教育プログラム参加制度	16.2%
4 給与等	30.9%	14 業務に関する相談体制の整備	16.2%
5 雇用形態(正規職員採用)	22.1%	15 責任の軽減、事故防止の管理体制の充実	29.4%
6 雇用形態(フルタイム・パート採用)	23.5%	16 その他	2.9%
7 休暇の取得しやすさ	50.0%	17 条件が整っても保育士等として働く意思はない	26.5%
8 施設の運営方針への納得感	14.7%		
9 家族等の協力体制	13.2%		
10 自身のキャリアアップが可能	22.1%		



問 22 今後、求人雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。(〇はいくつでも)

【有効回答数=106】

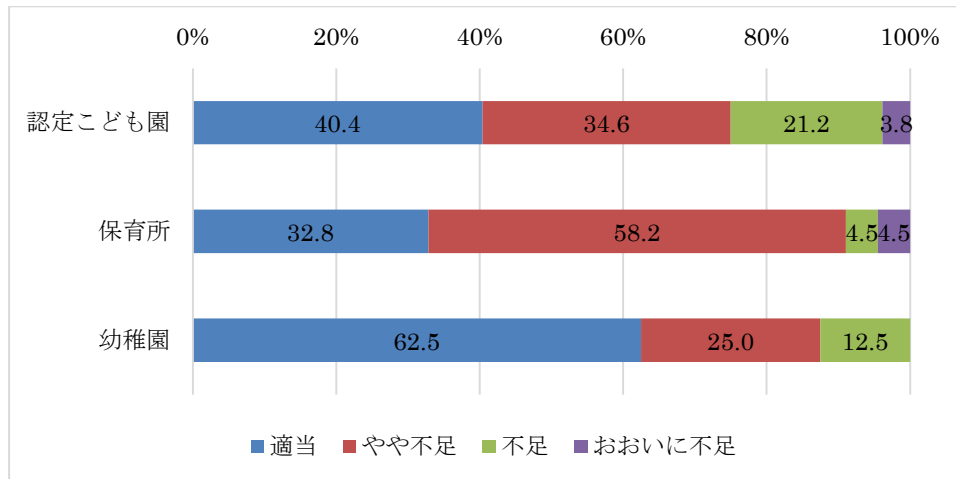
1 新採用を対象にした就職説明会の開催	6.6%
2 再就職および転職意向のある方を対象にした就職説明会の開催	46.2%
3 就職・転職・再就職のマッチングの実施	31.1%
4 保育士等の就労情報を専門に扱うホームページの開設	35.8%
5 潜在的保育士等を対象にした再就職に向けた研修等の実施	44.3%
6 就職個別相談窓口の設置	24.5%
7 その他	4.7%



IV 調査結果【クロス集計】

【1】施設向け調査結果（クロス集計）

（1）施設別の職員不足感



認定こども園や保育所では、職員が不足と感じている施設が多かった。

（2）施設別の職員不足の理由

	保育所	幼稚園	認定こども園
経営的に余裕がなく雇用できない	5.6	5.7	6.3
募集しても応募がない	31.5	45.7	31.3
応募はあるがマッチングが難しく採用に至らない	5.6	5.7	6.3
離職率が高い	18.5	7.1	0.0
その他	9.3	12.9	0.0

職員不足の理由として、いずれの施設も、「募集しても応募がない」をあげるところが多く、幼稚園でとくにその傾向はみられた。保育所では、「離職率が高い」も多かった。

(3) 施設別の職員離職の理由（職場環境による事由）

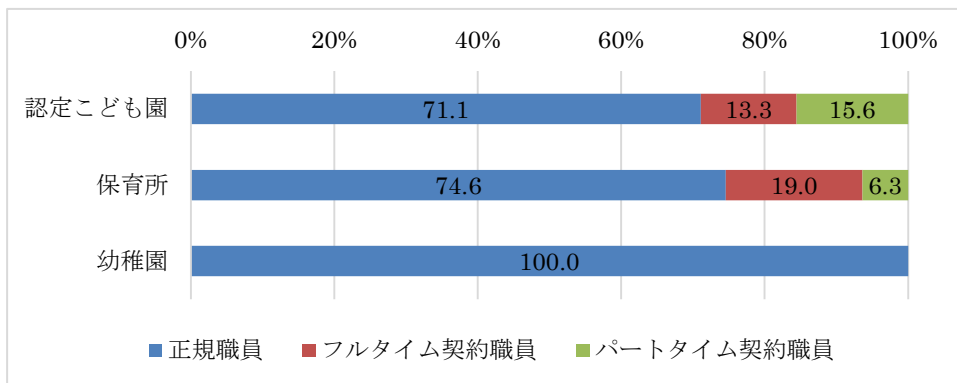
	保育所	幼稚園	認定こども園
業務量が多い	29.6	24.3	25.0
休暇取得が困難	13.0	7.1	18.8
労働時間が長い	22.2	11.4	18.8
給料が安い	24.1	20.0	25.0
職員数が少ない	7.4	1.4	6.3
雇用形態への不満	1.9	1.4	0.0
保護者対応等の心労	29.6	15.7	0.0
パソコン操作の複雑化	5.6	2.9	0.0
将来への不安（昇給、昇進）	3.7	7.1	6.3
人間関係への不満	38.9	32.9	6.3
責任の重さ、事故への不安	44.4	15.7	12.5
相談体制の未整備	1.9	0.0	0.0
職員の教育・研修体制への不満	1.9	1.4	0.0
その他	11.1	18.6	18.8

(4) 施設別の職員離職の理由（職員側の事由）

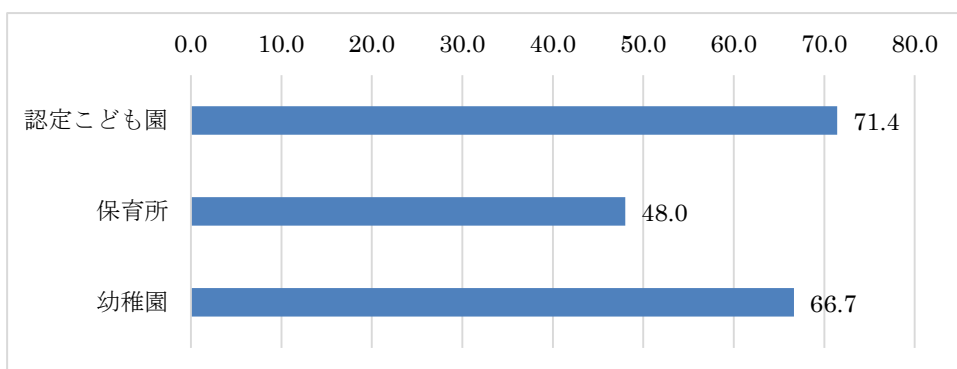
	保育所	幼稚園	認定こども園
家庭との両立が困難	27.8	20.0	18.8
健康面・体力面	24.1	28.6	25.0
定年・契約満了	25.9	20.0	18.8
他業種への興味	33.3	25.7	12.5
転居・配偶者の意向	35.2	18.6	12.5
家族の介護・看護	16.7	15.7	6.3
結婚、出産・育児	57.4	70.0	25.0
その他	7.4	5.7	25.0

職員離職の理由を施設別にみると、保育所では「責任の重さ、事故への不安」など、職場環境による事由が多くあげられた。他方、幼稚園では、職員側の事由としての「結婚、出産・育児」がもっとも多かった。

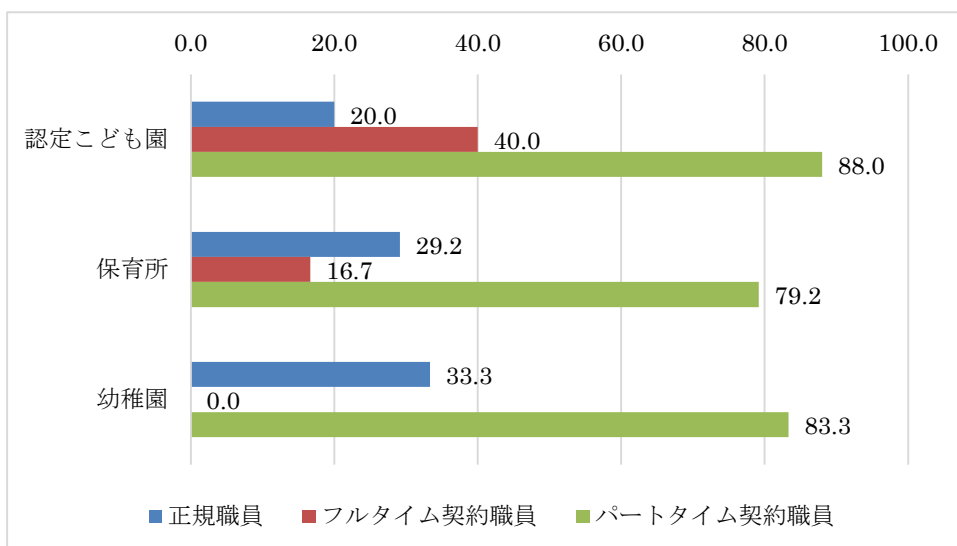
(5) 施設別の職員採用に当たって求める雇用形態



(6) 施設別の潜在保育士の雇用状況（雇用した園の割合）



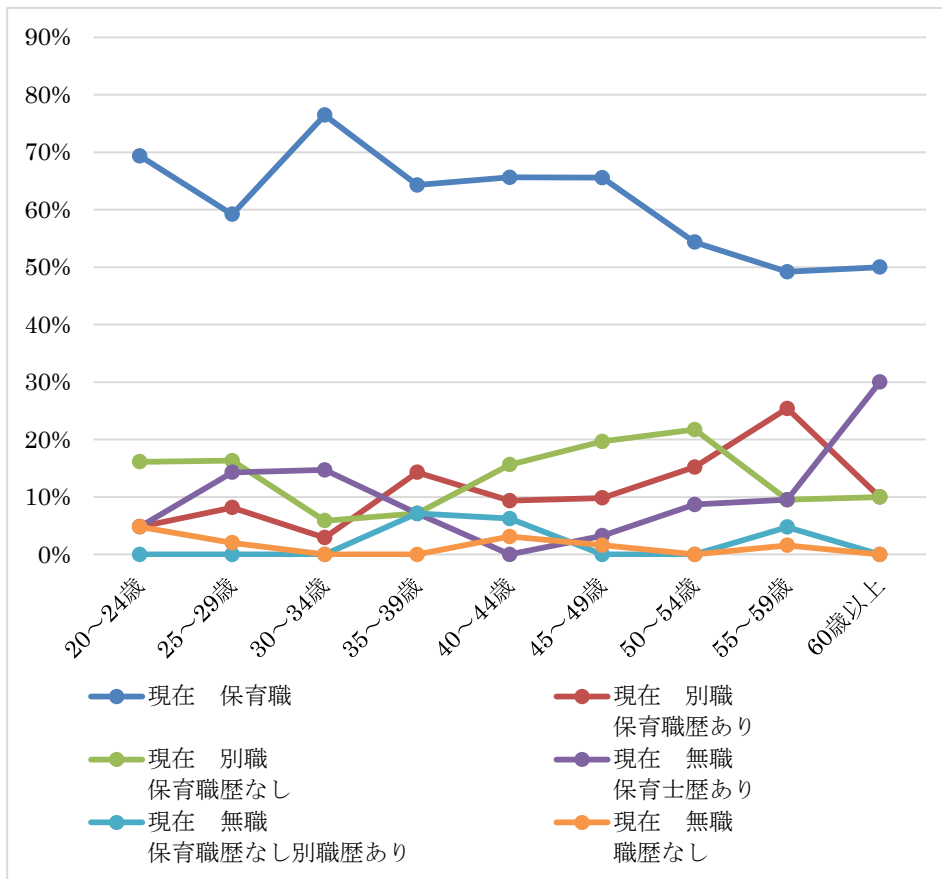
(7) 施設別・雇用形態別の潜在保育士の雇用状況（雇用した園数の中での割合）



施設側が求める求人条件としては、幼稚園がもっぱら正規職員であるのに対して、保育所や認定こども園では契約職員も一定割合みられた。

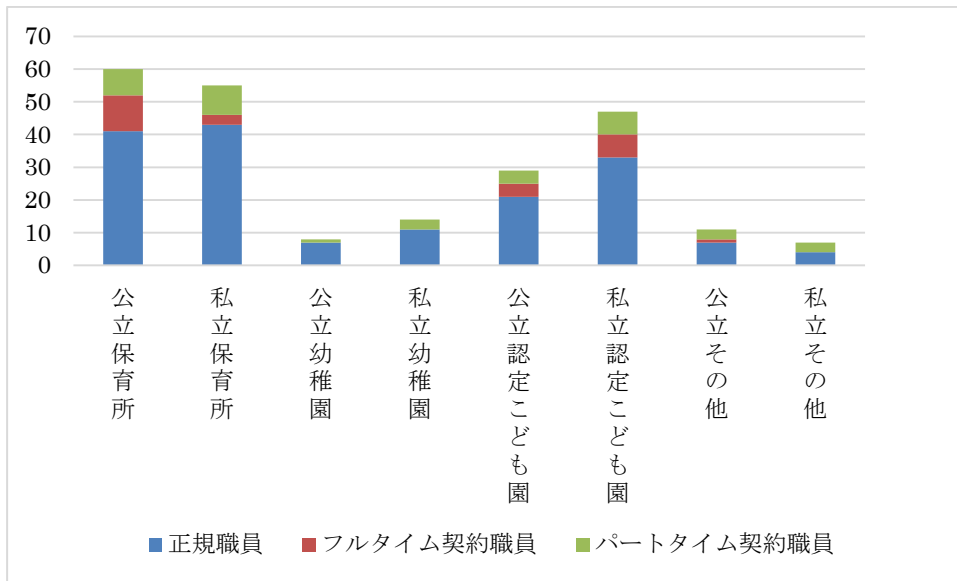
【2】保育士指定養成施設卒業生向け調査結果（クロス集計）

（1）年齢別の保育者就業割合



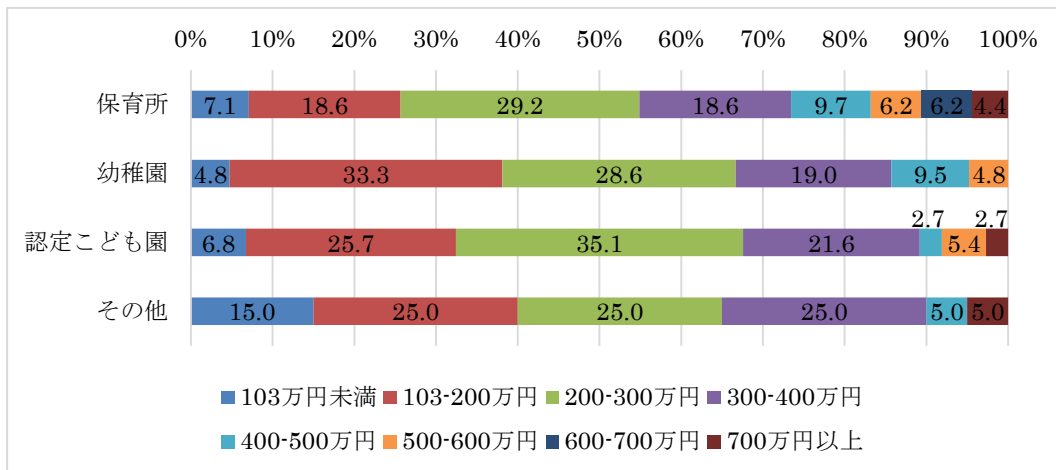
保育職への就業は、25-29歳に一時的に減少するが、30代になると再び増加し、その後、加齢とともに減少していく。また、40代50代と、加齢とともに保育職以外の別職への就業の割合が増えている。

(2) 施設類型・運営主体別の保育所等就業者数と雇用形態の割合

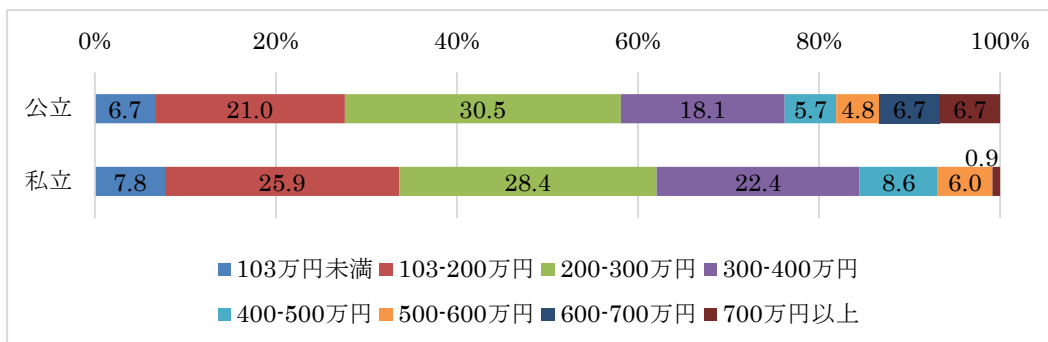


公私立を問わず、保育所や認定こども園は、幼稚園に比べると、有期契約職員の占める割合が大きい。とくに公立保育所においては、フルタイムでの有期契約職員の割合が大きかった。

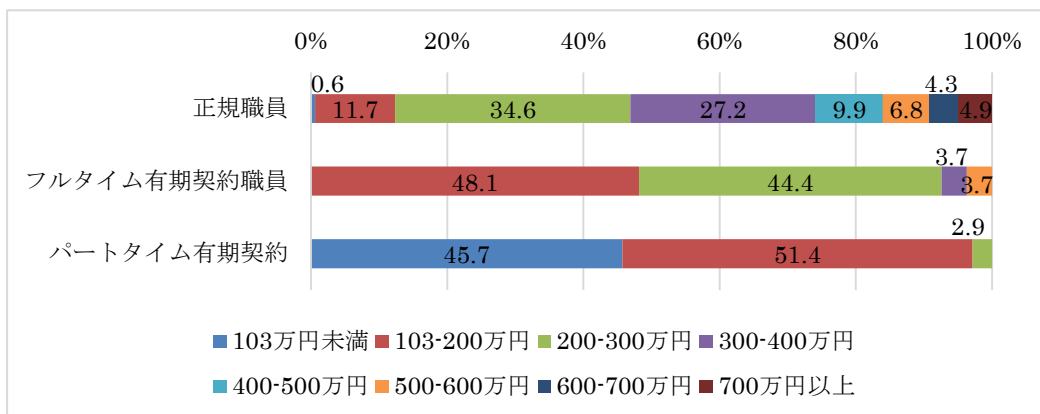
(3) 保育者の年収（施設類型別の分析）



(4) 保育者の年収（運営主体別の分析）

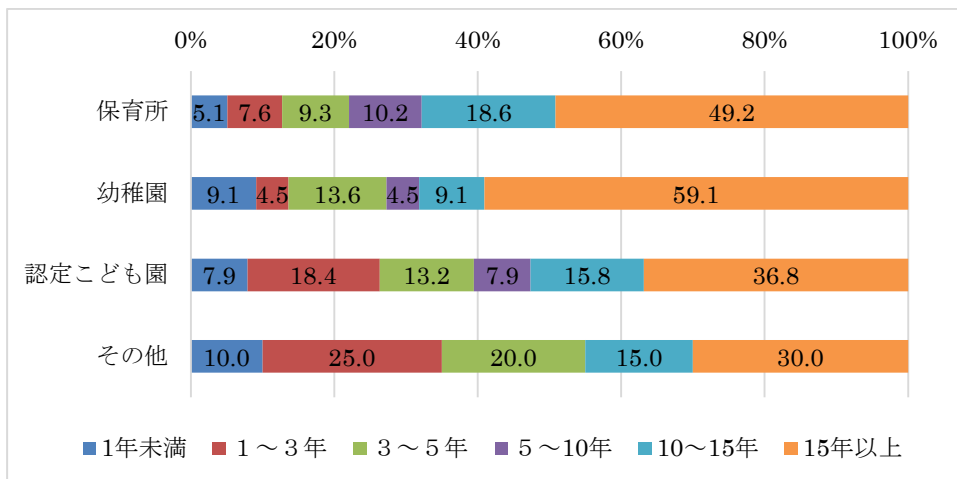


(5) 保育者の年収（雇用形態別の分析）

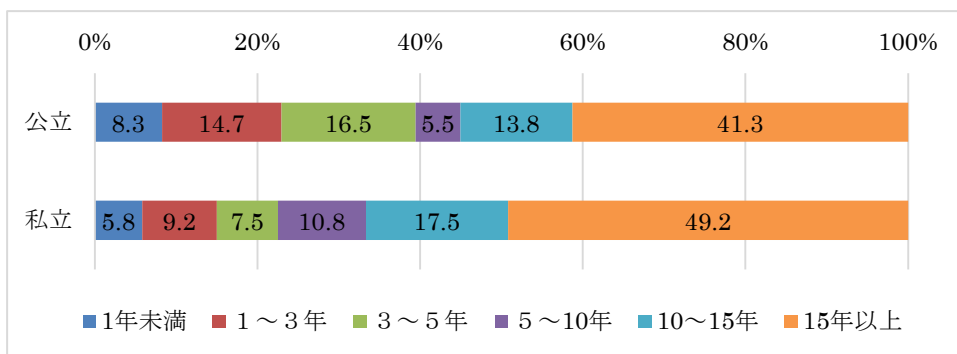


公立園の方が私立園よりも、年収の高いものの割合が多かった。また、有期契約職員は低い年収となっている。

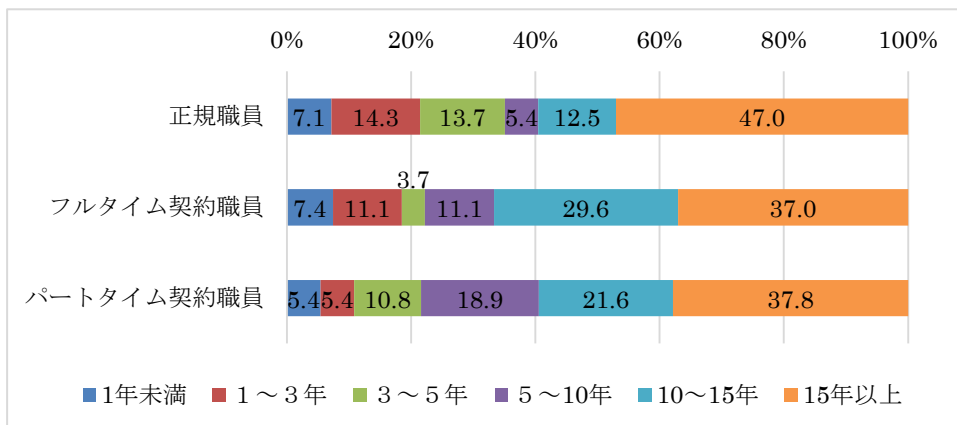
(6) 保育者の勤続年数（施設類型別の分析）



(7) 保育者の勤続年数（運営主体別の分析）

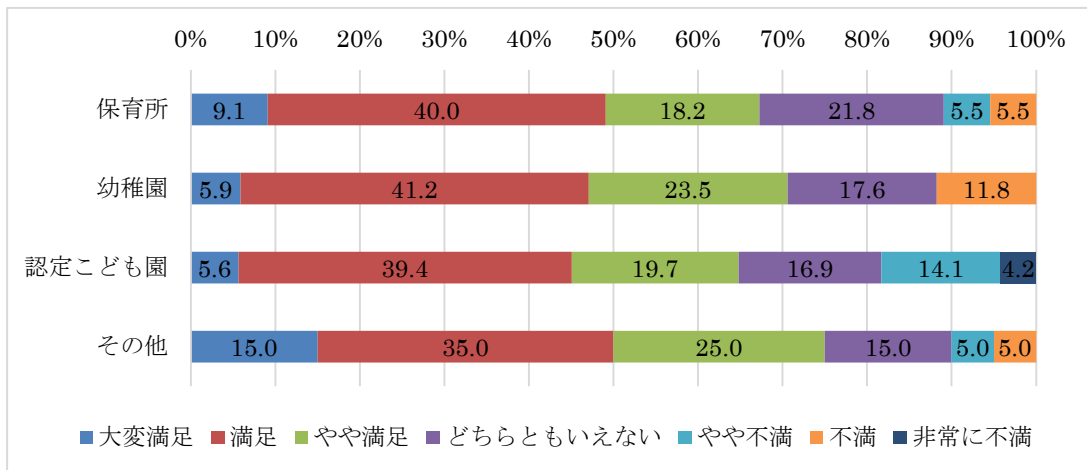


(8) 保育者の勤続年数（雇用形態別の分析）



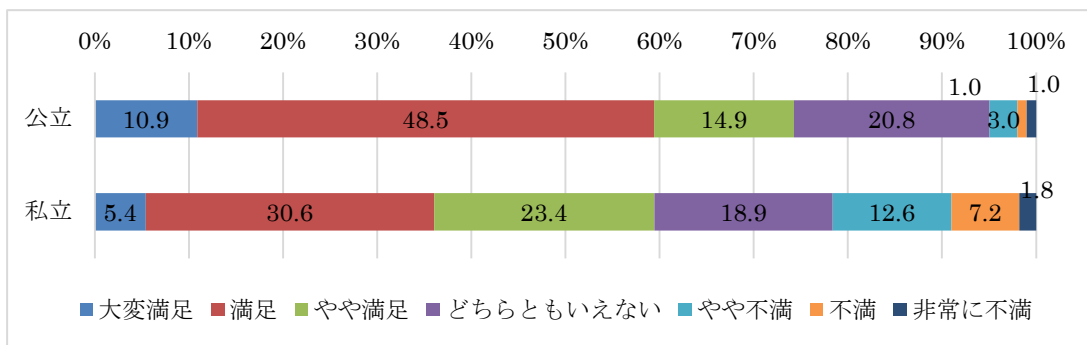
正規職員がより長期間にわたって勤続しているが、有期契約職員も、比較的、長期にわたり勤続していることが示された。

(9) 勤務日数に関する満足度（施設類型別の分析）



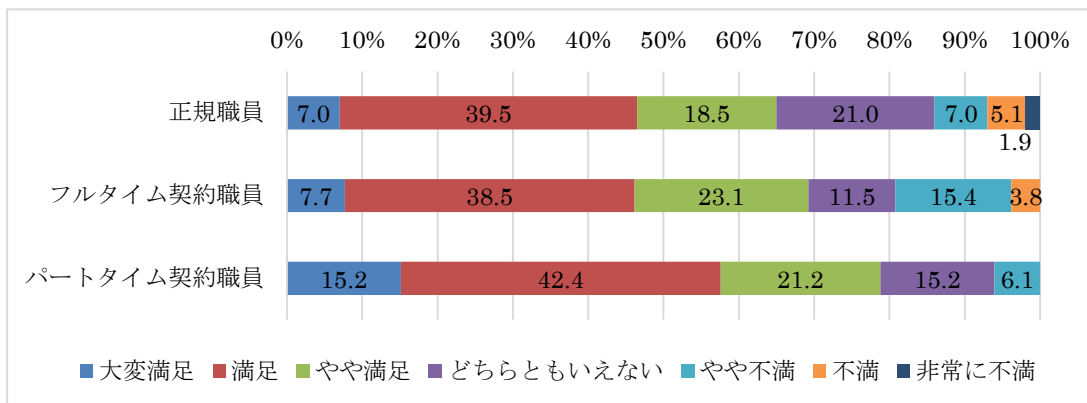
※有効回答数（保育所＝118、幼稚園＝23、認定こども園＝77、その他＝22）

(10) 勤務日数に関する満足度（運営主体別の分析）



※有効回答数（公立＝110、私立＝123）

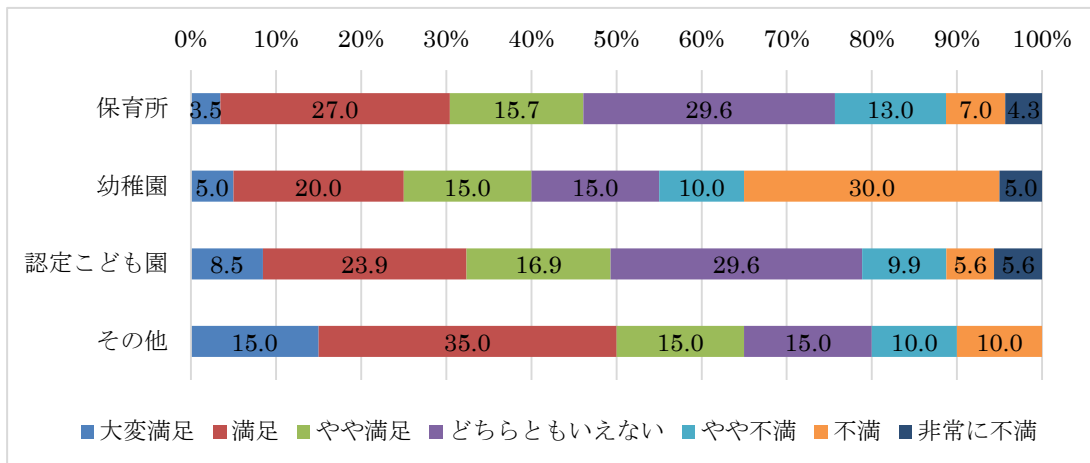
(11) 勤務日数に関する満足度（雇用形態別の分析）



※有効回答数（正規職員＝169、フルタイム契約職員＝28、パートタイム契約職員＝39）

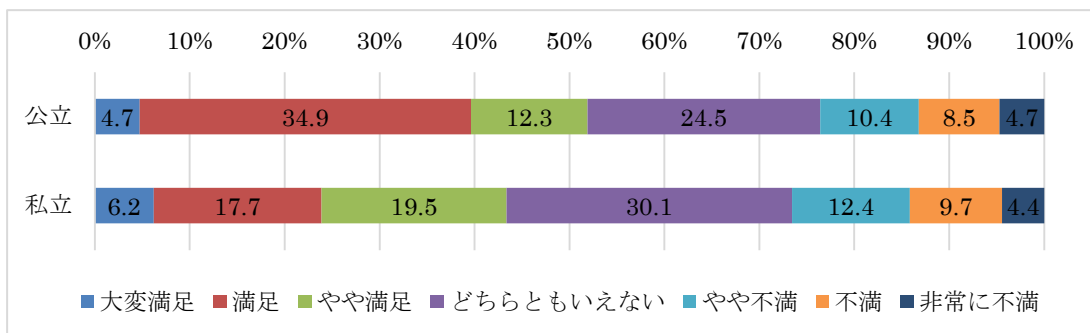
勤務日数に関する満足度は、公立園の方が私立園よりも、高かった。パートタイム契約職員は、他の雇用形態よりも、満足度が高いものが多かった。

(12) 勤務時間に関する満足度（施設類型別の分析）



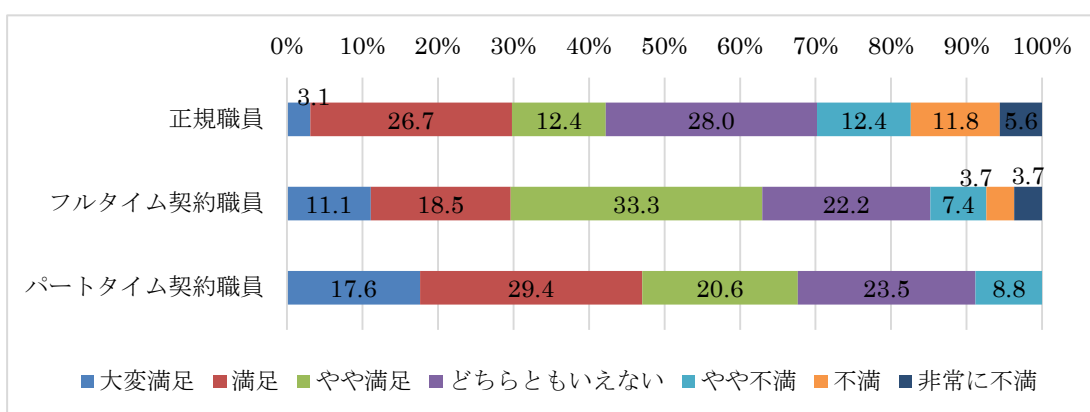
※有効回答数（保育所＝118、幼稚園＝23、認定こども園＝77、その他＝22）

(13) 勤務時間に関する満足度（運営主体別の分析）



※有効回答数（公立＝110、私立＝123）

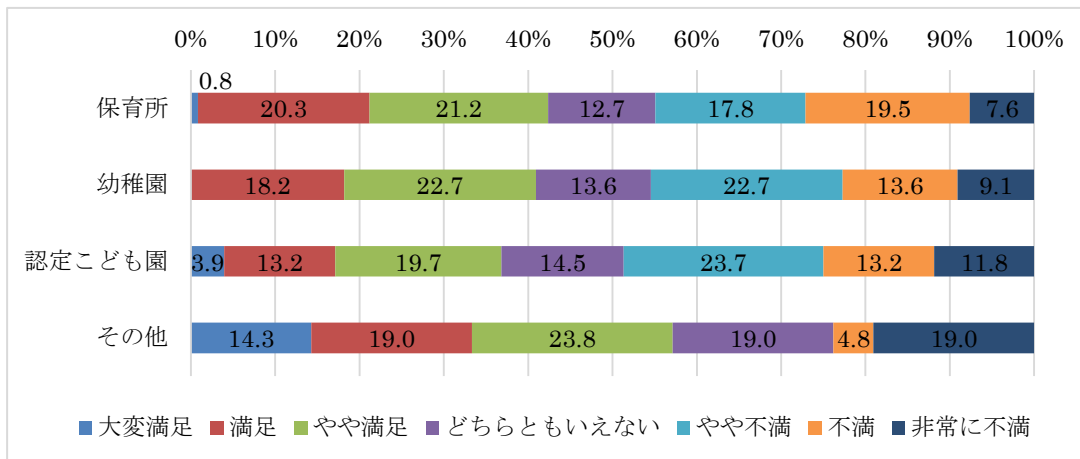
(14) 勤務時間に関する満足度（雇用形態別の分析）



※有効回答数（正規職員＝169、フルタイム契約職員＝28、パートタイム契約職員＝39）

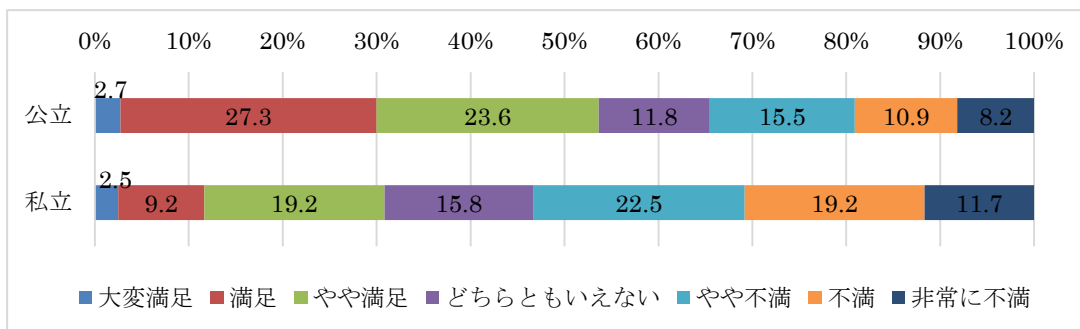
勤務時間に関する満足度は、施設類型別に比較すると、幼稚園において不満が多かった。また、雇用形態別に比較すると、正規職員において不満が多かった。

(15) 給与・賞与等に関する満足度（施設類型別の分析）



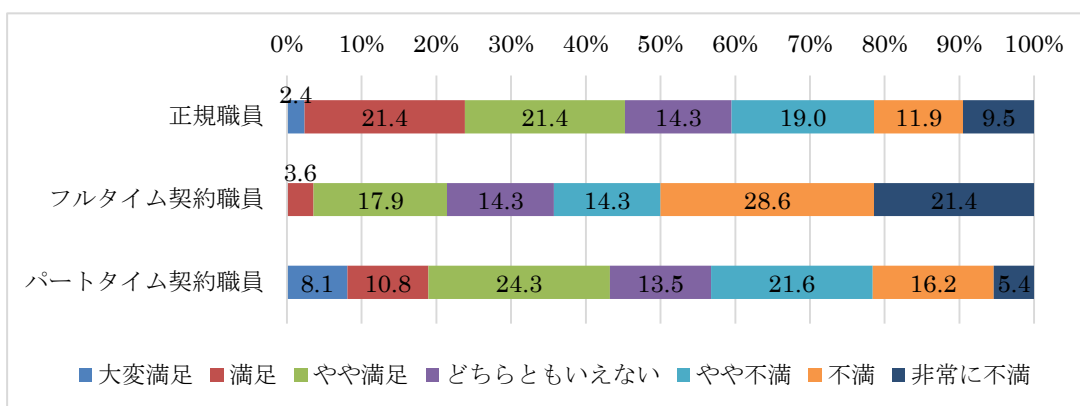
※有効回答数（保育所＝118、幼稚園＝23、認定こども園＝77、その他＝22）

(16) 給与・賞与等に関する満足度（運営主体別の分析）



※有効回答数（公立＝110、私立＝123）

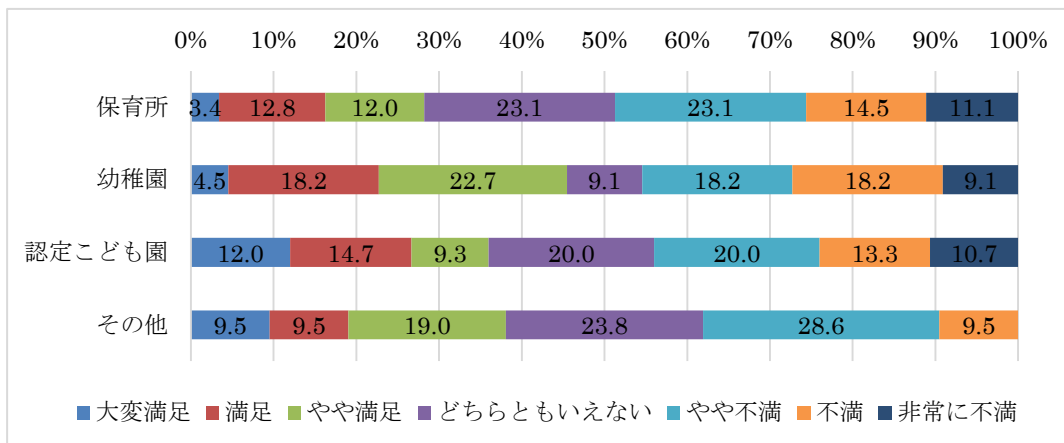
(17) 給与・賞与等に関する満足度（雇用形態別の分析）



※有効回答数（正規職員＝169、フルタイム契約職員＝28、パートタイム契約職員＝39）

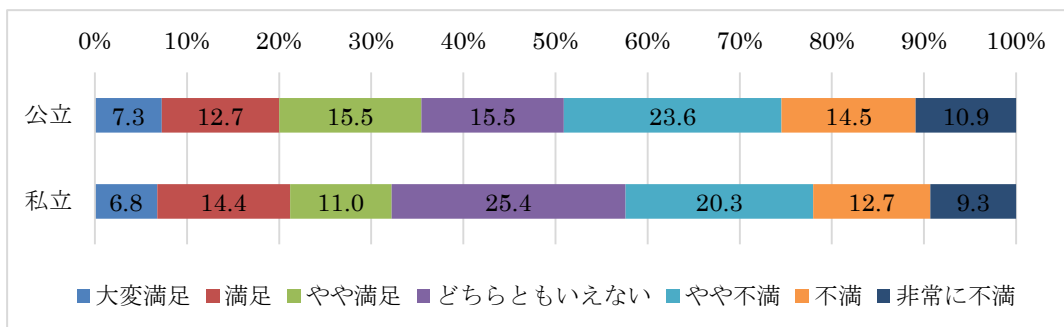
給与・賞与等に関する満足度は、公私立別にみると、私立の方が不満というものが多かった。また、雇用形態別にみると、フルタイム契約職員に不満というものが多かった。

(18) 職員数に関する満足度（施設類型別の分析）



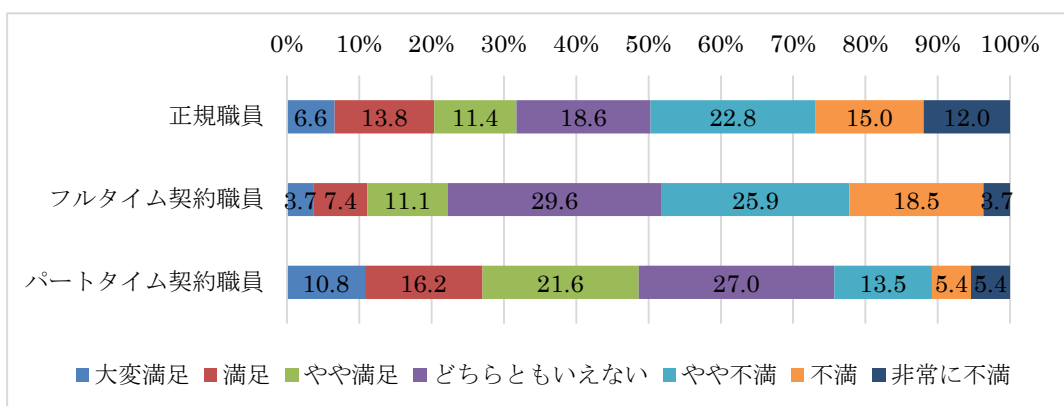
※有効回答数（保育所＝118、幼稚園＝23、認定こども園＝77、その他＝22）

(19) 職員数に関する満足度（運営主体別の分析）



※有効回答数（公立＝110、私立＝123）

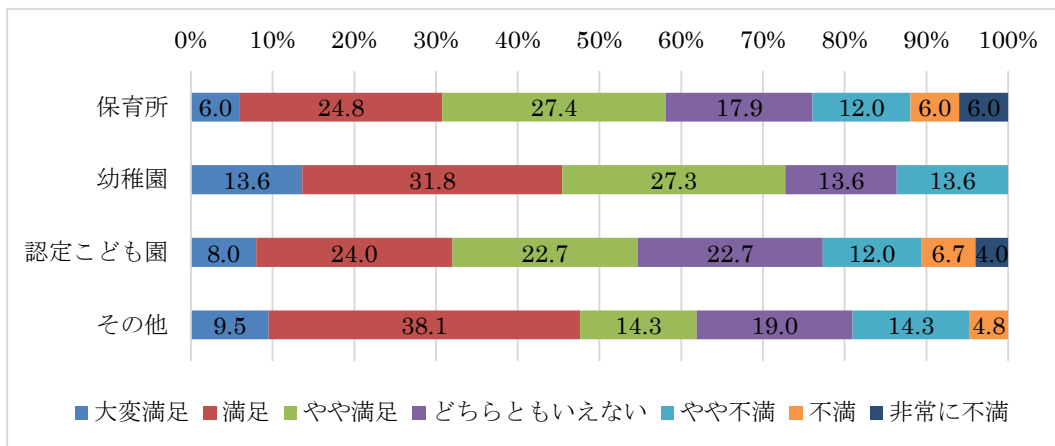
(20) 職員数に関する満足度（雇用形態別の分析）



※有効回答数（正規職員＝169、フルタイム契約職員＝28、パートタイム契約職員＝39）

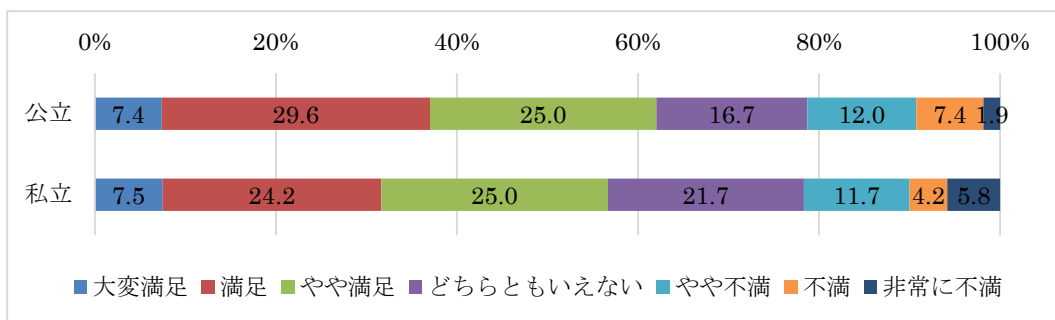
職員数に関する満足度は、雇用形態別にみると、パートタイム契約職員に比べて、正規職員やフルタイム契約職員に不満が多かった。

(21) 職場の人間関係に関する満足度（施設類型別の分析）



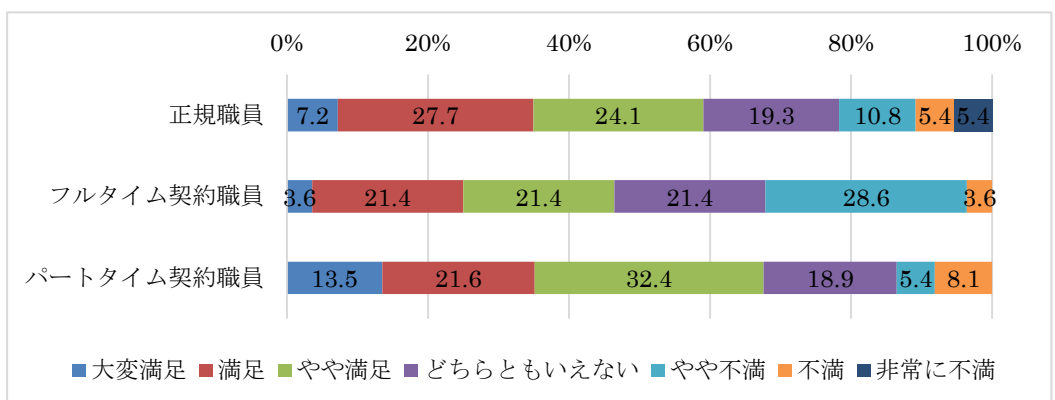
※有効回答数（保育所＝118、幼稚園＝23、認定こども園＝77、その他＝22）

(22) 職場の人間関係に関する満足度（運営主体別の分析）



※有効回答数（公立＝110、私立＝123）

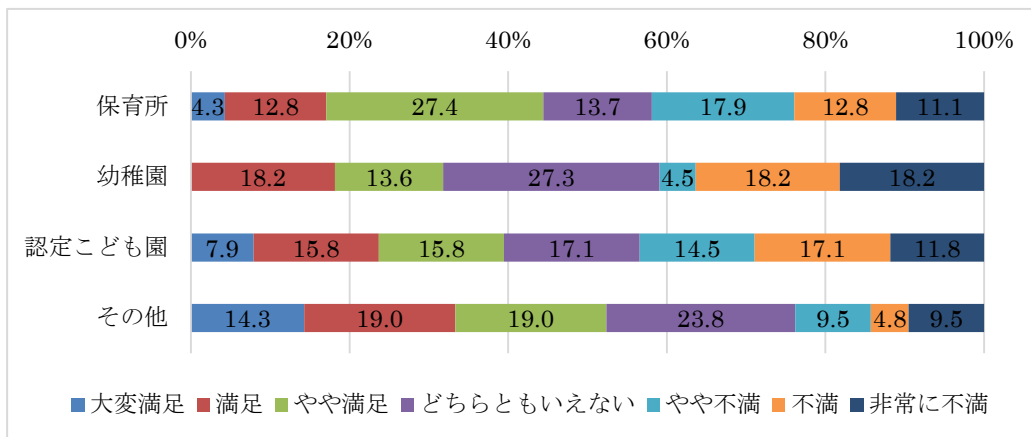
(23) 職場の人間関係に関する満足度（雇用形態別の分析）



※有効回答数（正規職員＝169、フルタイム契約職員＝28、パートタイム契約職員＝39）

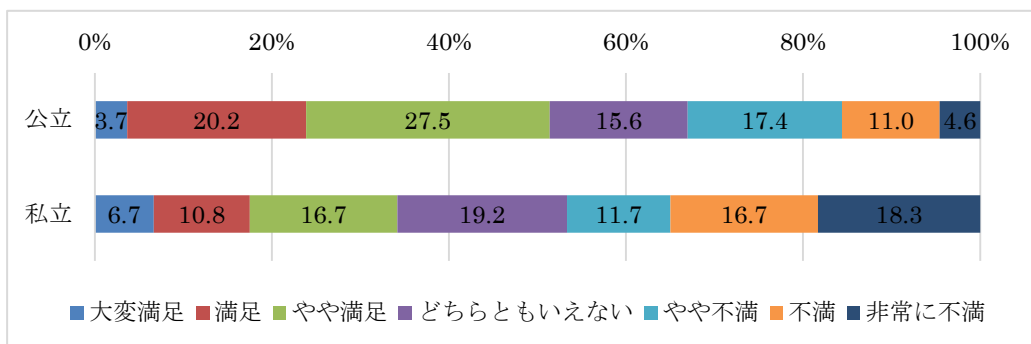
職場の人間関係に関する満足度は、フルタイム契約職員に不満がやや多かった。

(24) 休暇の取得しやすさに関する満足度（施設類型別の分析）



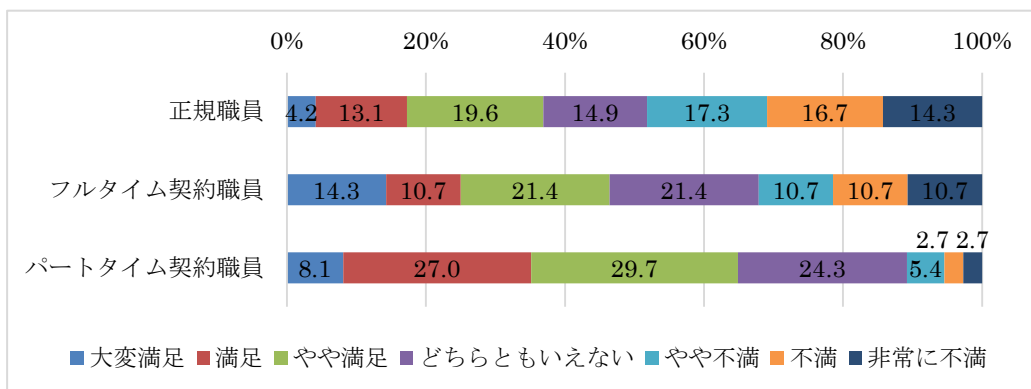
※有効回答数（保育所＝118、幼稚園＝23、認定こども園＝77、その他＝22）

(25) 休暇の取得しやすさに関する満足度（運営主体別の分析）



※有効回答数（公立＝110、私立＝123）

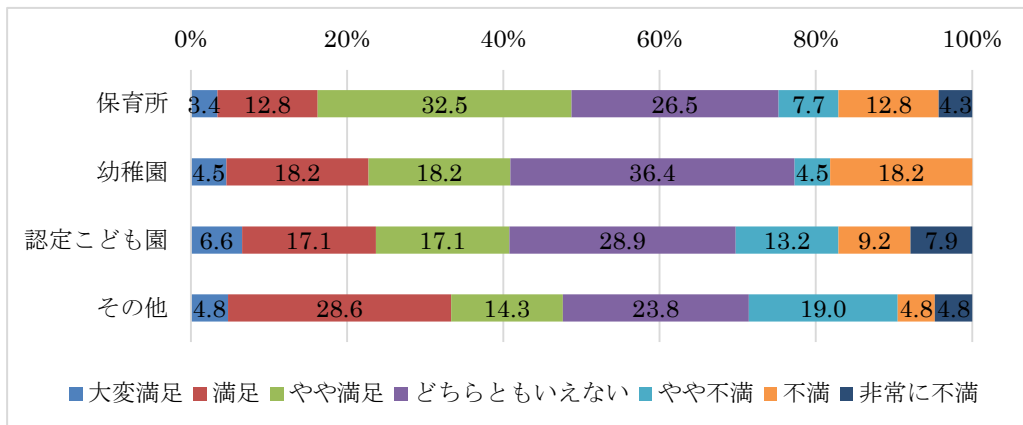
(26) 休暇の取得しやすさに関する満足度（雇用形態別の分析）



※有効回答数（正規職員＝169、フルタイム契約職員＝28、パートタイム契約職員＝39）

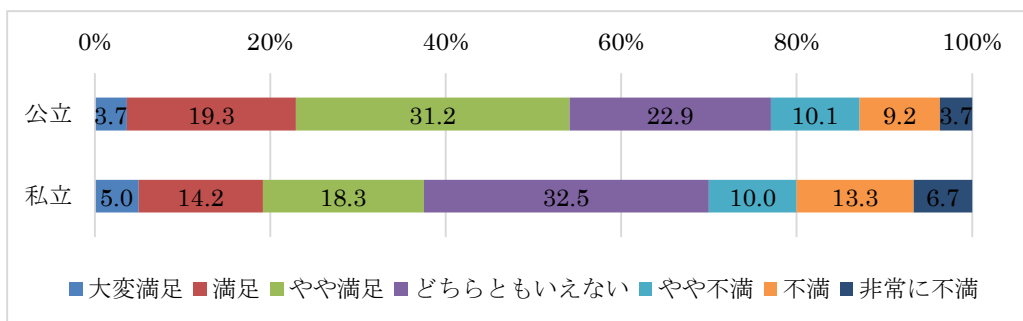
休暇の取得しやすさに関する満足度は、施設類型別に比較すると、幼稚園で不満が多く、公私立で比較すると私立の方が不満が多かった。雇用形態別にみると、パートタイム契約職員は満足度が高く、正規職員は満足度が低かった。

(27) 業務における相談体制に関する満足度（施設類型別の分析）



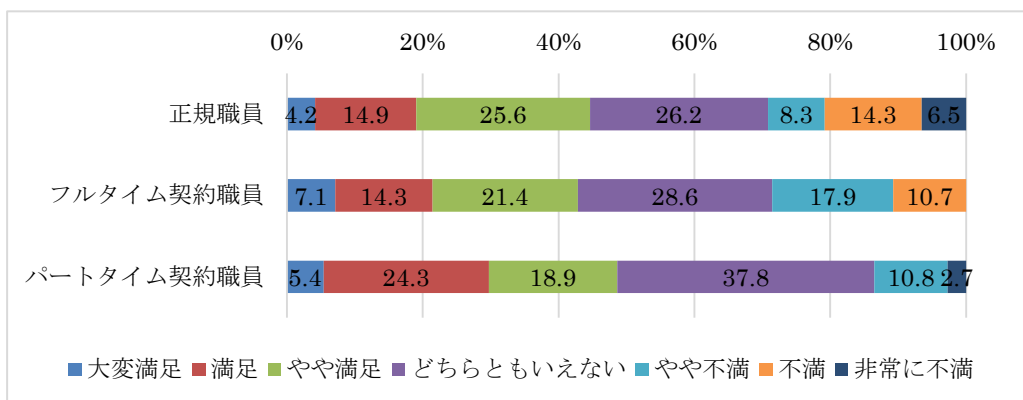
※有効回答数（保育所＝118、幼稚園＝23、認定こども園＝77、その他＝22）

(28) 業務における相談体制に関する満足度（運営主体別の分析）



※有効回答数（公立＝110、私立＝123）

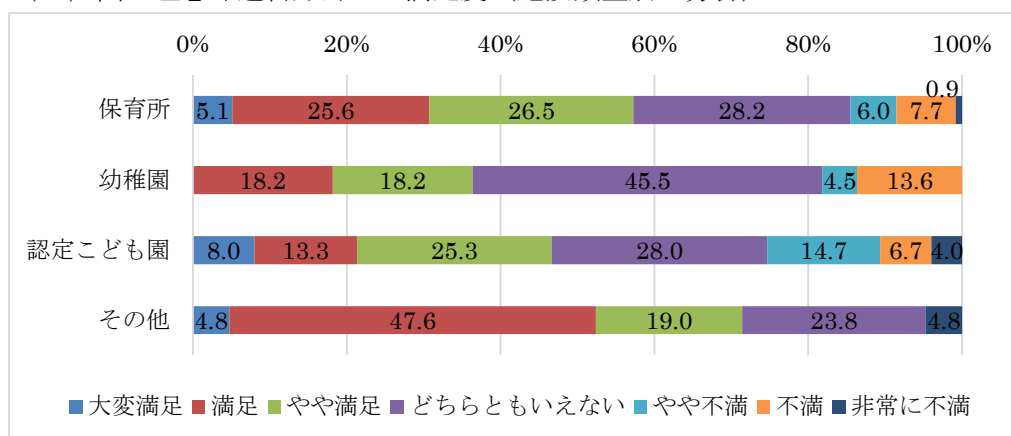
(29) 業務における相談体制に関する満足度（雇用形態別の分析）



※有効回答数（正規職員＝169、フルタイム契約職員＝28、パートタイム契約職員＝39）

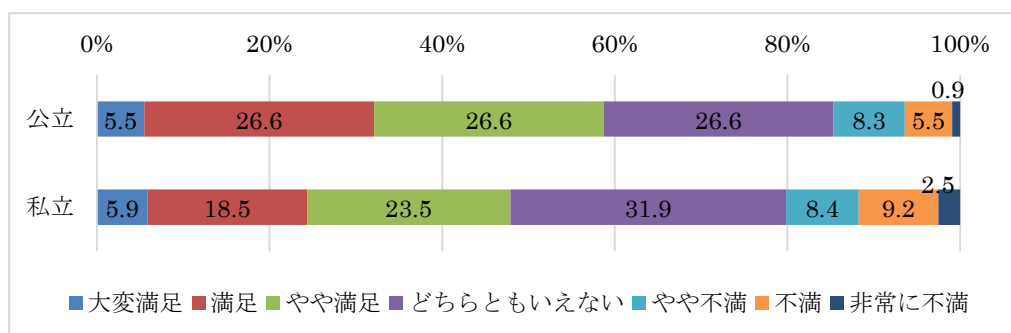
業務における相談体制に関する満足度は、公私立で比較すると、公立の方が満足度が高かった。

(30) 園の理念や運営方針への満足度（施設類型別の分析）



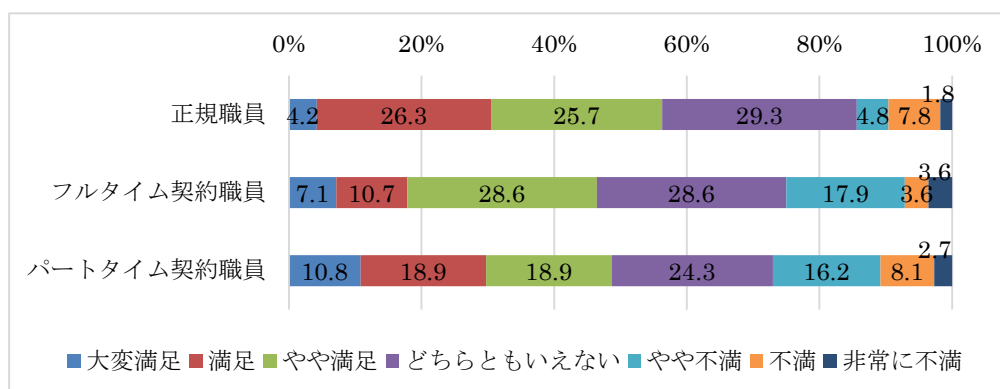
※有効回答数（保育所＝118、幼稚園＝23、認定こども園＝77、その他＝22）

(31) 園の理念や運営方針への満足度（運営主体別の分析）



※有効回答数（公立＝110、私立＝123）

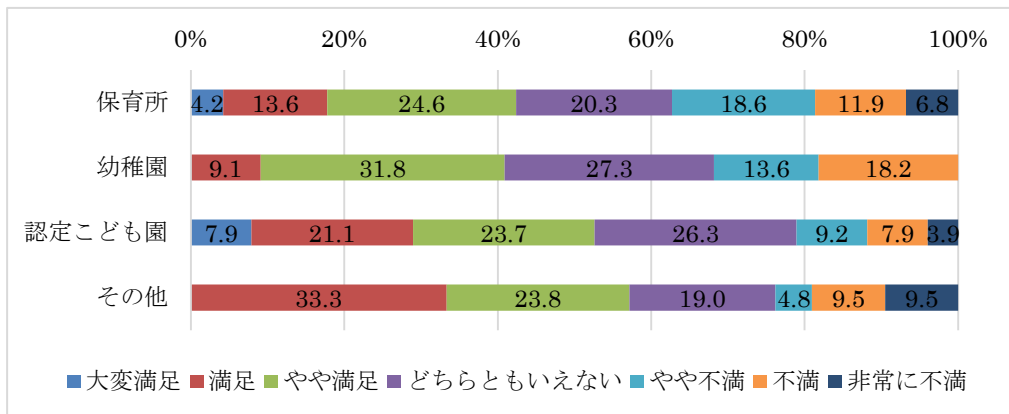
(32) 園の理念や運営方針への満足度（雇用形態別の分析）



※有効回答数（正規職員＝169、フルタイム契約職員＝28、パートタイム契約職員＝39）

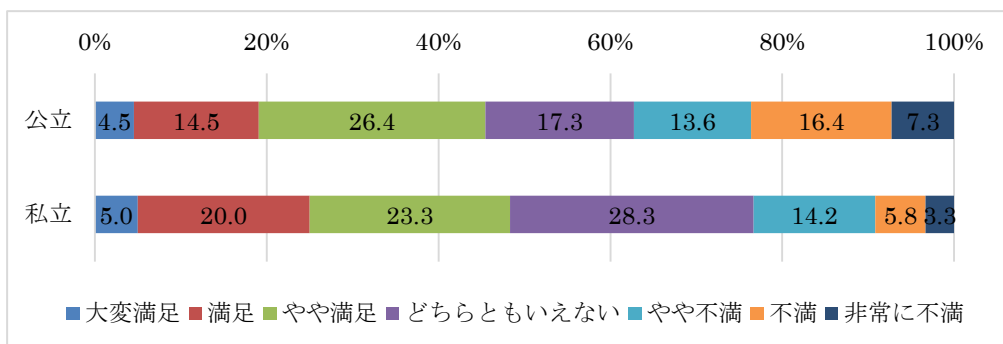
園の理念や運営方針への満足度は、認定こども園で不満という回答が多かった。

(33) 施設環境に対する満足度（施設類型別の分析）



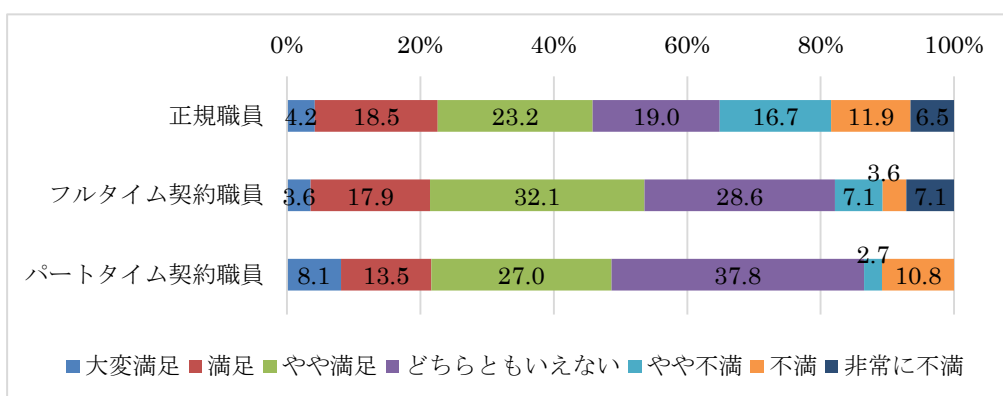
※有効回答数（保育所＝118、幼稚園＝23、認定こども園＝77、その他＝22）

(34) 施設環境に対する満足度（運営主体別の分析）



※有効回答数（公立＝110、私立＝123）

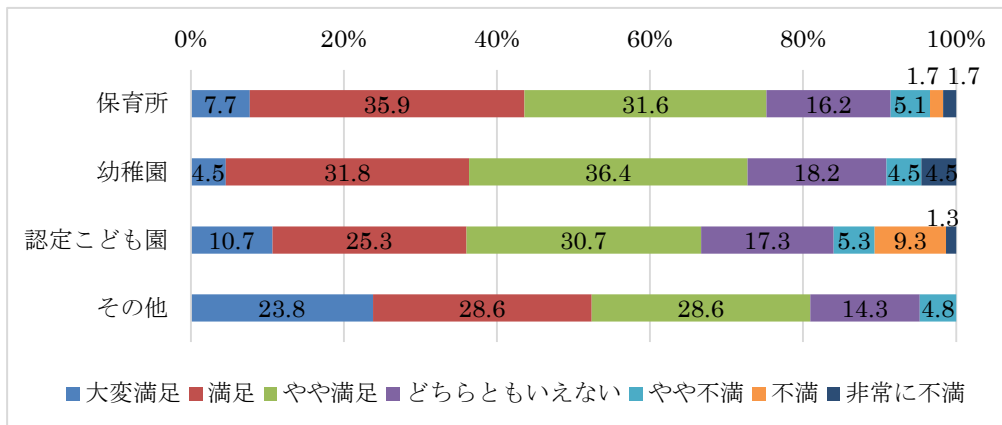
(35) 施設環境に対する満足度（雇用形態別の分析）



※有効回答数（正規職員＝169、フルタイム契約職員＝28、パートタイム契約職員＝39）

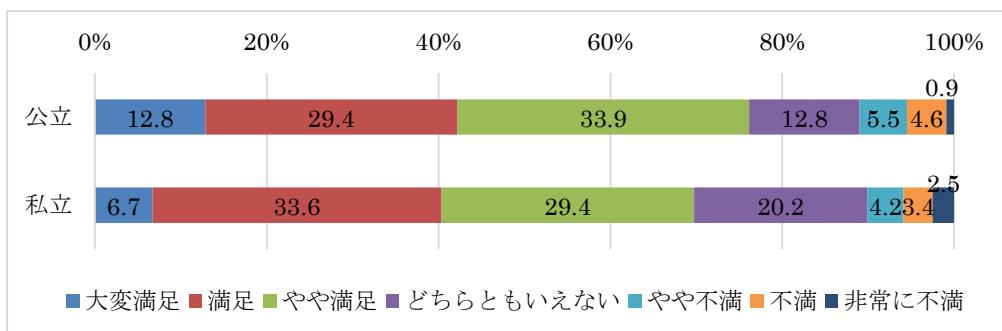
施設環境に対する満足度は、施設類型別にみると保育所に、公私立別にみると公立に、雇用形態別にみると正規職員に、不満というものが多かった。

(36) 仕事全体のやりがいに関する満足度（施設類型別の分析）



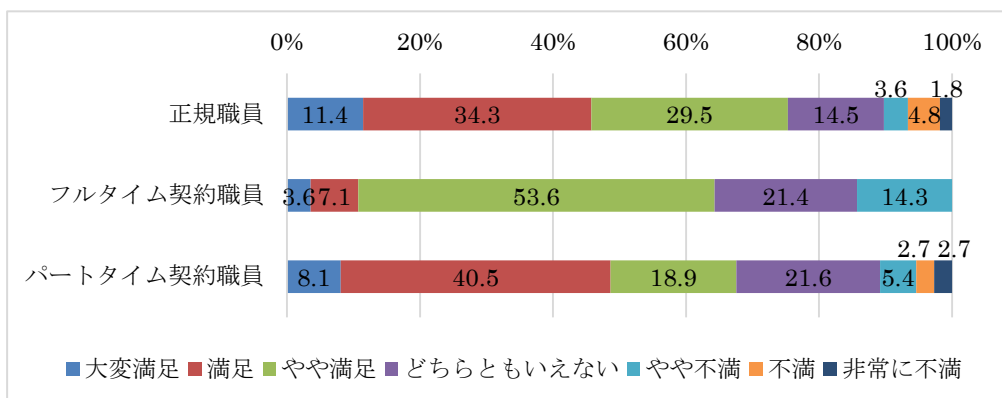
※有効回答数（保育所＝118、幼稚園＝23、認定こども園＝77、その他＝22）

(37) 仕事全体のやりがいに関する満足度（運営主体別の分析）



※有効回答数（公立＝110、私立＝123）

(38) 仕事全体のやりがいに関する満足度（雇用形態別の分析）



※有効回答数（正規職員＝169、フルタイム契約職員＝28、パートタイム契約職員＝39）

仕事全体のやりがいに関する満足度は、施設類型別にみても、公私立別にみても、大きな違いはみられなかった。雇用形態別にみると、フルタイム契約職員は、「大変満足」「満足」という回答が少なかった。

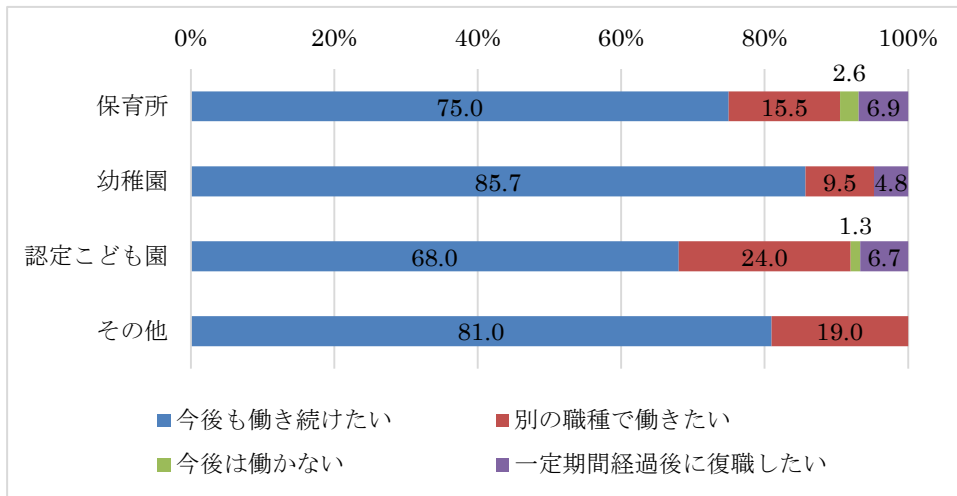
(39) 職場に対する改善要望事項

(施設類型別・運営主体別・雇用形態別の分析)

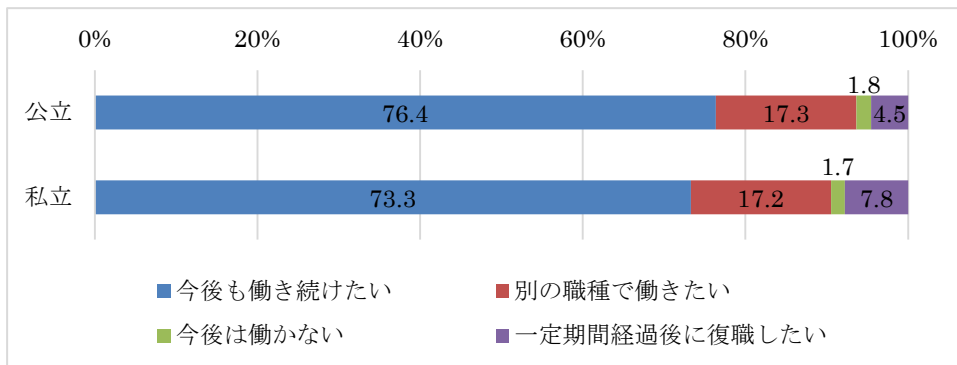
	施設類型				運営主体		雇用形態			
	保育所	幼稚園	認定こども園	その他	公立	私立	正規職員	契約職員 フルタイム	契約職員 パートタイム	
事務・雑務の軽減	54.2	47.8	49.4	27.3	60.0	41.5	60.9	25.0	15.4	
勤務シフトの改善	31.4	26.1	29.9	13.6	27.3	30.9	35.5	14.3	10.3	
未消化休暇の改善	44.9	39.1	49.4	36.4	40.0	49.6	55.0	42.9	5.1	
給与等の改善	62.7	43.5	62.3	45.5	50.0	68.3	58.6	82.1	43.6	
雇用の安定化（正規職員登用）	21.2	13.0	14.3	9.1	23.6	10.6	16.0	32.1	10.3	
職員の増員	62.7	43.5	45.5	31.8	62.7	43.1	58.6	50.0	25.6	
職員間のコミュニケーション	15.3	8.7	19.5	9.1	10.9	17.9	16.0	10.7	12.8	
権限範囲の拡大	3.4	4.3	1.3	9.1	4.5	1.6	3.6	3.6	0.0	
権限範囲の縮小	24.6	13.0	31.2	4.5	27.3	20.3	24.3	35.7	12.8	
評価制度の見直し	4.2	4.3	15.6	13.6	8.2	8.9	10.7	10.7	0.0	
園の理念や運営方針	9.3	17.4	19.5	4.5	5.5	19.5	11.2	17.9	17.9	
相談体制の充実	10.2	8.7	19.5	9.1	10.0	15.4	13.6	17.9	7.7	
研修機会の充実	5.1	8.7	2.6	9.1	6.4	3.3	5.9	0.0	5.1	
その他	3.4	8.7	7.8	13.6	10.0	3.3	7.1	3.6	5.1	
とくにない	1.7	0.0	3.9	13.6	2.7	3.3	1.8	0.0	12.8	

事務・雑務の軽減に関する要望は、公立、正規職員が多かった。給与等の改善に関する要望は、保育所や認定こども園、私立、フルタイム契約職員が多かった。職員の増員は、保育所、公立、正規職員で、多かった。

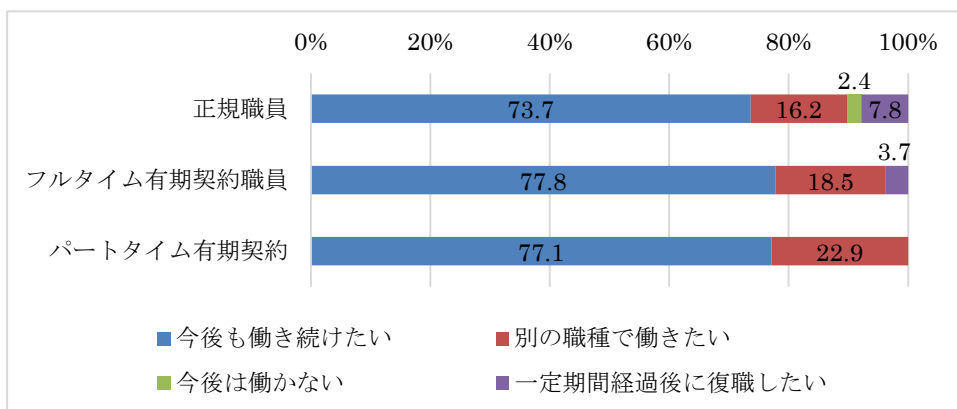
(40) 今後の就労希望（施設類型別の分析）



(41) 今後の就労希望（運営主体別の分析）



(42) 今後の就労希望（雇用形態別の分析）



今後も働き続けたいという就労継続希望は、幼稚園が高かったのに対して、認定こども園ではそれほど高くなかった。

(43) 保育士等を辞めたいという者の辞めたい理由

(施設類型別・運営主体別・雇用形態別の分析)

	施設類型				運営主体		雇用形態		
	保育所	幼稚園	認定こども園	その他	公立	私立	正規職員	契約職員 フルタイム	契約職員 パートタイム
家庭との両立が困難	8.5	4.3	14.3	0.0	10.0	8.1	11.2	0.0	5.1
自身の健康状況の不安	8.5	8.7	9.1	0.0	11.8	4.1	7.1	7.1	7.7
他の職種への興味	4.2	0.0	13.0	4.5	6.4	6.5	6.5	14.3	2.6
自分の適性・能力への不安	10.2	4.3	11.7	9.1	10.9	8.1	10.7	10.7	7.7
転居、配偶者の意向	0.8	0.0	1.3	0.0	0.0	1.6	0.6	3.6	0.0
家族等の看護・介護	0.8	4.3	2.6	0.0	0.9	2.4	1.2	3.6	2.6
職場の人間関係への不満	9.3	0.0	11.7	4.5	7.3	8.9	8.9	10.7	5.1
業務量が多い	14.4	13.0	18.2	4.5	14.5	14.6	18.9	7.1	2.6
休暇取得が困難	8.5	8.7	11.7	4.5	7.3	10.6	11.2	3.6	5.1
労働時間が長い	9.3	13.0	11.7	4.5	10.0	9.8	13.0	7.1	0.0
給料が安い	14.4	8.7	19.5	4.5	10.9	17.1	14.2	17.9	12.8
職員数が少ない	9.3	8.7	9.1	4.5	9.1	7.3	10.1	10.7	0.0
雇用形態への不満	3.4	4.3	2.6	0.0	2.7	2.4	2.4	0.0	5.1
保護者対応等の心労	8.5	4.3	6.5	0.0	9.1	4.9	7.1	3.6	7.7
パソコン操作が困難	3.4	0.0	1.3	0.0	2.7	1.6	2.4	0.0	2.6
将来への不安（昇給・昇進）	5.1	8.7	3.9	0.0	4.5	4.1	4.7	3.6	2.6
雇用者の都合（閉園等）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
責任の重さ、事故への不安	10.2	4.3	13.0	4.5	12.7	6.5	10.1	14.3	5.1
相談体制がない	0.8	0.0	2.6	0.0	0.9	1.6	1.8	0.0	0.0
職員の教育・研修体制がない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

保育職を辞めたい理由については、施設類型や公私立で、大きな違いはみられなかった。雇用形態別でみると、正規職員で「家庭との両立が困難」、「業務量が多い」などが比較的多かった。

(44) 過去に保育士として働いたことのある者の辞めた理由
(施設類型別・運営主体別・雇用形態別の分析)

	施設類型				運営主体		雇用形態		
	保育所	幼稚園	認定こども園	その他	公立	私立	正規職員	フルタイム 契約職員	パート タイム 契約職員
家庭との両立が困難	38.0	54.5	0.0	33.3	28.0	43.5	36.0	40.0	42.9
自身の健康状況の不安	30.0	18.2	25.0	11.1	36.0	21.7	22.0	46.7	14.3
他の職種への興味	10.0	27.3	0.0	11.1	16.0	8.7	8.0	20.0	14.3
自分の適性・能力への不安	28.0	45.5	0.0	0.0	20.0	30.4	26.0	40.0	0.0
転居、配偶者の意向	20.0	18.2	0.0	11.1	12.0	21.7	14.0	26.7	28.6
家族等の看護・介護	12.0	9.1	0.0	33.3	20.0	10.9	16.0	6.7	0.0
職場の人間関係への不満	22.0	27.3	50.0	33.3	16.0	30.4	26.0	33.3	0.0
業務量が多い	32.0	18.2	50.0	33.3	24.0	34.8	38.0	20.0	14.3
休暇取得が困難	22.0	36.4	25.0	0.0	16.0	26.1	26.0	20.0	0.0
労働時間が長い	30.0	36.4	50.0	11.1	28.0	30.4	32.0	26.7	0.0
給料が安い	34.0	18.2	50.0	33.3	28.0	32.6	28.0	53.3	14.3
職員数が少ない	12.0	18.2	0.0	33.3	12.0	10.9	16.0	6.7	14.3
雇用形態への不満	8.0	9.1	0.0	0.0	8.0	6.5	4.0	20.0	0.0
保護者対応等の心労	12.0	36.4	25.0	0.0	16.0	15.2	16.0	20.0	0.0
パソコン操作が困難	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	2.0	6.7	0.0
将来への不安（昇給・昇進）	6.0	18.2	0.0	0.0	8.0	6.5	6.0	13.3	0.0
雇用者の都合（閉園等）	2.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	2.0	0.0	0.0
責任の重さ、事故への不安	22.0	36.4	25.0	11.1	20.0	26.1	30.0	13.3	0.0
相談体制がない	4.0	9.1	0.0	0.0	4.0	4.3	4.0	6.7	0.0
職員の教育・研修体制がない	6.0	0.0	0.0	22.2	4.0	6.5	8.0	6.7	0.0
その他	22.0	9.1	50.0	11.1	20.0	21.7	20.0	13.3	42.9

過去の保育職として働いていたものの保育職を辞めた理由は、公私立別にみると、公立では「自身の健康状況の不安」が多く、私立では「家庭との両立が困難」が多かった。勤務形態別にみると、正規職員は「業務量が多い」「責任の重さ、事故への不安」が多く、フルタイム契約職員は、「自身の健康状況の不安」「給料が安い」「雇用形態への不満」が多かった。

(45) 過去に保育士として働いたことのある者の復職にあたっての要望事項
(施設類型別・運営主体別・雇用形態別の分析)

	施設類型				運営主体		雇用形態		
	保育所	幼稚園	認定こども園	その他	公立	私立	正規職員	契約職員 フルタイム	契約職員 パートタイム
勤務日数	52.0	36.4	50.0	55.6	52.0	47.8	44.0	53.3	100.0
勤務時間	46.0	45.5	33.3	55.6	48.0	44.4	42.9	53.3	71.4
職員数	16.0	18.2	0.0	22.2	16.0	15.2	18.0	6.7	28.6
給与等	20.0	18.2	25.0	33.3	16.0	26.1	22.0	13.3	42.9
雇用形態（正規職員採用）	10.0	0.0	0.0	0.0	4.0	8.7	8.0	6.7	0.0
雇用形態（フルタイム・パートタイム採用）	36.0	36.4	0.0	44.4	40.0	32.6	32.0	40.0	57.1
休暇の取得しやすさ	50.0	63.6	75.0	66.7	36.0	65.2	58.0	46.7	57.1
施設運営方針への納得感	16.0	9.1	50.0	33.3	12.0	21.7	24.0	13.3	0.0
家族等の協力体制	14.0	0.0	25.0	33.3	16.0	13.0	12.0	20.0	28.6
自身のキャリアアップが可能	12.0	0.0	0.0	11.1	8.0	8.7	6.0	13.3	28.6
自身の健康状況の改善	18.0	0.0	0.0	11.1	16.0	13.0	8.0	26.7	28.6
求人情報の提供	10.0	18.2	0.0	0.0	8.0	10.9	10.0	6.7	14.3
研修等の再教育プログラム参加制度	12.0	9.1	0.0	22.2	8.0	13.0	14.0	0.0	14.3
業務に関する相談体制の整備	18.0	0.0	0.0	11.1	12.0	15.2	16.0	6.7	14.3
責任の軽減、事故防止の管理体制の充実	30.0	45.5	0.0	11.1	32.0	26.1	34.0	20.0	14.3
その他	14.0	0.0	0.0	11.1	4.0	15.2	14.0	6.7	0.0
復職の意思はない	28.0	36.4	25.0	33.3	40.0	23.9	30.0	40.0	0.0

過去に保育職として働いたことのある者の復職にあたっての要望事項としては、認定こども園では「施設運営方針への納得感」が多かった。公私立別にみると、私立では「給与等の改善」「休暇の取得しやすさ」「施設運営方針への納得感」が多かった。

V 各設問における「その他」および自由記述欄回答抜粋

【1】施設向け調査結果

問3 職員が不足している理由として考えられることをお答えください。(複数回答可)

1	気がかりな子が多数入園のため
2	産・育休取得者が多い
3	結婚して県外へ行く為
4	保育士の仕事量、責任が多く重すぎる。保育時間が長すぎる、それらにより時間やゆとり（自分の）が無く良い仕事のはずなのにそれを感じられない。常にストレスに押しつぶされる。
5	経営者・役所が現場の実情を知らなすぎる。県が提示する指数と実際の職務内容が全く見合っていない。
6	時短を希望されるが常勤が欲しい
7	産休・育休と妊娠によるトラブル
8	途中入所児への対応が難しい
9	育休中の職員が多い
10	パートが多くPMよりの保育士が不足

問4 貴園・施設において過去5年間の内、職場環境に関わる事柄での離職理由として当てはまるものをお答えください。(複数回答可)

1	子育て、高齢、結婚、適正を欠く
2	正規職員の離職はなし
3	出産のため
4	業務への不満
5	自分の仕事に自信をなくす
6	結婚、家庭の事情、健康状況
7	業務内容の不満
8	自己都合、幼稚園からの引き抜き
9	身体への負担が大きい、人間関係の心労
10	病気治療、結婚

問5 貴園・施設において過去5年間の内、職員自身の事情での離職理由として当てはまるものをお答えください。(複数回答可)

1	派遣からパートへ
2	通勤時間・距離
3	職場が遠いため
4	公務員への転職
5	他園からの引き抜き
6	公立園への転職
7	持病の治療
8	本人の病気
9	適正能力への自信喪失
10	定年が間近になったこと

問11 雇用する潜在保育士等に求める技術・知識についてお答えください。(〇は3つまで)

1	保護者あてのお手紙を書くための文章能力
---	---------------------

問15 潜在保育士等を雇用しない(またはできない)理由についてお答えください。(複数回答可)

1	年度末に誰かいれば一人増やしたいと思っているところで、まだ決めていない
---	-------------------------------------

問16 潜在保育士等を採用するメリットと考えられるものをお選びください。(〇は3つまで)

1	該当なし
---	------

問17 潜在保育士等を採用するデメリットと考えられるものをお選びください。(〇は3つまで)

1	その人の資質・能力による
2	保育士をやめた原因が気になる
3	その人による。
4	園の方針になじめない
5	私的な休みが多い。現状を理解していないので、保護者指導にギャップが生じるのではないか
6	面接時に本人としっかり話ができている

問 18 潜在保育士等が保育士等として就業しない理由として貴園・施設が思う理由をお選びください。

1	責任の割に給料が安い
2	給料が安い上、重労働
3	業務量の多さ
4	仕事内容と処遇バランス
5	ペーパー免許で経験がないと不安
6	職場の意識を理解するのが大変
7	処遇の低さ
8	本人の意思

問 19 今後、保育士等を確保するにあたって行うと良いと思う（または実際に行っている）工夫についてお選びください。（○は3つまで）

1	土日の完全週休2日制の導入
2	業務の効率化
3	もっと根本的な改善が必要かと思います。経営者や役所で保育課につく方などは必ず現場研修をしてもっと現状をわかっていただくようにしたらよいのでは？そこまですないと、現場の声は結局役所止まりのまま、国のトップまで伝わらないと思います
4	地元の学校の卒業生がニーズにあっていない
5	一人当たりの仕事量軽減
6	職員に充実感を持って働いてもらうこと

問 20 今後、求人雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。（複数回答可）

1	給与補助
2	上記では、期待していない。市内での他園の口コミ情報で直接 TEL アタックが一番確実か、職安
3	定年退職者や早期離職者の積極的活用を進める施策
4	保育職の宣伝、広告
5	十分に保育士を雇用する為の運営費や補助金の増設

問 21 最後に、貴園・施設の「働くために支援が必要だと感じていること」、「理想とする保育・教育」などを、ぜひお聞かせください。

1	保育士が抱えている不安、悩みを解消し、可能な限り要望に応えていくこと。そのためには、日々のコミュニケーションを密にすることが重要と考える。子どもたちが元気な笑顔で園生活を送る中で、保護者および保育者が子どもの成長に関する喜びを共有すること
2	保育士としての自覚、責任感
3	給与水準の向上、不曷のことを地道にする。流行に流されない。体験を豊かにし、感性を伸ばし、元気でたくましい子を育てる。
4	子育てや介護を抱える保育士には、雇用形態・就労時間をマッチングすること。新卒がキャリアアップを目指すには、常勤として将来に希望が持てる雇用、研修費の充実を園が保障することが大切。特に都会で学んだ若い女性の地元の受皿になるため幼稚園・保育園は大いに有効であるし、常勤を保障することで、女性の地元定着率が高くなり、少子化への歯止めとしても有効である。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用主である会社側に就学前の乳幼児を持つ従業員の短時間雇用、土日完全週休2日制の導入が必要だと思います。 ・大人でも勤務時間が8時間となっているのに幼い乳幼児は早朝7時～午後6時あるいは7時までの長時間保育は、子どもの疲労感のみならず、家族関係の希薄化につながり、人間の基礎を養う時期の環境に不適切であると思います。
6	平日昼間に研修等に行けるシステム（実際のところ、人材不足でなかなか行けない。行けても、平日夜か土日の研修のため、保育士が行きたがらない）
7	保育士の質の向上は求められますが、保護者の質の低下は止みません。そのギャップが広がれば広がるほど保育士の心の疲れにつながっていくように感じるところがあります。子どもの出生率を高めようとすればするほど、支援が整っていけばいくほど親の子育てに向かう気持ちが薄れ、クレマー化し、共育てを望む保育士の心を疲れさせてしまうのではないのでしょうか。子どもを純粋に愛する先生たちの気持ちに甘えず労働条件や園児受入れの策定を考えていただけたらと思います。軸は子どもでは？
8	募集を行ったが、希望者がいなく不足からのスタートとなった。臨時の職員も含め、いっぱいいっぱい状況で、早出や遅出も変えることができないこともある。このような状態が続くと、離職もありうるので、何とか改善をしていきたいのだが、難しいのが現状である。
9	保育の質を落とさずに職員の休みを補償していくこと
10	新採用の保育士、若手保育士に対する充実した研修体制の確立 研修を受講するときの代行職員の支援
11	働きやすい環境づくりが大切だと感じている。保育士が求める処遇は処遇改善等でも優遇されつつあるが、保育士の職務は大変だというイメージが拭かれないう限り、確保は難しい。どこの会社でも仕事は簡単なことではなく、人間関係もある。理想とする保育は保育士がみんな感謝の心をもって笑顔でいられることである。
12	時間から時間で終われる仕事ではなく、園児や保護者を相手にしている仕事なので職場から離れても頭にある。人と人との関わりで、一番大事な幼児期を預かっている立場としては、教師との地住の格差を感じる。もう少し保障（金銭的なことや業

	務時間) をしてほしい。それと発達障害のお子様が増えている。なかなか定数どおりでは保育が成り立たないのが現状。現場はいっぱいいっぱいになっている。心にゆとりがない。
13	人材育成のためのキャリアパスを職場の状況に合わせて8月中には職員全員参加して作る予定をしている。このことが定着にもつながっていくのではないかと思う。園長・主任のマネジメント力が大切。
14	保育士の求人をして雇用するまでにならず、保育補助での求人をハローワーク等にてお願いしていますが、なかなかの状態です。視覚のある保育士さんの雇用で、子どもたちにきめの細かい保育と働く側も働きやすい環境になれることが理想です。
15	人件費の補助。8時間の労働時間に対し、11時間開所であるため、もっと増員が必要だと思う。保育、教育のためにと頑張っているが、追われる毎日。イベント(行事)が大切である風潮の見直しを図りたい。世間に発信し、理解を得たい。
16	保育士定数(子ども1人当たりに必要な保育士数)が何十年も変わっていません。社会が保育園に求める役割や育休明けで預ける家庭が増えたことによる責任の重さが大きくなっているにもかかわらず、保育士の負担が増すばかりです。温かく子どもを受け入れる保育士が心身ともに疲れ切って現場を去っていくことが残念に思います。また、保育士不足はなぜ起きているのか、自分たちの行っている保育はどのようなものなのかを受け身ではなく保育士自身も声を上げていかなければ・・・と思います。
17	園で働く職員は女性が多く、やはり結婚、出産、育児と仕事の両立などあり、経済面での支援、また、職場復帰した時の勤務形態などの柔軟な対応など必要ではないかと思えます。
18	意欲的に働くために給料の見直しや勤務時間等に柔軟な対応が必要ですし、コミュニケーション(職員同士)や信頼関係の構築に力を入れる必要があると思います。
19	当園で勤務することとなった保育士の性格を踏まえたサポートのあり方を他職員とも話し合いを行い、共有して永く勤務できるような体制作りをしていきたい。同じ保育感を持ち、子どもを主体とした丁寧な保育、教育を心掛けたい。
20	海と山に囲まれている地域の強みを生かし、設定保育にとらわれない環境にあった指導を行い、自然体験を通して、五感で楽しみ、心が動く遊びの中から観察・発見していくことで、子ども一人ひとりがまたやってみたく感情を表出していける、保育・教育を目指していきたい。
21	保育士定数の弾力化。例えば、4、5歳を30人/1人⇒20人/1人。1、2歳を6人/1人⇒3人/1人。それに伴い、運営費も増額しないとやっていけないが、保育士の負担が減れば、働きたいと思う人も増える。
22	働く職員が幸せと感じられる職場であることが、充実した保育・教育には必要不可欠だと思います。特に若い職員にとって子どもの姿を多様な視点から捉えられるよう研修の機会を作って支援していこうと取り組んでいます。
23	企業の方も、子育てしている方の支援(休みが取りやすいようになど)していただきたい。
24	もっとしっかり現場を見て知ってください。休みもほぼ十分に取れず、子どもをしっかり目いっぱい見た後、残りの業務(時には持ち帰りの仕事)。命・教育を預かる

	仕事なのに私立保育園の給料は本当に少ない。内容と給料が合わないと感じます。
25	保育士の協働性について常に考えている。主任保育士が中心となって、保育士、特に新人保育士の身近な声を受け止め、自信をもって前向きに取り組める様、職員一人一人に指導や支援を大切に取り組んでいるところです。また、女性の多い職場です。家庭の事情で休みが取りやすく、研修へ行くにも安心して出かけられる様な日々の保育士の確保できる職場環境を考えているが、理想とする保育士確保が難しいのが現状である。
26	職員が子どもの手本となるよう、自覚を持って生き生きと働いている姿を子どもは見ている。そのことから、自己管理をしっかり行い、信頼のある職員となって欲しい。
27	保育士の業務負担が多いため、なかなか勤まらない。県が保育士1人分の人件費を負担し、保育士を雇うことができれば、ゆとりができ、保育士の雇用継続に繋がると思われる。処遇改善も個人に配分するのではなく、新たに雇うために使えばゆとりに繋がる。
28	人件費補助金が必要
29	時短の取扱いの常勤加算について、経営の安定を思います。(子どもの人数に関係なく、収入が安定していること) 児童数によって雇用。人数の不安定さ。正規雇用ができない等
30	保育士には、勤務時間内に記録や書類の作成のための時間の確保が必要である。子どもたちには、健康な体づくりと人として生きていくための人間学を身に付けてほしい。
31	支援を要する子どもに必要な保育者を配置してあげたい
32	園児一人ひとりを大切に育てるように、職員一人ひとりも大切に育てていく視点を持つこと。
33	園児数が減少しているため、保育士の数は十分に足りているので今後、採用等は全く考えていません。反対に雇用していけるのか不安があります。
34	子育て、家庭との両立のための柔軟な勤務形態。相談、協力し合える仲間作り
35	国や県、市からの人件費に対する補助が必要。これからの日本を支えていく子どもたちを育てるために、教育に予算をもっとつけてほしいと思います。

【2】保育士指定養成施設卒業生向け調査結果

問2 あなたが保育士資格・幼稚園教諭免許を取得した主な理由をお答えください。(○は3つまで)

1	免許が取れるカリキュラムだったから
2	県内の短大だったから
3	県外に出してもらえず、県内で短大に行くことだけを認めてくれたから
4	高校担任に勧められた
5	障害をもった利用者様と関わる仕事をしたいと思ったから
6	体を動かすのと制作をしたりするのが好きだったから
7	資格があるならやってみようと思ったから
8	志望大学に行けなかったから
9	県内であったから
10	女性も資格をもつことが、必要だと思ったため

問3 あなたが有している資格・免許（H29年4月1日現在）をお答えください。(○はいくつでも)

1	児童厚生員
2	児童厚生一級指導員
3	介護支援専門員、生活支援員
4	ケアマネージャー

問5 現在、保育士等として働いている施設は下記のそれぞれの条件のいずれにあたりますか。また、あなたの雇用形態としてあてはまるものをお選びください。複数の施設で働いている方は、もっとも長時間働いているところを主たる勤め先としてお答えください。(以下同様に) (○は各1つ)

【施設類型】

1	障害者福祉施設
---	---------

問6 あなたが保育士等になるにあたって行った求職活動手段についてお答えください。(○はいくつでも)

1	実習先
2	ボランティア
3	近くの私立で実習およびボランティア

問 11 現在の職場に対して、日ごろあなたが改善してほしいと思っている事柄はありますか。下記の中から近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

1	正規職員が少ない
2	施設環境
3	各クラスに仕切りがない。集中できる環境
4	職場環境
5	支援体制
6	残業代の支給
7	サービス残業の廃止
8	有休の取得
9	勤務時間内に仕事が終わらない
10	給食の内容

問 12 あなたは保育士等として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。下記の中からお選びください。(〇はいくつでも)

1	変動する教育について、幼児に関する教育だけでなく、小中高校の今かかえている教育問題について知る機会
2	臨機応変
3	新人育成
4	メンタルヘルス
5	ピアノをひけること
6	変動する教育について、幼児に関する教育だけでなく、小中高校の今かかえている教育問題について知る機会
7	臨機応変
8	新人育成

問 14 過去、保育士等として働いていた施設は下記のそれぞれの条件のいずれにあたり
ますか。また、あなたの雇用形態としてあてはまるものをお選びください。複数
で働いていた方は、もっとも最近働いていたところをお答えください（以下同様
に）。（○は各1つ）

【施設類型】

1	療育センター
2	乳児院
3	託児所
4	児童養護施設
5	幼保園
6	知的障害施設
7	障害福祉施設
8	子育て支援施設兼託児施設
9	療育センター

問 17 あなたが保育士等として就業された保育所等を退職した理由としてあてはまるも
のをお答えください。（○はいくつでも）※現在、保育士等の方は、辞めたい理由
としてお答えのうえ、問 23 へ。

1	子どもの人数が多すぎて保育の質が低くなってしまうことへの嫌悪感。
2	仕事が続かない
3	病院へ通うため
4	研修など多い。休みまで仕事をしている。
5	結婚、妊娠、出産（育児休業が取得できず）
6	カウンセリングの資格をもっと生かしたい
7	園長の考えですべて決まる。園長が求める保育に応えることができない。
8	孫もり
9	公立のため、事務職への異動
10	孫の世話

問 18 あなたが今後、保育士等として働く場合に求める条件をお聞かせください。また
（ ）内に具体的数字もあわせてご記入ください。（○はいくつでも）

1	勤務時間の希望を聞いてもらえる
2	残業が少ない、持ち帰りの仕事はほぼない。
3	保育士としての異動はないと思う
4	自営業のため
5	自宅へ持ち帰り仕事がなくなる。残業手当がつく。
6	人間関係、園長の人格

問 19 今後保育士等として働くまでに、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。下記の中からお選びください。(○はいくつでも) ⇒問 22 へお進みください。

1	園としてもっとパソコンを導入してほしい。
2	乳幼児保育内容
3	音楽・リズム

問 20 あなたが保育士等として働かなかった理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(○は3つまで)

【別の職業を希望した】

1	小学校教諭
2	警察官
3	団体職員
4	スポーツインストラクター
5	医療に関心があり、小児科事務
6	事務職
7	銀行員、役所公務員
8	学校事務
9	サービス業

【その他】

1	大学院進学のため
2	他の職業が決まってしまった
3	情報コースのため保育士免許がない
4	実習中、どの園も女性ばかりの職場で、雰囲気が悪かった
5	ピアノが弾けない
6	自営業手伝いがある

問 21 あなたが今後、保育士等として働く場合に求める条件をお聞かせください。(○はいくつでも)

1	自宅から近いこと
2	健康保険加入

問 22 今後、求人雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。(○はいくつでも)

1	客観的に見た職員の様子を教えてほしい
2	件の子育て支援に関する事業内容の拡充、県外への発信
3	特に支援を必要としている子ども達に対する接し方、能力ののびし方、生かし方、社会で生活していけるようにする力をつけられる環境
4	園の情報公開

問 23 最後に、あなたの「保育士等として働くことへの不安」や「働くために支援が必要だと感じていること」、「理想とする保育・教育」などを、ぜひお聞かせください。

1	保育士はサービス残業が当たり前という感覚になっていることが多い、とのことだったので、今後そのような感覚が改善されていくと良いなと思います。
2	仕事内容や責任に対し、もっと見合った給与が必要だと感じる。
3	・給与明細がなかなかもらえない。・園長が現場を知ろうとしていないことが不安です。・定時になっても帰り辛い雰囲気がある。・給料が仕事量に見合っていない。
4	体力がもたない。休みの日の仕事が多くて休みでないみたいを感じる。有給とれない。
5	勤務時間内に職務を終えることができず、家へ持ち帰ってやらなければならないことが多い。その割には給与が少ない。(非常勤職員の) 給与を見直すべきだと思う。
6	私立でも、男性が一家の主人として働き続けられるような待遇になると、良いと思います。私は3年間働いた大好きな園を辞め、公立の道を選びました。
7	持ち帰って仕事をしなければ、事務仕事が終わらない。有給が取れないので若い人でも平等にとることができるようにして欲しい。ベテランの先輩と組んで保育・教育することは勉強になるが、働き続けたいという思いが減り、心や体が持たない。
8	様々な問題を抱えた子どもが入所してくるため、発達支援に関する知識、技能が圧倒的に足りていないと感じる。
9	勤務時間が長くても、代休もなく、給料にも反映されていない。
10	家庭をもった時、仕事と家庭を両立できるかどうか。
11	常に人員不足を感じながらの仕事で、その分、業務量および責任が増えることに関して恒常的に不安を感じます。働く環境の整備が不可欠だと思います。
12	子育てしている状態でも正職員として残業等がなく働けること。保育士も疲れた顔でなく、子どもと共に笑顔で常に余裕がある状態での保育
13	仕事量を減らしてほしい。このままだとみんな体をこわす。
14	人員不足は深刻であるように思う。体力的な負担も大きい。ぎりぎりのところで仕事が回ったとしても、もっと充実した保育がしたいという不満が残る。
15	記録簿等の書類、事務作業を最小限にしてほしい。(保育の記録、発達記録、保育要録、月案週案、個人記録等)
16	新卒から18年間、私立の幼稚園に努め、辞めてから20年以上経ちました。若かった事もあるのですが、ご父兄の対応の難しさを感じました。当時は、各々が担任クラスを持ち、園長も本業(住職)で忙しく、園の専門機関に相談に行ったこともありました。私立ですけど、経営上、大変なのかも知れませんが、職員を増やし、担任一人にすべて責任を負わせるのではなく、余裕をもった職員配置を望みます。
17	気がかりな子が増える中、援助環境作りや規則、相談又は資料作成など事務的な事も増えてきた。また保護者にも変化があり、親育てにも手を取られることが多い中、

	求人育ててもなかなか保育を希望していただける方がいないため、その職員を一杯一杯働いている。ぜひ保育仲間を増やしてほしいです。
18	家に介護が必要な家族がいること、休みが取りやすいこと、給料が多少下がっても良いので、時間減で働けるような選択ができるようになると良いと思う。
19	待機児童がいなくなるよう保育士や職場を増やしてほしい
20	命の大切さと個性の尊重など、相反する内容が全て要求されているような気がして、つくづく難しさを感じる。また、コミュニケーションが、子ども、父兄、同僚へなど大変な職場だと思う。
21	記入すべき書類を減らしてほしい。もっと給料が上がって欲しい。
22	保育士を「仕事」と思うが、「先生」として子どもに接するかによって、子ども達の育ち方が変わる気がします。その園の方針によると思いますが、新卒の若い保育士だけでなく、ベテラン保育士そして定年を迎えて朝や夕方に時間の余っている年齢層の方などいろんな人たちが集まって、上から下まで幅の広い層での保育を行うことが、子どもたちの感情を広げるきっかけになるのではないかと思います。50代60代の採用の充実を望みます。
23	書類物が多すぎることと、行事の縮小。給料をもう少しもらえるか、責任が少なくなつての今の給与なら良い。
24	子どもを園に預ける保護者の要望に答えすぎる。ニーズに答えすぎるのも問題。サービスの充実＝保育士の負担が大きくなる＝離職者が増える だと思う。
25	職場の人間関係に対する不満、正職員と保育の考え、子どもへの関わりが合わない。
26	これからの日本の未来が不安である。もっと国がしっかりして欲しい。子どもたちのことを常に考えてほしい。
27	書類作成、研修、会議等、抱えきれない雑務が多く、常に精神的にも肉体的にも追い込まれていました。今のまでは、ますます保育士の離職率が上がるのではと思います。職場で働く保育士は本当に本当に大変そうです。
28	トラブルを抱える子どもが年々増え、レベルもアップしている。パートが補助として障害児につくパターンが多く、心労が多い。メンタルがやられることが多い。30年前とは、子どもが変化している。クラスがまとまりにくく、いつも「大変」と言っただけで一日を流している。進歩がなく、我慢・忍耐との闘い。早め早めの対応が必要なのに、なかなか動いてくれない。どうしたらクラスがまとまり、辛くないのか。
29	保育士としてずっと働いたら、結婚後自分の子どもを見てもらえる環境を整えてほしい。正規なら仕事時間以上に預かってくれる施設がなく、祖父母がいなければ続けられませんでした。病気の時も同じです。(病児保育がなかったのも)
30	年齢も60歳になり、子どもが好きだけでは体力がもたない。1日の働く時間が長時間、賃金が安い、働くお母さんが多くなったので、働きやすい支援が必要。理想は、温かな保育だが、なかなか難しい。⇒他の仕事が多すぎる。
31	家庭や子度だとの両立ができるような勤務体制を望みます。

32	子ども達が園でいきいきと遊べる環境作り、思い切り遊べる環境作りをしていきたい。
33	大切な命を預かる。給与面で見直しがあるべき。モンスターペアレンツ対応。
34	少子化の今、親として保育園、保育士への目が厳しいと思うのでなかなか難しい仕事だと思います。理想としては、小学校へ入るための前準備として必要なことを身に付けてほしい。(集団生活としての)
35	幼稚園＝サービスととらえられがちで、教育の場としての位置づけが危ぶまれている。預けている側重視で、私達の勤務体制が悪すぎる。職場ではもちろん仕事であるが、家に帰っても仕事、土日でも家で仕事、人間らしい生活をしたい。このままだとこの仕事に就く人がますますなくなる。そのわりに給料が少ない。保育の質を上げたいのに、良い人材がこの仕事に魅力を感じなく、保育の質がますます低下していくことを不安を感じる。
36	給料は少ないが、仕事量が多い点。施設にて、職員間のトラブルの際に、風通しが悪く、解決しにくいこと。以前より務めている方が、新しいことに挑戦することを避けようとする。
37	昇給が少なく、将来が不安。勤務時間内では、事務・雑務が終えられないが、上司は時間内で終わるように言う。職員数も少なく、一人当たりの業務量がここ 2, 3 年で多くなってきている。
38	私は現在銀行で働いているが、本当は保育士として働きたいと思っている。自身の子どもが成人をして、働く目的がお金より生きがい、やりがいへと変化してきていると思う。自分にチャンスがあれば、再度研修をして、保育士のおばちゃんになりたいと思っている。幼児教育で学んだことは、自身の子育てに役立ったと思う。違う職業に就いたが、卒業して得た資格は私の宝物です。
39	・家庭を持った時に仕事と両立できるか。・一人担任のため、非常に休みが取りにくい。・毎日とても疲れる。・腰痛がひどい。・責任は全て正規保育士にあり、非正規保育士も十分に実力があるのに補助的な存在にとどまってしまっていて非常にもったいない。(園の方針で)・非正規の人も主担任をしたり、保育に意見を出せる環境だったら、もっと保育の質も人間関係も良くなるはず。
40	保幼小連携が実施記録に目がいつているような気がします。目の前にいる子ども達一人一人のための子育て支援であり、連携であり、保育教育でありたいと願います。
41	いろんな価値観を持った保護者が増え、その保護者の子どもも育ちが多様化している。一人ひとりの子どもに自己肯定感を持たせられるように指導していくには、正職員の数を増やし、(※派遣やパートではなかなか対応できない) 職員間の連携がとても大切だと感じる。派遣が多く、正職員の負担が大きくなってきているため。正職員(子育てのプロ)を増やすには、魅力的な職場だという保育士の社会的な位置を上げていけるようにし、大学や短大を出て保育者になる若者をしっかり国全体で(市や県)で育てていかないとはいけないと考える。

42	保育士は体力的にも精神的でも大変な仕事です。正職で働くのは家庭を持ってからはとてもつらかったです。私立園の場合、公立と比べ給料に差があるのが途中で辞める1番の原因です。現場では気になる子が又気になる親が増え、更に大変な状況です。保育士の処遇を改善し、質のいい保育士が仕事を続けられる環境を望みます。
43	保育士不足により、一人一人の仕事内容が増えていたり、休日の確保が難しいことは感じています。今の仕事は、職場が大好きなので、我慢できたり、家族に協力してもらっていますが、私生活での協力が難しくなると、今までの仕事とはいかなくなると思います。
44	時間帯があれば、保育士をしたいと思っています。家庭の延長保育、幼児教育は、これからも大切だと思います。
45	家庭や子育てと仕事の両立、子育てをしながら働きやすい職場、子どもが小さい時は短い時間で、大きくなったら時間を延ばせるなど、柔軟に対応してもらえると有り難い。仕事も続けやすい、やめなくていい。
46	命を預かっているという責任があるので、もしもの時が不安。
47	保育士の増員、心身の余裕が必要です。新しく保育士になる人たちへ、保育士の魅力・楽しさを発信していくことが必要です。
48	産休・育休等で複数の保育士が欠けた状態でいの就労がきつい。人員がなかなか増員できずにかんばっているが、毎日保育士の配置にばたばたしている。(これからも不安)
49	正規職員が少なく、パート職員とともにクラスを持つと業務内容、責任など全てが正規職員に行き、園長等は保護者とトラブルになった時、職員を守ってくれなくなった。園長等が好き嫌いで職員の対応が分かることが苦痛。こういったことの改善があると働き続けてきたい職になると思う。
50	勤務時間が長く、仕事量も多いため、独身のあいだは働くことに集中できるが、家庭をもってからも同じように働けるか不安。しかし、保護者支援をより充実するためには、子育ての経験が必要だとも思う。

問7 求人活動として実施しているものをお答えください。また、選択した求人手段の効果について5段階で評価してください。(○は各1つ) ※各項目について求人活動を行っていない場合は「6」を選択してください。

求人手段	高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い	求人活動をしていない
養成施設からの紹介	1	2	3	4	5	6
ハローワーク	1	2	3	4	5	6
求人広告(新聞、求人誌)	1	2	3	4	5	6
自施設のHP、チラシ	1	2	3	4	5	6
人材派遣、紹介会社	1	2	3	4	5	6
就職説明会	1	2	3	4	5	6
自治体との連携	1	2	3	4	5	6

問8 昨年度、求人募集した人数についてお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1 0人 | 4 3人 | 7 6人 |
| 2 1人 | 5 4人 | 8 7人 |
| 3 2人 | 6 5人 | 9 8人以上 |

問9 昨年度、求人募集を行った結果、採用となった人数をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1 0人 | 4 3人 | 7 6人 |
| 2 1人 | 5 4人 | 8 7人 |
| 3 2人 | 6 5人 | 9 8人以上 |

ここからは、潜在保育士等に関することについておたずねします。

潜在保育士等とは、保育士資格・幼稚園教諭免許を持ちながらも、保育士等として就業しなかった方、または現在就業していない方を指します。

問10 新卒採用以外の潜在保育士等の求人活動を行っているかお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 はい⇒問11へお進みください。 | 2 いいえ⇒問15へお進みください。 |
|-------------------|--------------------|

問11 雇用する潜在保育士等に求める技術・知識についてお答えください。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1 保育士等として基本の実務経験 | 5 社会人としてのモラル |
| 2 乳児保育の経験 | 6 施設管理経験 |
| 3 集団保育の経験 | 7 パソコンの基本的な操作 |
| 4 コミュニケーション能力(保護者、同僚に対する) | 8 その他(具体的に) |

問12 潜在保育士等の求人活動の採用結果(採用したか)をお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|------------------------------------|
| 1 採用をした⇒問13へお進みください | 2 採用しなかった(できなかった)
⇒問15へお進みください。 |
|---------------------|------------------------------------|

問13 雇用した潜在保育士等の雇用形態についてお答えください。(複数回答可)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 正規職員 | 3 有期契約職員(パートタイム) |
| 2 有期契約職員(フルタイム) | |

問14 今年度、雇用した潜在保育士等の年代についてお答えください。また()内に具体的な数字もあわせてご記入ください。(複数回答可)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 20歳代()人 | 3 40歳代()人 | 5 60歳代()人 |
| 2 30歳代()人 | 4 50歳代()人 | 6 その他()人 |

問 15 潜在保育士等を雇用しない（またはできない）理由についてお答えください。（複数回答可）

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 人員が足りている | 6 雇用のための合同説明会等就職コーディネートの支援がない |
| 2 経営的な余裕がない | 7 求人募集をしたが、応募がなかった |
| 3 自施設に雇用するための制度・体制がない | 8 求人募集をし、応募はあったが、園が求める職員ではなく、採用とならなかった |
| 4 雇用に向けた財政支援（補助金）がない | 9 採用となったが、採用辞退の申し出を受けた |
| 5 求人したいが、ノウハウがない | 10 その他（具体的に） |

皆様におたずねします。潜在保育士等に関して、ご意見をお聞かせください。

問 16 潜在保育士等を採用するメリットと考えられるものをお選びください。（○は3つまで）

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 保育士等の経験がある | 7 即戦力として期待できる |
| 2 他業種での社会人経験がある | 8 シフトが組みやすくなる |
| 3 子育て経験がある | 9 保育等の質が向上する |
| 4 社会性と一般常識に優れている | 10 経営効率が上がる |
| 5 モラルと倫理をわきまえている | 11 施設の雰囲気が変わる |
| 6 コミュニケーション能力に長けている | 12 その他（具体的に） |

問 17 潜在保育士等を採用するデメリットと考えられるものをお選びください。（○は3つまで）

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 保育士等の経験がない | 7 シフトが組みにくい |
| 2 過去の保育士等の経験が障害になる | 8 保育等の質が低下する |
| 3 社会性と一般常識に欠けている | 9 経営効率が下がる |
| 4 保育等に関する最新の知識・情報不足 | 10 施設の雰囲気が変わる |
| 5 モラルと倫理がわきまえられていない | 11 その他（具体的に） |
| 6 即戦力として期待できない | 12 デメリットはない |

問 18 潜在保育士等が保育士等として就業しない理由として貴園・施設が思う理由をお選びください。（複数回答可）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 家庭との両立が困難 | 8 雇用条件への不満 |
| 2 自身の健康 | 9 教育・研修体制への不満 |
| 3 他の職種への興味 | 10 理念・方針への不満 |
| 4 自分への適性・能力への不安 | 11 将来への不安（昇給・昇進） |
| 5 近い将来結婚、出産を控えている | 12 責任の重さ・事故への不安 |
| 6 人間関係への不満 | 13 IT化についていけない |
| 7 雇用者側の都合（施設の閉園等） | 14 その他（具体的に） |

最後に皆様におたずねします。

問 19 今後、保育士等を確保するにあたって行うと良いと思う（または実際に行っている）工夫についてお選びください。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1 給与水準の引き上げ | 5 信頼関係の構築（保育士等に対する積極的なサポート） |
| 2 勤務時間に対する柔軟な対応 | 6 相談窓口の設置 |
| 3 雇用形態に対する柔軟な対応 | 7 キャリアアップの仕組み |
| 4 就業のための実務研修制度 | 8 その他（具体的に） |

問 20 今後、求人雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1 新採用を対象にした就職説明会の開催 | 5 潜在的保育士等を対象にした再就職に向けた研修等の実施 |
| 2 再就職および転職意向のある方を対象にした就職説明会の開催 | 6 就職個別相談窓口の設置 |
| 3 就職・転職・再就職のマッチングの実施 | 7 その他(具体的に) |
| 4 保育士等の就労情報を専門に扱うホームページの開設 | |

問 21 最後に、貴園・施設の「働くために支援が必要だと感じていること」、「理想とする保育・教育」などを、ぜひお聞かせください。

～以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)にて、平成 29 年 8 月 18 日(金)までにご投函ください。～このアンケートに関してのご質問・ご意見等に関しては、下記にお問い合わせください。

福井県健康福祉部子ども家庭課 幼保支援グループ

電話番号:0776-20-0342

担当:鷲田

※1 正規職員：フルタイム（常勤）で従業して、永久的（定年制なし）または定年まで雇用期間を定めない雇用形態のことを指します。

※2 フルタイム：フルタイム（常勤）で従業して、雇用期間に定めがある雇用形態のことを指します。

※3 パートタイム：会社として決められた通常の労働時間より短い時間を働く労働者で、雇用の期間に定めがある雇用形態を指します。

※4 常勤職員：事業所の所定労働時間を通じて勤務する労働形態のことを指します。

福井県保育士等実態調査（調査票・卒業生向け）

この調査において、保育士資格、幼稚園教諭免許のいずれか、または両方を有している方を「保育士等」とさせていただきます。各設問に対して、該当する番号に○をつけてください。また、() 内に具体的な数字をご記入ください。

問1 ご自身についてお答えください。また () 内に具体的な数字もあわせてご記入ください。

(○は各1つ)

性別	1 女性	2 男性	
年齢	1 20～24 歳	4 35～39 歳	7 50～54 歳
	2 25～29 歳	5 40～44 歳	8 55～59 歳
	3 30～34 歳	6 45～49 歳	9 60 歳以上
配偶者の有無	1 有	2 無	
子どもの有無	1 有⇒子ども数 () 人 末子年齢 () 歳		2 無
配偶者・子ども以外の同居親族の有無	1 有 (父母、兄弟姉妹、祖父母)		2 無
卒業校	1 短期大学	2 大学	

問2 あなたが保育士資格・幼稚園教諭免許を取得した主な理由をお答えください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 子どもと接することが好きだったから | 6 親や家族に勧められたから |
| 2 保育士等に興味があったから | 7 就職に困らないと思ったから |
| 3 身近な資格だったから | 8 たまたま入学できた学部だったから |
| 4 あこがれの職業だったから | 9 その他 (具体的に) |
| 5 将来の自分の子育ての役に立つと思ったから | |

問3 あなたが有している資格・免許 (H29年4月1日現在) をお答えください。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------|---------------|-----------------|
| 1 保育士 | 4 中学校・高等学校教諭 | 7 介護福祉士 |
| 2 幼稚園教諭 | 5 看護師・助産師・保健師 | 8 その他保育・教育関係の資格 |
| 3 小学校教諭 | 6 ホームヘルパー | (具体的に) |

問4 あなたの現在の就業状況 (自営・パートを含む) をお答えください。(○は1つだけ)

※現在、休職中の方 (産休・育休含む) は、「働いている」としてお答えください。

- 1 現在、保育士等として、働いている⇒問5へ
- 2 現在、保育士等以外の職種で働いているが、過去には保育士等として働いた経験がある⇒問14へ
- 3 現在、保育士等以外の職種で働いており、過去にも、保育士等として働いた経験はない⇒問20へ
- 4 現在、働いていないが、過去には、保育士等として働いた経験がある⇒問14へ
- 5 現在、働いていないが、過去、保育士等以外の職種で働いた経験がある⇒問20へ
- 6 現在、働いておらず、過去にも、職種問わず働いた経験はない⇒問20へ

現在、保育士等として働いている方におたずねします。→他の方は問14または問20へ

問5 現在、保育士等として働いている施設は下記のそれぞれの条件のいずれにあたりますか。

また、あなたの雇用形態としてあてはまるものをお選びください。複数の施設で働いている方は、もっとも長時間働いているところを主たる勤め先としてお答えください (以下同様に)。

(○は各1つ)

施設類型	1 保育所	4 事業所内保育所	7 その他 (具体的に)
	2 幼稚園	5 小規模保育事業	
	3 認定こども園	6 認可外保育施設	
運営主体	1 公立	2 私立	
雇用形態	1 正規職員 ※1 2 有期契約職員 (フルタイム) ※2 3 有期契約職員 (パートタイム) ※3		

※1、※2、※3については、4ページに詳細を記載してありますので、ご参照ください。

問6 あなたが保育士等になるにあたって行った求職活動手段についてお答えください。

(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|---------|
| 1 卒業校からの紹介 | 4 HP・チラシ・張り紙等 | 7 自治体窓口 |
| 2 ハローワーク | 5 人材派遣・紹介会社 | 8 その他 |
| 3 求人広告(新聞、求人誌) | 6 就職説明会 | (具体的に) |

問7 あなたは保育士等として通算何年働いているかお答えください。なお、休職中の方(産休・育休含む)は休職期間も含めてお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1 1年未満 | 3 3年以上5年未満 | 5 10年以上15年未満 |
| 2 1年以上3年未満 | 4 5年以上10年未満 | 6 15年以上 |

問8 あなたが保育士等として働いた施設数をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|---------|---------|
| 1 1施設 | 2 2~3施設 | 3 4施設以上 |
|-------|---------|---------|

問9 あなたの現在の年収(税引き前)についてお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1 103万未満 | 4 300~400万円未満 | 7 600~700万円未満 |
| 2 103~200万円未満 | 5 400~500万円未満 | 8 700万円以上 |
| 3 200~300万円未満 | 6 500~600万円未満 | |

問10 現在の職場に対する以下のそれぞれの項目について、あなたの満足度をお答えください。また、()内に具体的な数字をご記入ください。(○は各1つ)

※変則勤務の方は主たる勤務パターンでお答えください。

	大変満足	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	非常に不満
勤務日数 週()日	1	2	3	4	5	6	7
勤務時間()時()分~()時()分	1	2	3	4	5	6	7
給与・賞与等	1	2	3	4	5	6	7
職員数	1	2	3	4	5	6	7
職場の人間関係	1	2	3	4	5	6	7
休暇の取得しやすさ(福利厚生)	1	2	3	4	5	6	7
業務における相談体制	1	2	3	4	5	6	7
園(など)の理念や運営方針	1	2	3	4	5	6	7
施設環境	1	2	3	4	5	6	7
保育士等としての仕事全体の「やりがい」	1	2	3	4	5	6	7

問11 現在の職場に対して、日ごろあなたが改善してほしいと思っている事柄はありますか。

下記の中から近いものをお選びください。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------|-----------------|------------------|
| 1 事務・雑務の軽減 | 6 職員の増員 | 11 園(など)の理念や運営方針 |
| 2 勤務シフトの改善 | 7 職員間のコミュニケーション | 12 相談体制の充実 |
| 3 未消化(有給等)休暇の改善 | 8 権限範囲の拡大 | 13 研修機会の充実 |
| 4 給与・賞与等の改善 | 9 責任範囲の縮小 | 14 その他(具体的に) |
| 5 雇用の安定化(正規職員登用) | 10 評価制度の見直し | 15 特になし |

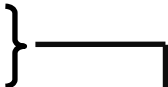
問12 あなたは保育士等として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。

下記の中からお選びください。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|-------------------------|------------------|
| 1 保育・教育実技 | 6 保育指針・幼稚園教育要領等 | 11 保護者への対応の仕方 |
| 2 救命救急 | 7 食や栄養に関する指導 | 12 同僚とのコミュニケーション |
| 3 安全管理 | 8 特別な支援を必要とする子どもへの接し方 | 13 パソコン操作 |
| 4 衛生管理 | 9 幼稚園教諭免許・保育士資格取得のための学習 | 14 その他(具体的に) |
| 5 発達心理学 | 10 地域の子育て支援 | 15 特にしたいと思うことはない |

問13 あなたは今後も保育士等として働き続けたいと思っていますか。(○は1つだけ)

- 1 今後も保育士等として働きたい⇒問 23 へ
- 2 今後は保育士等を辞め、保育士等以外の職種で働きたい⇒問 17 をお答えの上、問 23 へ
- 3 今後は保育士等を辞め、働かないつもりだ⇒問 17 をお答えの上、問 23 へ
- 4 今後は保育士等を辞め、一定期間経過後に復職したい⇒問 17 をお答えの上、問 22 へ



過去に保育士等として働いていた方におたずねします。→働いたことのない方は問 20 へ

問 14 過去、保育士等として働いていた施設は下記のそれぞれの条件のいずれにあたりますか。また、あなたの雇用形態としてあてはまるものをお選びください。複数で働いていた方は、もっとも最近働いていたところをお答えください（以下同様に）。（○は各1つ）

施設類型	1 保育所	4 事業所内保育所	7 その他（具体的に）
	2 幼稚園	5 小規模保育事業	
	3 認定こども園	6 認可外保育施設	
運営主体	1 公立	2 私立	
雇用形態	1 正規職員※1	2 有期契約職員（フルタイム）※2	3 有期契約職員（パートタイム）※3

※1、※2、※3については、4 ページに詳細を記載してありますので、ご参照ください。

問 15 あなたが園に勤務したのはいつですか。（○は1つだけ）

- 1 新卒で
- 2 転職で（保育士等から保育士等）
- 3 一度園を退職し、無職の期間を経て復職
- 4 一度園を退職し、保育士等以外の仕事を経て復職

問 16 あなたは保育士等を辞めて何年になりますか。（○は1つだけ）

- 1 1年未満
- 2 1年以上3年未満
- 3 3年以上5年未満
- 4 5年以上10年未満
- 5 10年以上15年未満
- 6 15年以上

問 17 あなたが保育士等として就業された保育所等を退職した理由としてあてはまるものをお答えください。（○はいくつでも）※現在、保育士等の方は、辞めたい理由としてお答えのうえ、問 23 へ。

- 1 家庭との両立が困難
- 2 自身の健康状況の不安
- 3 他の職種への興味
- 4 自分の適性・能力への不安
- 5 転居、配偶者の意向
- 6 家族等の看護・介護
- 7 職場の人間関係への不満
- 8 業務量が多い
- 9 休暇取得が困難
- 10 労働時間が長い
- 11 給料が安い
- 12 職員数が少ない
- 13 雇用形態への不満
- 14 保護者対応等の心労
- 15 パソコン操作が困難
- 16 将来への不安（昇給・昇進）
- 17 雇用者の都合（閉園等）
- 18 責任の重さ、事故への不安
- 19 相談体制がない
- 20 職員の教育・研修体制がない
- 21 その他（具体的に）

問 18 あなたが今後、保育士等として働く場合に求める条件をお聞かせください。また（ ）内に具体的な数字もあわせてご記入ください。（○はいくつでも）

- 1 勤務日数 週（ ）日
- 2 勤務時間 1日（ ）時間（ ）分
- 3 職員数
- 4 給与等 年収（ ）万円以上
- 5 雇用形態（正規職員採用）
- 6 雇用形態（フルタイム・パート採用）
- 7 休暇の取得しやすさ
- 8 施設の運営方針への納得感
- 9 家族等の協力体制
- 10 自身のキャリアアップが可能／やりがいを感じられること
- 11 自身の健康状況の改善
- 12 求人情報の提供
- 13 研修等の再教育プログラム参加制度
- 14 業務に関する相談体制の整備
- 15 責任の軽減、事故防止の管理体制の充実
- 16 その他（具体的に）
- 17 条件が整っても復職の意思はない

問 19 今後保育士等として働くまでに、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。下記の中からお選びください。（○はいくつでも）⇒問 22 へお進みください。

- 1 保育・教育実技
- 2 救命救急
- 3 安全管理
- 4 衛生管理
- 5 発達心理学
- 6 保育・教育指針
- 7 食に関する指導
- 8 特別な支援を必要とする子どもへの接し方
- 9 幼稚園教諭免許・保育士資格取得のための学習
- 10 地域の子育て支援
- 11 保護者との対応の仕方
- 12 同僚とのコミュニケーション
- 13 パソコン操作
- 14 その他（具体的に）
- 15 特にしたいと思うことはない

これまでに保育士等として働いたことのない方におたずねします。

問20 あなたが保育士等として働かなかった理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。
(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|----------------------------------|
| 1 働く必要がなかった | 7 自分には適性がないと感じた |
| 2 家事・育児に専念したかった | 8 別の職業を希望した(具体的に) |
| 3 就職活動をしたが、採用されなかった | 9 資格取得が目的で、はじめから保育士等として働く意志はなかった |
| 4 勤務日数・時間が合致する求人がなかった | 10 家族等の意向 |
| 5 希望する給与等待遇の求人がなかった | 11 その他(具体的に) |
| 6 そもそも保育士等の求人の情報がなかった | |

問21 あなたが今後、保育士等として働く場合に求める条件をお聞かせください。また()内に具体的な数字もあわせてご記入ください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1 勤務日数 週()日 | 10 自身のキャリアアップが可能/やりがいを感じられること |
| 2 勤務時間 1日()時間()分 | 11 自身の健康状況の改善 |
| 3 職員数 | 12 求人情報の提供 |
| 4 給与等 年収()万円以上 | 13 研修等の再教育プログラム参加制度 |
| 5 雇用形態(正規職員採用) | 14 業務に関する相談体制の整備 |
| 6 雇用形態(フルタイム・パート採用) | 15 責任の軽減、事故防止の管理体制の充実 |
| 7 休暇の取得しやすさ | 16 その他(具体的に) |
| 8 施設の運営方針への納得感 | 17 条件が整っても保育士等として働く意思はない |
| 9 家族等の協力体制 | |

問22 今後、求人雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1 新採用を対象にした就職説明会の開催 | 5 潜在的保育士等を対象にした再就職に向けた研修等の実施 |
| 2 再就職および転職意向のある方を対象にした就職説明会の開催 | 6 就職個別相談窓口の設置 |
| 3 就職・転職・再就職のマッチングの実施 | 7 その他(具体的に) |
| 4 保育士等の就労情報を専門に扱うホームページの開設 | |

最後に皆様におたずねします。

問23 最後に、あなたの「保育士等として働くことへの不安」や「働くために支援が必要だと感じていること」、「理想とする保育・教育」などを、ぜひお聞かせください。

～以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)にて、平成29年8月31日(木)までにご投函ください。～

このアンケートに関してのご質問・ご意見等は、下記にお問い合わせください。

福井県健康福祉部子ども家庭課 幼保支援グループ

電話番号:0776-20-0342

担当:鷲田

※1 正規職員:フルタイム(常勤)で従業して、永久的(定年制なし)または定年まで雇用期間を定めない雇用形態のことを指します。

※2 フルタイム:フルタイム(常勤)で従業して、雇用期間に定めがある雇用形態のことを指します。

※3 パートタイム:会社として決められた通常の労働時間より短い時間を働く労働者で、雇用の期間に定めがある雇用形態を指します。